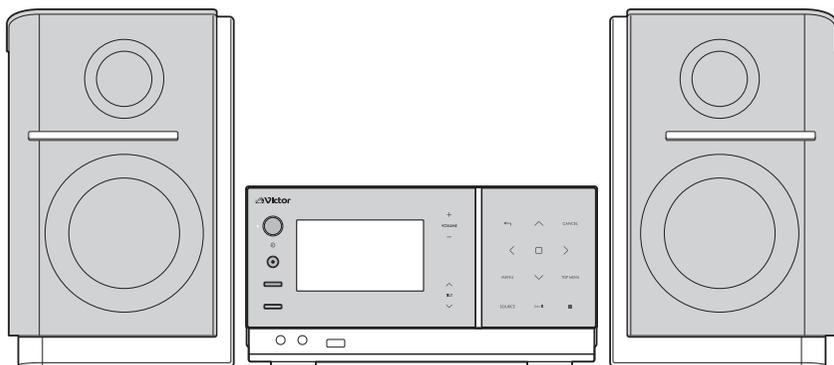
取扱説明書

コンパクトコンポーネントMDシステム

型名 **NX-TC5-B**
NX-TC5-W

MP3/WMA RECORDING
MDLP
－お買い上げありがとうございます－

ご使用の前に

この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に2～5ページの「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき安全にお使いください。
そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

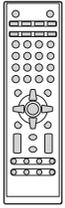
ユーザー登録のおすすめ

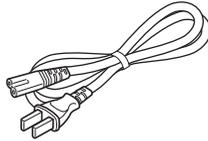
お買い上げいただきました製品について「ユーザー登録」をお願いいたします。
ご登録いただきますと製品のサポート情報、ビクターの製品情報やイベント情報の提供サービスなどをご利用いただけます。
また、今後のより良い製品開発のためのアンケートにもご協力をお願いいたします。

●下記アドレスのホームページより、ご登録ください。
http://www.victor.co.jp/reg/

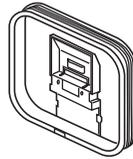
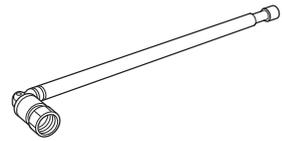
GVT0285-001B

■付属品の確認

• リモコン（1個）

RM-SNXTC5-S

• 電源コード（1本/約1.5m）

• リモコン動作確認用単4乾電池（2本）

• FM簡易型アンテナ（1本）

• AMループアンテナ（1個）

• ワンセグ受信用ロッドアンテナ（1本）

■安全上のご注意 —はじめにお読みください—

▶ 絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。
これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告

この表示の注意文を無視して、誤った取り扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。

⚠ 注意

この表示の注意文を無視して、誤った取り扱いをすると、「傷害を負ったり物的損害が想定される」内容を示しています。

▶ 絵表示の説明

注意をうながす記号

一般的注意

感電

手を挟まれないよう注意

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

水場での使用禁止

接触禁止　ぬれ手禁止　水ぬれ禁止

行為を指示する記号

一般的指示

電源プラグを抜く

⚠ 警告

万一、次のような異常が発生したときはすぐに使用をやめる。

- 煙が出ていたり、へんなにおいがするとき
- 内部に水や異物が入ってしまったとき
- 落としたり、破損したとき
- 電源コードが傷んだとき(芯線の露出や断線など)

すぐに電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。このような異常が発生したまま使用していると、火災や感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

分解や改造をしない、カバーを外さない。

火災や感電の原因となります。内部の点検や修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

風呂場やシャワー室では使用しない。

本機の中に水が入ると、火災や感電の原因となります。

本機の上に火のついたものを置かない。

火のついたローソクなどを置くと、火災の原因となります。

本機の中に物を入れない。

通風孔やディスク挿入口などから、金属物や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因となります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。

表示された電源電圧(交流100ボルト)以外で使用しない。

表示された電源電圧以外では、火災・感電の原因となります。本機を使用できるのは日本国内のみです。
This set is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

電源コードを傷つけない。

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。特に、次のことに注意してください。

- 電源コードを加工しない
- 電源コードを無理に曲げない
- 電源コードをねじらない
- 電源コードを引っ張らない
- 電源コードを熱器具に近づけない
- 電源コードの上に家具などの重い物をのせない

電源プラグは根元まで確実に差し込む。

差し込みが不完全だと、発熱したりほこりが付着して火災や感電の原因となります。また、たこ足配線も、コードが熱を持ち危険ですのでしないでください。

電源プラグは定期的に清掃する。

電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを乾いた布で取り除いてください。

本機の上に水などの入った容器を置かない。

花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など水の入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に水が入った場合は、火災や感電の原因となります。

雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない。

感電の原因となります。

本機の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない。

頭からかぶると窒息の原因となります。

⚠ 注意

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない。

電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。電源プラグを持って抜いてください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因となることがあります。

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く。

電源が切れているときでも本機には、わずかな電流が流れています。
安全および節電のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。

置き場所に注意する。

次のような所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる所
- 湿気やほこりの多い所
- 熱器具の近くなど高温になる所
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすい所

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない。

バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

お手入れをするときは、電源プラグを抜く。

電源が切れているときでも本機には、わずかな電流が流れています。
電源プラグがコンセントに接続されていると、感電の原因となることがあります。

移動するときは、接続したコードや電源プラグを抜く。

接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

電源プラグが容易に抜き差しできる空間を設ける。

電源スイッチを切っただけでは機器は電源から完全に遮断されません。完全に遮断するには、電源プラグを抜いてください。
機器はコンセントに容易に手が届く位置に設置し、異常が起きた場合すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。

はじめから音量を上げすぎない。

突然大きな音が出て、スピーカーを破損したり、聴力障害の原因となることがあります。電源を切る前に音量（ボリューム）を下げておき、電源が入ってから徐々に上げてください。

ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎない。

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

移動するときには、アンテナをたたむ。

けがの原因となることがあります。

欧州連合のリサイクルマークです。

⚠ 注意

ディスク挿入口に、手を入れない。

けがの原因になることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

3年に一度は内部の清掃を販売店に依頼する。

内部にほこりがたまったまま使用すると、火災の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。

可動部の作動中には無理な操作を加えない。

一つの動作が終了してから、次の操作に移ってください。誤動作や故障の原因となることがあります。

本機の上に重いものを置かない。

テレビなどの重い物や本機からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

電池の取り扱いに注意する。

電池の取り扱いを誤ると、電池が破裂したり、液もれして、火災・けがや周囲を汚す原因となることがあります。次のことに注意してください。

- 指定以外の電池を使用しない
- 電池のプラス(+)とマイナス(−)を間違えない
- 電池のプラス(+)とマイナス(−)をショートさせない
- 新しい電池と一度使用した電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池と混ぜて使用しない
- 電池を加熱しない
- 分解しない
- 火や水の中に入れない
- 乾電池は充電しない
- 長期間使わないときは、電池を取り出しておく
  もし、電池が液もれをしてしまったときは、電池ケースについた液をよく拭きとってください。万一、もれた液体が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

使い終わった電池は、自治体の指示に従って廃棄してください。

本機を設置するときは

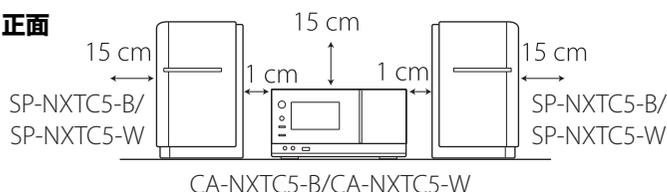
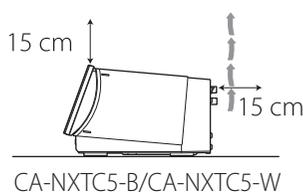
本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。特に次のことに注意してください。

- あお向けや横倒し、逆さまにしない
- 本箱、押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
- テーブルクロス、新聞、カーテンなどで通気孔をふさがない
- 本や雑誌などをのせない
- じゅうたんや布団の上に置かない

正面

15 cm
15 cm
1 cm
1 cm
15 cm
SP-NXTC5-B/
SP-NXTC5-W
SP-NXTC5-B/
SP-NXTC5-W
CA-NXTC5-B/CA-NXTC5-W

側面

15 cm
15 cm
CA-NXTC5-B/CA-NXTC5-W

レーザー製品についてのご注意

1. この製品は JIS C6802 規格に基づくクラス1 レーザー製品です。
2. **注意**：機器内部には、危険なレーザー放射部があります。分解、改造はしないでください。
3. 機器内部には、以下のラベルがあります。

注意：ここを開くと可視及び／または不可視のクラス1Mレーザー放射が出ます。光学装置で直接見ないでください。

■使用上のご注意

本機の置き場所について

故障などを防止するために、次のような場所には置かないでください。

- 湿気やほこりの多い所
- バランスの悪い不安定な所
- 熱器具の近く
- OA機器やけい光灯のすぐそば
- 風通しの悪い狭い場所
- 直射日光の当たる所
- 極端に寒い所
- 振動の激しい所
- 他のアンプ、チューナーのそば
- 磁気を発生する所

ご注意

本機の使用環境温度は、5℃ ～ 35℃です。この範囲外の温度で使用すると、正しく動作しなかったり故障の原因となることがあります。

露、水滴がついたら

次のようなとき、本機内部のレンズに露、水滴が付いて正しく再生できない場合があります。

- 暖房を始めた直後
- 湯気や湿気の多いところに置いてあるとき
- 寒い所から急に暖かい部屋に移動したとき

このようなときは、電源を入れたまま約1～2時間待ってから、ご使用ください。

本体の清掃

パネル操作面が汚れたら柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、水で布をしめらすか、中性洗剤を少し布に付けてふき、あとからからぶきしてください。

ご注意

シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げをいためることがあります。

ステレオを聞くときのエチケット

ヘッドホンをご使用になるときには、耳を刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。
特に、夜は小さな音でも周囲によく通るものです。窓を閉めたりヘッドホンをご使用になるなどお互いに気を配り、快い生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

データのお取り扱いについて

- 本機の故障または不測の事態などにより、再生･録音において利用の機会を逸したために発生した損害などの補償については、ご容赦ください。大切なデータはパソコンなどにバックアップを取っておくことをお勧めします。
- 本機と接続機器間での録音（移動）･再生のときに、データ（本体メモリー、USB接続機器、iPod、MD）の消失または破損が生じた場合の補償はご容赦ください。

もくじ

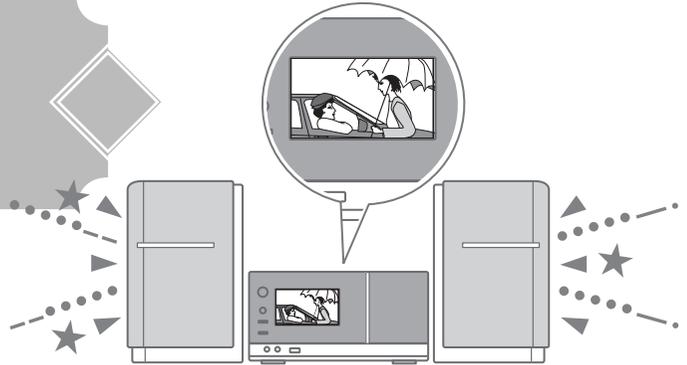
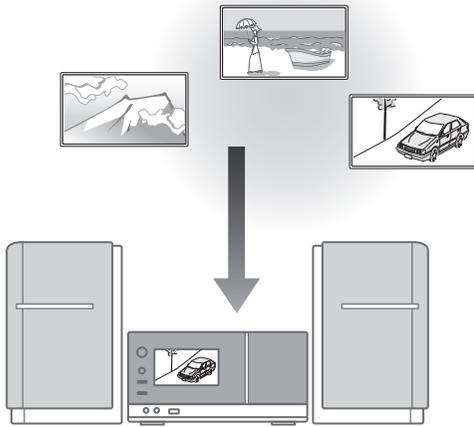
■本書の見かた

- 主にリモコンのボタンを使って操作説明しています。本体のボタンに同じマークがある場合には、本体のボタンもお使いいただけます。
- 本文中のボタン名は、数字ボタン以外は[ボタン名]で表示します。
- メニュー項目など画面に表示されるものは、「項目名」で表示します。
- 本書内のイラストは、説明のため簡略化や誇張することがあります。

こんなことができます

ワンセグテレビを見る

➡**48**ページ

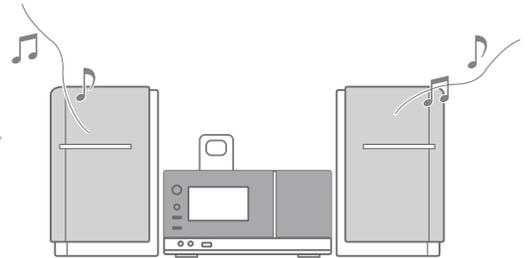
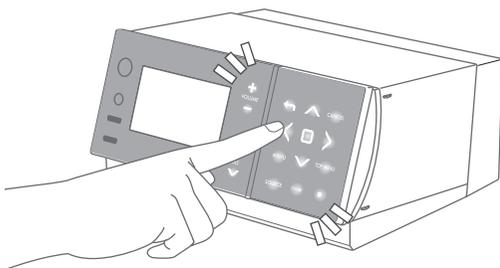
番組表一覧から探したり、
視聴予約したりできる！

写真を見る/壁紙にする

➡**55**、**61**ページ

デジタルフォトフレームとして使用できる！

iPodを再生する

➡**24**ページ

iPodの音楽を本機の操作で再生できる！

簡単タッチパネル操作

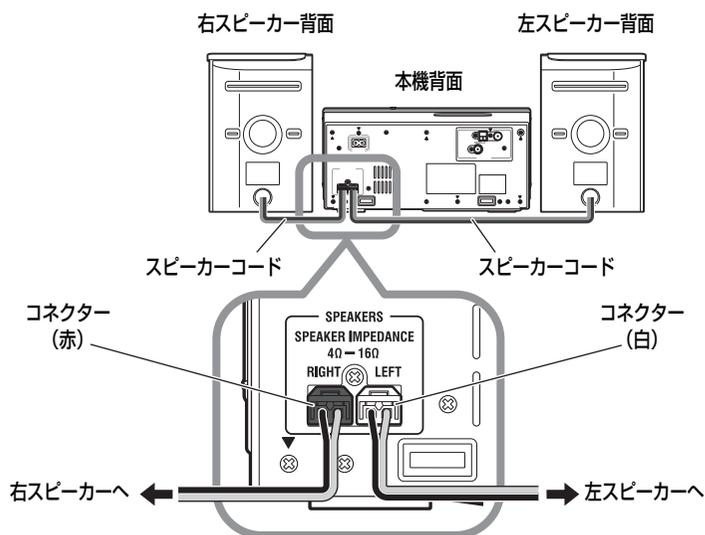
➡**15**ページ

タッチパネルに軽く触れるだけ！

■接続する

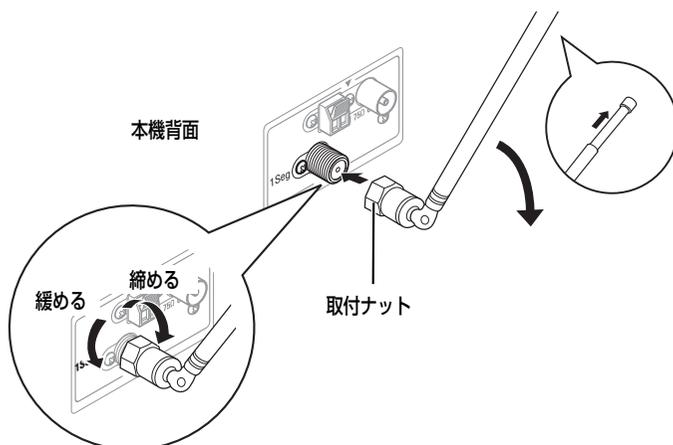
ーすべての接続が終わるまで電源プラグを差し込まないでくださいー

スピーカーの接続

コネクターの向きを合わせて奥まで差し込んでください。

お知らせ

- 本機の内部で発生した熱を放出するために、両側にスピーカーを設置したり、物を置いたりするときは、1cm以上の間隔をあけてください。
- 本機のスピーカーは防磁設計になっておりません。テレビの近くに設置するときは、テレビに色ムラが生じない位置まで離してください。
- 付属のスピーカー以外は接続しないでください。

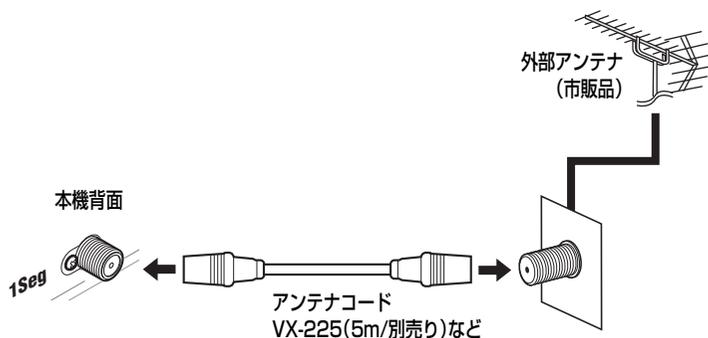
ワンセグ受信用アンテナの接続

▶ ロッドアンテナ(付属品)を接続する

- 工具を使って取付ナットを締め、確実に取り付けてください。
- 取りはずす場合は、工具を使って取付ナットを緩めてください。

お知らせ

- 地域、受信環境、設置場所によっては受信できない場合があります。
- ワンセグテレビの視聴時は、ロッドアンテナを受信状態が最も良い角度に調節してください。
(➡50ページ)
- 本機の設置場所、アンテナの角度を変えても放送を受信できないときは、外部アンテナを接続してください。(➡下記)

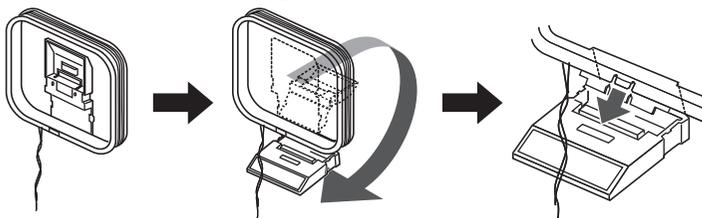
▶ 外部アンテナ(市販品)を接続する

良好な受信のため、外部アンテナの使用をおすすめします。

お知らせ

- 外部アンテナ使用時は、UHFアンテナをご使用ください。
- CATV(ケーブルテレビ)に接続の際は、ケーブルテレビ会社の送信方法が同一周波数パススルー方式である必要があります。詳細は、ご契約のケーブルテレビ会社へお問い合わせください。

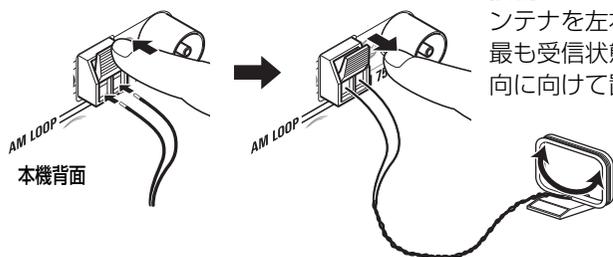
ラジオアンテナの接続

▶ AMループアンテナ（付属品）を接続する

AMループアンテナを組み立てる

ご注意

AMループアンテナは、アンテナ線が枠に巻かれた状態のままお使いください。

枠からはずすとアンテナの効果がなくなり、感度が悪くなります。

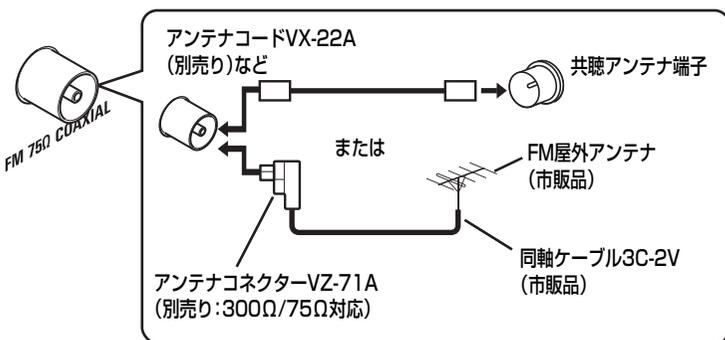
AMループアンテナを接続する

接続したAMループアンテナを左右に回し、最も受信状態の良い方向に向けて置きます。

お知らせ

アンテナ線が他の端子に触れないようにご注意ください。受信の妨げになることがあります。

▶ FM簡易型アンテナ（付属品）を接続する

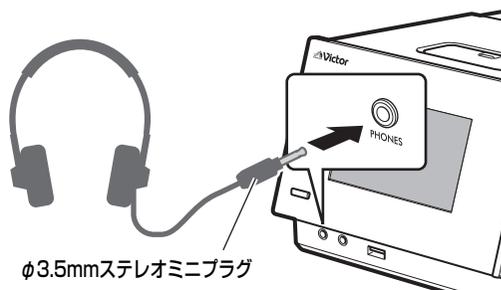
最も受信状態の良い位置と方向にまっすぐ伸ばしてください。

付属のFM簡易型アンテナではうまく受信できないときや、マンションなどの壁の共聴アンテナ端子を使うとき

電波状況によっては、FMフィーダーアンテナ：CN-511A（別売り：300Ω対応）がご利用になれます。この場合もアンテナコネクターVZ-71A（別売り）が必要です。

お知らせ

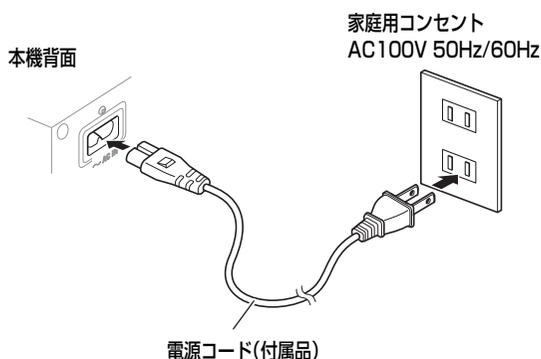
- 付属品以外のアンテナを接続する際の詳細については、アンテナおよびアンテナコネクターの取扱説明書をご覧ください。
- アンテナの設置場所を決めるときは、実際の放送を聞きながら行なってください。（➡42ページ「ラジオを聞く」）
- ケーブルテレビ会社と契約しているマンションの共聴アンテナ端子に本機のFM端子を接続している場合は、FM放送局の周波数が通常と異なることがあります。詳細は、ご契約のケーブルテレビ会社へお問い合わせください。

ヘッドホンの接続

ヘッドホン(別売り)を接続して聞くことができます。

ご注意

- ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎないでください。
- ヘッドホンを接続すると、スピーカーから音が出なくなります。

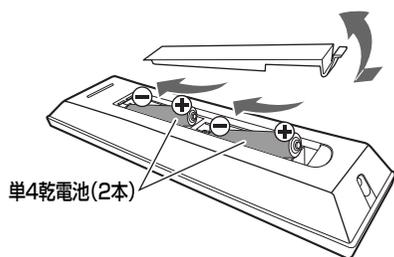
電源プラグの接続

電源プラグは、すべての接続が終わってから差し込んでください。

お知らせ

電源プラグを抜いたり、停電したときは、時計の設定はお買い上げ時の状態に戻ります(タイマーの設定内容は保持されます)。それ以外の設定は電源が切れても記憶されます。

ご注意

- 形状の違いによる故障や事故を防止するため、付属品以外の電源コードは絶対に使用しないでください。
- 付属の電源コードは本機以外の機器には使用しないでください。
- 動作中にいきなり電源プラグを抜くと、記録されているデータが破損することがあります。必ず電源ボタンを押して電源を切ってから、電源プラグを抜いてください。

リモコンに電池を入れる

リモコン内部の極性表示(⊕/⊖)に合わせて正しく入れてください。

ご注意

- 付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換してください。
- 乾電池は、「安全上のご注意」(➡**2**～**5**ページ)をお読みの上、正しくお取り扱いください。
- 落としたりぶつけたりなど、リモコンに強い衝撃を与えないでください。

▶ リモコンを使うときは

- リモコンを使うときは、リモコン受光部に向けて操作してください。(➡**15**ページ)
- 操作が可能な距離は本体のリモコン受光部から約5m以内です。
- 操作範囲が狭くなったり、本体に近づけないと操作できなくなったりしたときは、新しい乾電池と交換してください。

■各部の名前とはたらき

リモコン

本体

[STANDBY ⏻/I]（スタンバイ）
電源の入り/切り
（➡16ページ）

タイマー表示
（➡111、114、115ページ）

[REC ●]（レック）
録音の開始
（➡68〜77ページ）

MD取り出しボタン

CD取り出しボタン

PHONES端子（ホーンズ）
ヘッドホンを接続（➡13ページ）

AUDIO IN端子（オーディオ イン）
外部機器を接続（➡46ページ）

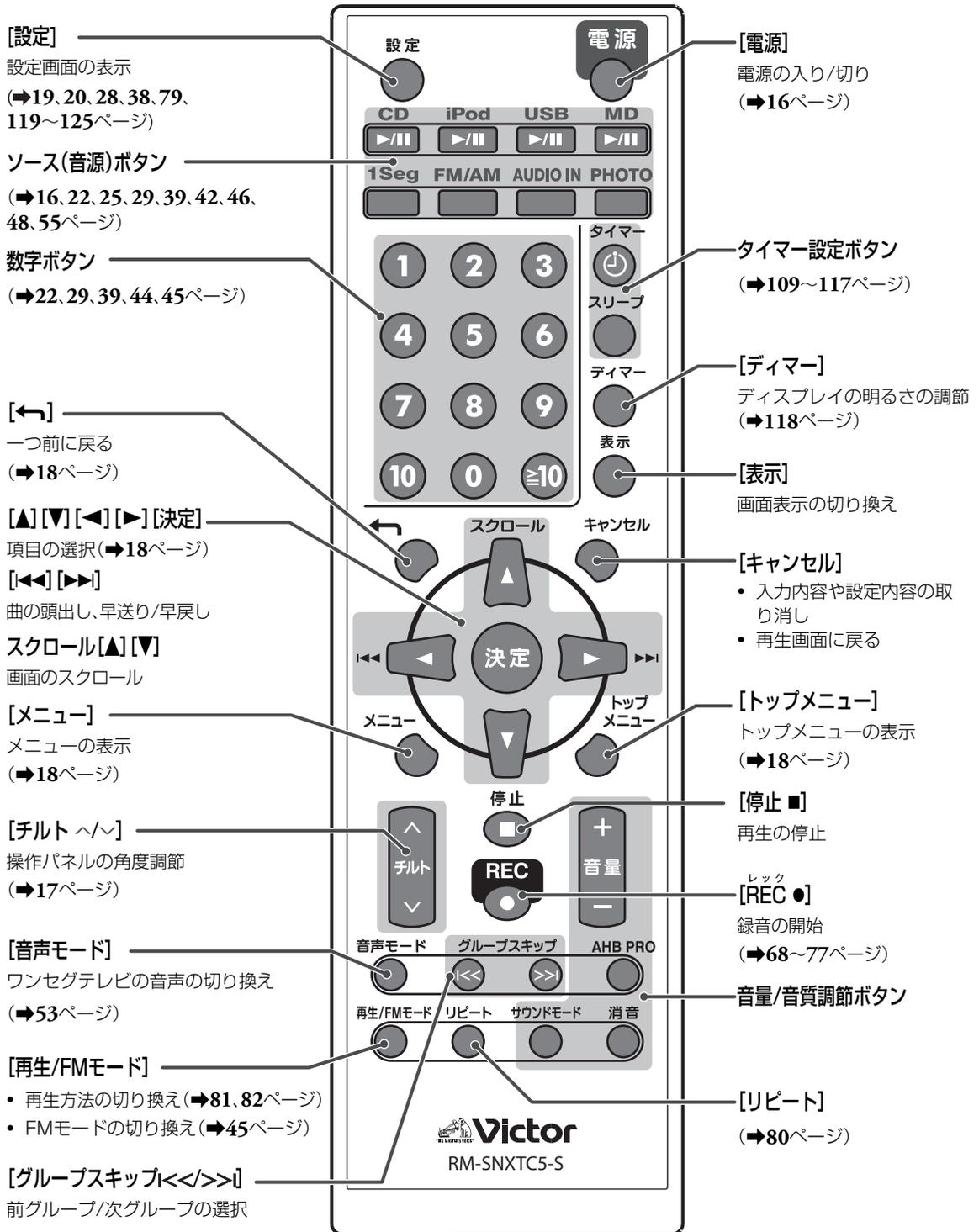
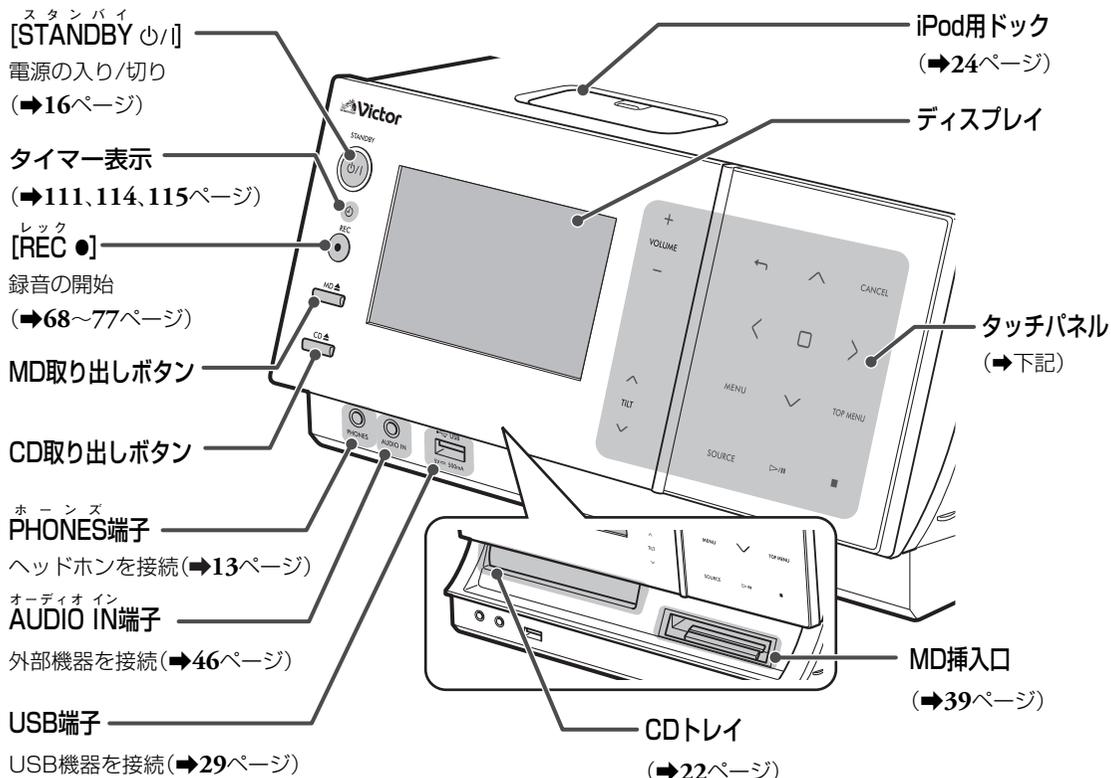
USB端子
USB機器を接続（➡29ページ）

iPod用ドック
（➡24ページ）

ディスプレイ

タッチパネル
（➡下記）

MD挿入口
（➡39ページ）

CDトレイ
（➡22ページ）

▶ タッチパネルの操作

モーションセンサーに手を近づけるとボタンが青く光ります。ボタンが光っているときに触れてください。

- ボタンを常に点灯させることもできます。（➡122ページ）

お知らせ

本書ではタッチパネルに触れて操作することを「押す」と説明しています。

[↩]
一つ前に戻る
（➡18ページ）

[VOLUME +/−]（ボリューム）
音量調節

[MENU]（メニュー）
メニューの表示
（➡18ページ）

[TILT ∧/∨]（チルト）
操作パネルの角度調節
（➡17ページ）

[SOURCE]（ソース）
ソース（音源）の選択（➡16ページ）

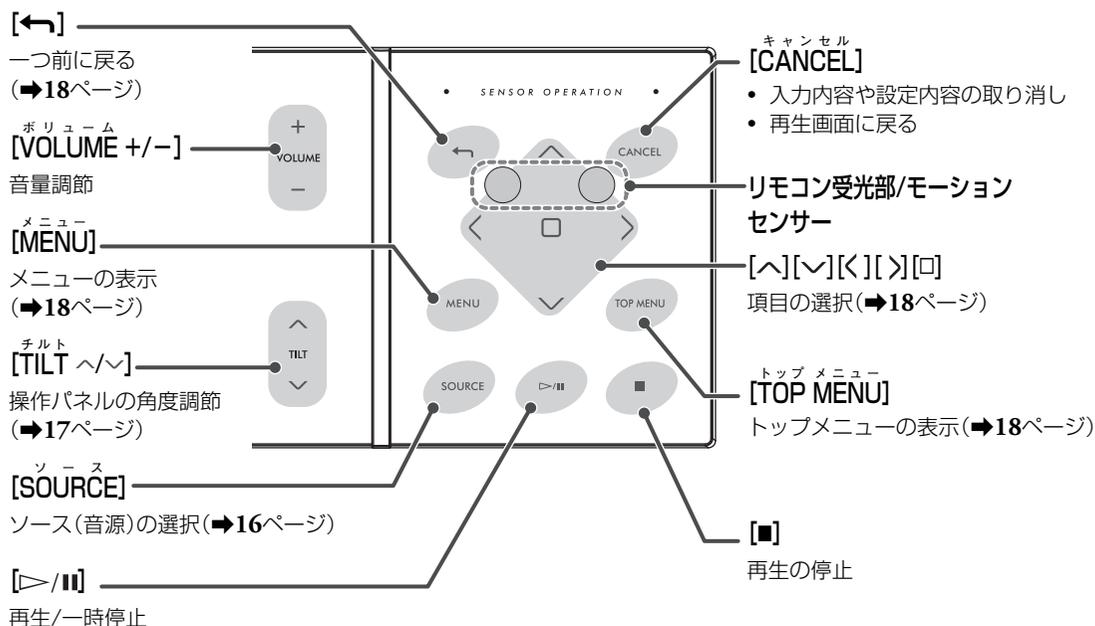
[▷/II]
再生/一時停止

[CANCEL]（キャンセル）
- 入力内容や設定内容の取り消し
- 再生画面に戻る

リモコン受光部/モーションセンサー

[∧][∨][＜][＞][□]
項目の選択（➡18ページ）

[TOP MENU]（トップ メニュー）
トップメニューの表示（➡18ページ）

[■]
再生の停止

■電源を入れる/切る

1 (または本体の)を押す

ご注意

電源を切ると、自動的に操作パネルが閉まります。MDが挿入口におかれたままの場合、MDに傷がつくことがあります。電源を切る前に必ずMDを取り出してください。

お知らせ

電源が入っていないときに、次のいずれかのボタンを押しても電源が入ります。

- リモコン

それぞれのソース(音源)の再生が始まります。

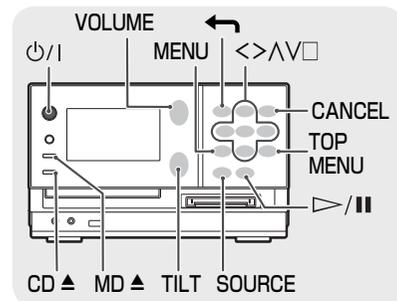
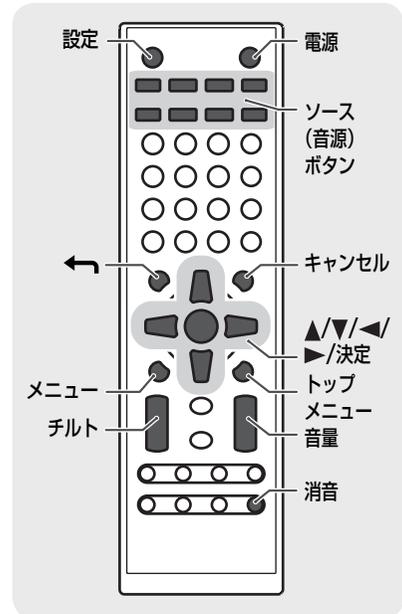
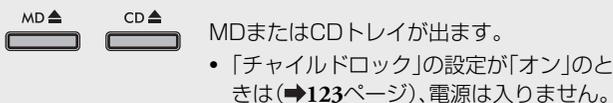
- 本体

「スタンバイモード」が「高速起動」に設定されているときに(➡121ページ)数秒間押し続けると電源が入ります。このとき、前回選んでいたソース(音源)の再生が始まります。

MDまたはCDトレイが出ます。

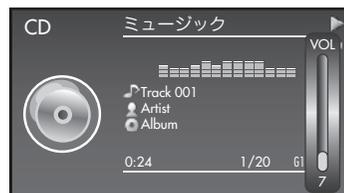
- 「チャイルドロック」の設定が「オン」のときは(➡123ページ)、電源は入りません。

■ソース(音源)を選ぶ

リモコン: CD / iPod / USB / MD / 1Seg / FM/AM / AUDIO IN / PHOTO

本体: をくり返し押してソース(音源)を選び、

 を押す。

■音量を調節する

1

- 0～40の範囲で調節できます。

▶ 音を一時的に消す

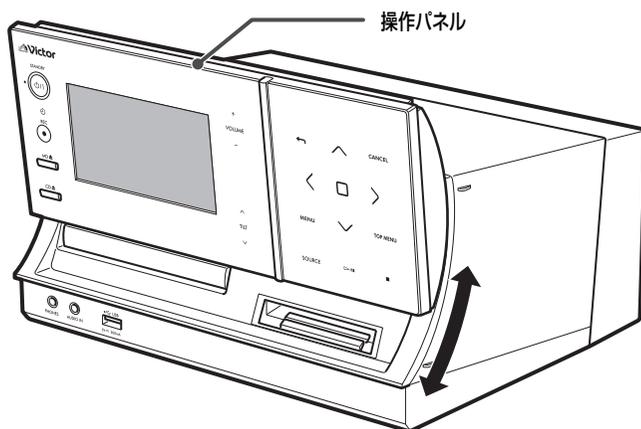
消音

表示が点灯します。

- もう一度押すと元の音量に戻ります。

■操作パネルの角度を調節する

1

チルト (または本体の TILT)を押す

ボタンを押すごとに、操作パネルの角度が変わります。

- 角度は6段階に調節できます。

お知らせ

本機は「はさみ込み防止機能」を搭載しています。操作パネルが下に移動したときに指などが操作パネルに当たると、はさみ込まないように操作パネルが一番上の位置まで移動します。

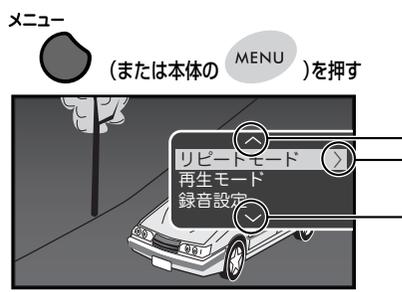
■トップメニュー/メニューを操作する

本機には、トップメニュー(「TOP MENU」)とメニューがあります。
トップメニューでは、曲を一覧から探したり、本機の全般的な設定ができます。
メニューでは、曲の操作･編集や、現在のソース(音源)に関する設定などができます。
メニューの表示内容は、ソース(音源)や再生状態によって変わります。

- トップメニュー項目の一覧(➡**126**ページ)
- メニュー項目の一覧(➡**127**ページ)

トップメニュー/メニューを表示する

▶ トップメニューを表示する

▶ メニューを表示する

︿: 見えていない項目が上にあるときに表示されます。
﹀: 見えていない項目が下にあるときに表示されます。
〉: 次の選択項目があるときに表示されます。

トップメニュー/メニューを操作する

操作		リモコン	本体
項目を選ぶ	トップメニュー	▲ ▼ ◄ ►	︿ 〈 □ 〉 ﹀
	メニュー	▲ ▼	︿ 〈 □ 〉 ﹀
次の選択項目を表示する	トップメニュー	決定	□
	メニュー	► または 決定	〉 または □
決定する		決定	□
一つ前に戻る		↩ または ◄	↩ または 〈
• メニューから再生画面に戻る • 設定を中止して再生画面に戻る (設定内容は取り消されます)		キャンセル	CANCEL

お知らせ

- 本書では、トップメニュー/メニューの項目を「選ぶ」と書いてある場合、その項目を「色が反転した状態にする」、または「ラジオボタンに●がついた状態にする」ことを表しています。
- 本書では､トップメニュー/メニューで項目を選んで[決定]を押して次の項目を表示させる操作を「項目名」➔「次の項目名」と説明しています。

■日付/時刻を合わせる

日付/時刻を合わせる

お知らせ

- 電源プラグが抜かれたり、停電したときは、時計の設定はお買い上げ時の状態に戻ります。
- 録音中および電源が切れているときは、時計の設定はできません。

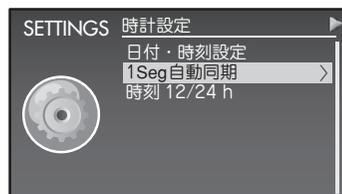
▶ 自動で設定する

ワンセグテレビ放送の時刻放送を利用して、本機の日付/時刻の設定・補正を自動で行います。

- あらかじめワンセグテレビのチャンネルをプリセットしておいてください。(➔48ページ)

1 設定 を押す

2 「時計/タイマー」➔「時計設定」➔「1Seg自動同期」を選び、[決定]を押す

1Seg自動同期画面が表示されます。

3 「オン」を選んで[決定]を押す

時計設定画面に戻ります。

4 ソース(音源)を「1Seg」に切り換える

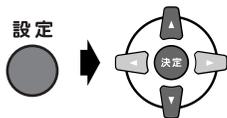
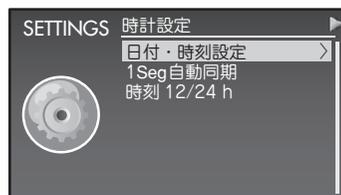
ワンセグテレビ放送を受信すると、日付/時刻が自動で設定されます。

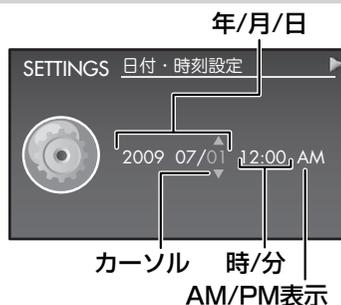
お知らせ

- 「TOP MENU」➔「SETTINGS」でも設定画面を表示することができます。
- ワンセグテレビ放送が受信できない場合は、自動で日付/時刻を設定・補正することはできません。

準備 基本操作 テレビ 写真 録音 再生(応用) 編集 タイマー 設定 その他

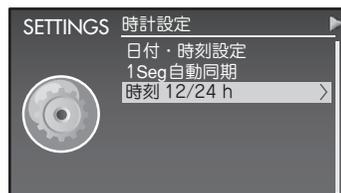
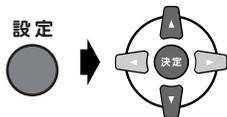
▶ 手動で設定する

1 **[設定]を押して「時計/タイマー」➔「時計設定」➔「日付・時刻設定」を選び、[決定]を押す**

日付・時刻設定画面が表示されます。

2 **[◄]/[►]で設定する項目にカーソルを合わせ、[▲]/[▼]で日付と時刻を合わせ、[決定]を押す**

- AM/PM表示は、24時間表示に設定しているときは表示されません。(➡下記)

お知らせ

- 再生画面に戻るには、[キャンセル]を押します。
- 「1Seg自動同期」の設定が「オフ」のときは(➡19ページ)、月に1分程度のずれが生じます。定期的に時計を合わせ直してください。

12時間表示/24時間表示を切り換える

1 **[設定]を押して「時計/タイマー」➔「時計設定」➔「時刻12/24 h」を選び、[決定]を押す**

2 **「12h」または「24h」を選び、[決定]を押す**

お知らせ

再生画面に戻るには、[キャンセル]を押します。

■CDを聞く

音楽CDや、CD-R/-RWディスク上のMP3ファイル、WMAファイルを再生することができます。

再生できるディスクについて

ディスクの種類	説明
音楽CD COMPACT disc DIGITAL AUDIO	CD-DA規格に準拠したディスク
CD-R/-RW COMPACT disc Recordable　COMPACT disc ReWritable	• 音楽CDフォーマットで作成したディスク • 本機で再生できるファイル(➡下記)が記録されたディスク

ご注意

- ディスクの特性･記録状態･傷･汚れ、またはプレーヤーのレンズ汚れ･結露などにより再生できないことがあります。
- CDテキストの表示には対応していません。

【CD-R/-RWについて】

- CD-R/-RWディスクを使用されるときは、ディスクの使用上のご注意をよくお読みください。
- パケットライト方式（UDFフォーマット）で記録されたディスクは再生できません。
- ファイナライズ処理されていないディスクは再生できません。
- 記録フォーマットについては、お手持ちのCD-R/-RWドライブまたは記録用ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

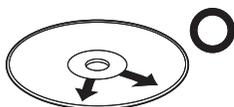
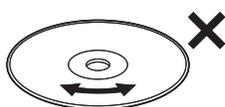
【音楽CDについて】

- CDロゴマークの有無や、パッケージのご注意をお読みになり、CD規格に準拠したディスクであることをお確かめください。
- CD-DA規格に準拠していないCDは動作の保証はできません。

▶ CDの取り扱いかた

- CDにテープやシールなどを貼ったり字を書いたりしないでください。
- CDは曲げないでください。
- ハートや花などの形をしたシェイプCD（特殊形状のCD）は、絶対に使用しないでください。故障の原因となります。

▶ CDのお手入れ

ほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふきとってください。

必ず内側から外側へ。

連続したキズは音飛びの原因となります。

ご注意

シンナーやベンジンなどは絶対に使用しないでください。

再生できるファイルについて

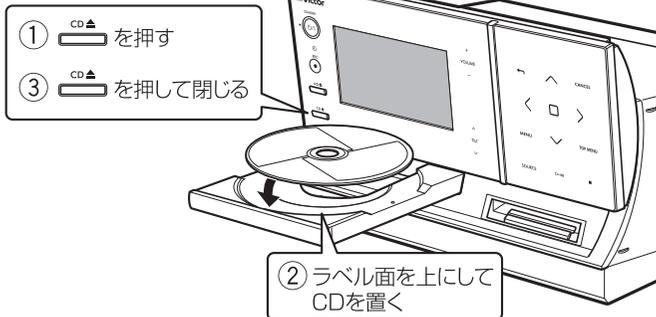
フォーマット	拡張子
MP3（8kbps～320kbps、8kHz～48kHz、VBR*）	「.MP3」 「.mp3」
WMA（8kbps～320kbps、8kHz～48kHz、VBR*）	「.WMA」 「.wma」

* VBR：可変ビットレート

お知らせ

- サンプリング周波数とビットレートの組み合わせによっては、正常に再生できない場合があります。
- 本機は、MP3iおよびMP3 PROファイルには対応していません。
- WMA Lossless、Proおよびボイスには対応していません。

CDを再生する

1 CDを入れる

• 8センチCDは内側の凹部に置きます。

CDトレイを閉じると、操作パネルは自動的に元の設定位置に戻ります。

2 CDを再生する

リモコン: [CD ▶/II] を押す

本体: [SOURCE] をくり返し押して「CD」を選び、[□] を押す

1曲目から再生が始まります。

頭出し(スキップ)

• 現在の曲の頭出し: [I◀◀] を押す
• 前の曲の頭出し: [I◀◀] を2回押す
• 次の曲の頭出し: [▶▶I] を押す

早戻し・早送り

• 早戻し: [I◀◀] を押しつづける
• 早送り: [▶▶I] を押しつづける

グループスキップ

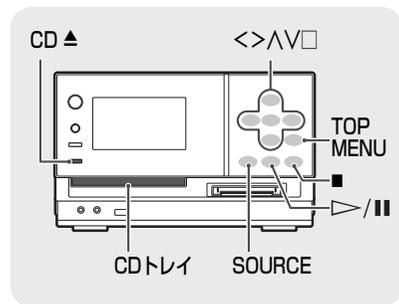
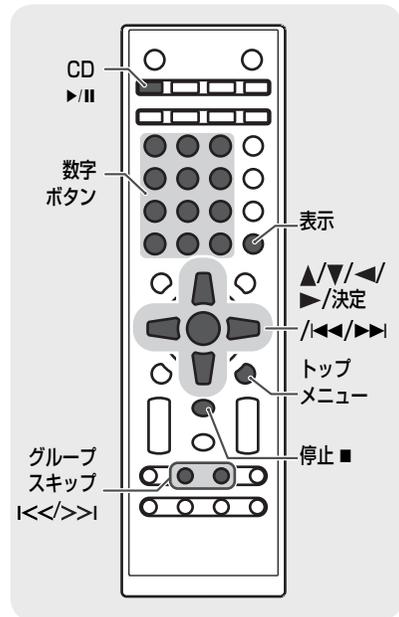
• 前のグループにスキップする: [グループスキップ I<<] を押す
• 次のグループにスキップする: [グループスキップ >>I] を押す

一時停止: [CD ▶/II] を押す

停止: [停止 ■] を押す

CDの取り出し: 本体の[CD ≜]を押す

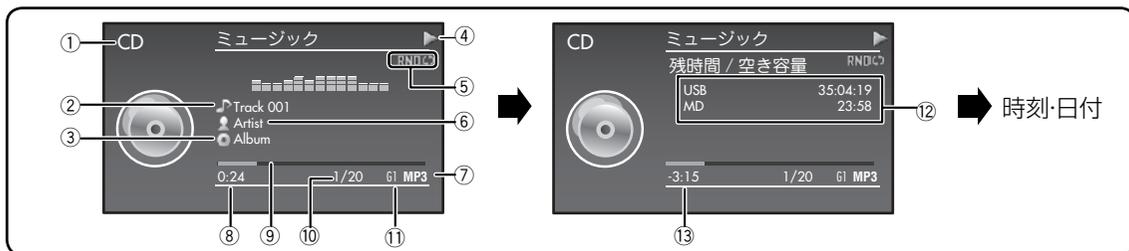
トラック番号を直接指定する

• 「3」を選ぶ: ③を押す
• 「10」を選ぶ: ⑩を押す
• 「20」を選ぶ: ≧10→②→⓪と押す
• 「23」を選ぶ: ≧10→②→③と押す
• 「123」を選ぶ: ≧10→≧10→①→②→③と押す

お知らせ

• 音楽CDの再生を停止すると、次の再生は1曲目から始まります。
• MP3/WMAファイルの再生を停止すると、次の再生は前回聞いていた曲の頭から始まります。
以下の場合は、位置情報が消去され、再生は1曲目から始まります。
– 「スタンバイモード」の設定が「通常」のときに(➡121ページ)電源を切った場合
– CDを取り出した場合

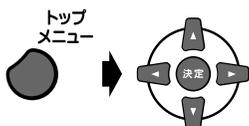
▶ 画面表示

または

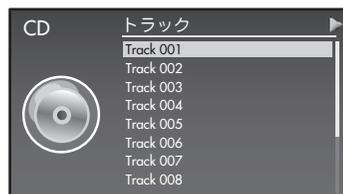
[表示]または[決定]を押すと、時刻表示やUSB機器/MDの録音残り時間などに表示を切り換えることができます。

①ソース(音源)名
②曲名(曲情報がないときはファイル名またはTrack01、Track02・・・と表示)
③アルバム名(曲情報がないときは表示なし)
④動作アイコン(►:再生、■:停止、❚❚:一時停止、►►:早送り、◄◄:早戻し)
⑤再生モード/リピートモード(➡80〜82ページ)
⑥アーティスト名(曲情報がないときは表示なし)
⑦音楽CDのとき: 表示なし
MP3/WMAのとき: ファイルの種類(停止時:表示なし)
⑧再生経過時間(停止時:音楽CDのときは総再生時間を表示、MP3/WMAのときは0:00と表示)
⑨音楽CDのとき: 再生経過表示
MP3/WMAのとき: 表示なし
⑩トラック番号/トラック総数(停止時:トラック総数)
⑪グループ番号
⑫USB機器/MDの録音残り時間*
⑬音楽CDのとき: 再生中の曲の残り時間
MP3/WMAのとき: 再生経過時間

* 録音先のUSB機器/MDがないときは、録音残り時間は「-:- -」と表示されます。

▶ トラックの一覧から曲を選ぶ

1 「TOP MENU」➔「CD」➔「トラック」を選び、[決定]を押す

トラックの一覧が表示されます。

2 曲を選び、[決定]を押す

選んだ曲から再生が始まります。

お知らせ

MP3/WMAのとき、「TOP MENU」➔「CD」➔「グループ」を選ぶと、グループの一覧からグループと曲を選ぶことができます。

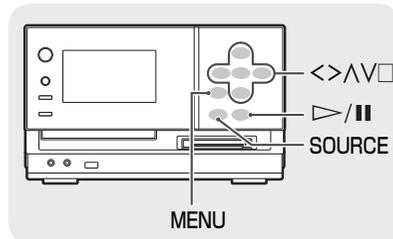
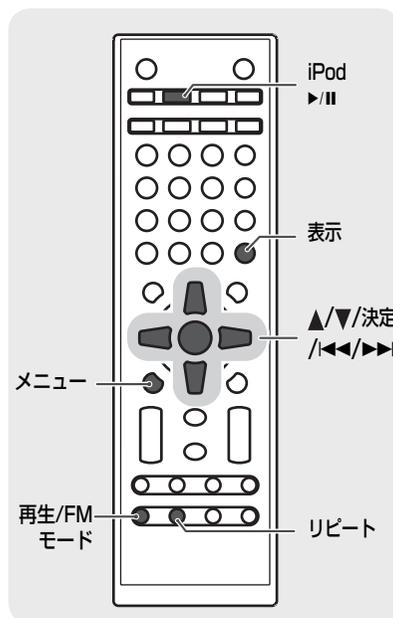
■iPodの音楽を聞く

再生できるiPodについて

iPod nano (第1世代)	1GB/2GB/4GB
iPod nano (第2世代)	2GB/4GB/8GB
iPod nano (第3世代)	4GB/8GB
iPod nano (第4世代)	8GB/16GB
iPod classic (第6世代)	80GB/160GB
iPod classic (第7世代)	120GB
iPod video (第5世代)	30GB/60GB/80GB
iPod touch (第1世代)	8GB/16GB/32GB
iPod touch (第2世代)	8GB/16GB/32GB

* 上記以外のiPodでは、本機ディスプレイに曲情報が表示されません。

お知らせ

- 本機はiPodの音声のみ再生することができます。iPodをビデオ機能にすると、音声を聞くことはできますが、映像の出力はできません。
- 本体のコネクタ部分に直接さわったり、物を当てたりしないでください。破損の原因になります。
- iPodのソフトウェアのバージョンが古いときは正常に動作しない場合があります。そのようなときは、iPodのソフトウェアのバージョンアップを行なってください。 <http://www.apple.com/jp/>
- 本機の故障、または不測の事態などにより、再生において利用の機会を逸したために発生した損害等の補償については、ご容赦ください。大切なデータはパソコンなどにバックアップを取っておくことをお勧めします。
- iPodのイコライザーを設定していると、録音レベルが高い音を再生したときに音がひずむ可能性があります。iPodのイコライザー設定はオフにすることをお勧めします。iPodの操作についてはiPodの取扱説明書をお読みください。
- 本機の電源を入れなくても、本機にiPodを接続しただけでiPod側の電源が入ることがあります。

iPodを再生する

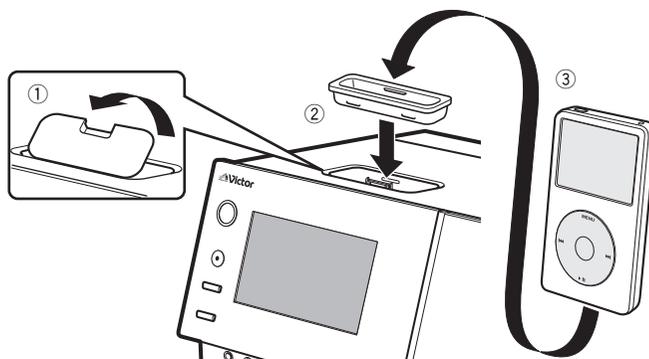
1 iPodを接続する

① iPod用ドックのふたを取りはずす
- ふたは保管してください。

② ドックアダプター(iPodに付属または別売り)を本機に取り付ける

③ iPodを差し込む

2 iPodを再生する

リモコン: [iPod ►/II]を押す

本体: SOURCE をくり返し押して「iPod」を選び、□ を押す

再生が始まります。

曲の選択:[メニュー]/[▲]/[▼]で曲を選び、[決定]を押す

頭出し(スキップ)

- 現在の曲の頭出し: [I◄◄]を押す
- 前の曲の頭出し: [I◄◄]を2回押す
- 次の曲の頭出し: [►►I]を押す

早戻し・早送り

- 早戻し: [I◄◄]を押しつづける
- 早送り: [►►I]を押しつづける

一時停止:[iPod ►/II] を押す

リピート:[リピート]をくり返し押して「1曲」、「すべて」または「オフ」を選ぶ

シャッフル:[再生/FMモード]をくり返し押して「曲」、「アルバム」または「オフ」を選ぶ

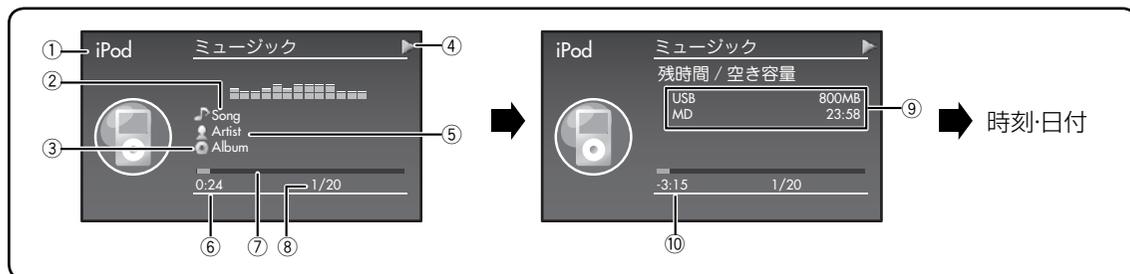
お知らせ

曲の選択、リピート、シャッフルの設定やメニュー操作はiPodの画面を見ながら行なってください。

▶ iPodの接続について

- 「iPodチャージ設定」が「オン」のとき、接続しているiPodを充電することができます。(➡121ページ)
- iPodをはずすときは、本機の電源を切ってからはずしてください。再生中はiPodをはずさないでください。
- iPod用ドックからドックアダプターを取りはずすときは、指の爪や先の細い物をスロット部にかけて、ドックアダプターをひきあげてください。
  – 爪を傷つけたり、iPod用ドックの端子を破損しないように気をつけてください。

▶ 画面表示

[表示]を押すと、時刻表示やUSB機器の空き容量/MDの録音残り時間などに表示を切り換えることができます。

①ソース(音源)名
②曲名(曲情報がないときは表示なし)
③アルバム名(曲情報がないときは表示なし)
④動作アイコン(►:再生、II:一時停止、►►:早送り、◄◄:早戻し)
⑤アーティスト名(曲情報がないときは表示なし)
⑥再生経過時間
⑦再生経過表示
⑧トラック番号/トラック総数
⑨USB機器の空き容量/MDの録音残り時間*
⑩再生中の曲の残り時間

* 録音先のUSB機器/MDがないときは、空き容量/録音残り時間は「- - -MB」/「-:- -」と表示されます。

■USB機器を再生する

USB

再生できるUSB機器について

▶ USBフラッシュメモリー

MSC(USBマスストレージ規格)に対応している機器

▶ デジタルオーディオプレーヤー

MSC(USBマスストレージ規格)またはMTPに対応し、Microsoft® Windows Media® Playerで音楽ファイルを転送できるプレーヤー

● 当社製デジタルオーディオプレーヤー 対応機種

種類	対応USB形式
XA-C210/XA-C110/XA-C51、XA-C109/XA-C59、XA-Vシリーズ、XA-Mシリーズ	MTP/MSC
XA-S/XA-F/XA-E/XA-MPシリーズ	MSC

他社製品の動作確認済みモデルについてはホームページ(http://www.victor.co.jp/support/qa.html)をご覧ください。

お知らせ

- Microsoft® Windows Media® Player以外の楽曲管理ソフトで音楽ファイルを管理しているデジタルオーディオプレーヤー内の曲(ファイル)を本機にUSB接続して再生することはできません。本機のAUDIO IN端子に接続して再生してください。
- すべての機器についての動作を保証するものではありません。

USB機器で再生できるファイルについて

フォーマット	拡張子
MP3(8kbps〜320kbps、8kHz〜48kHz、VBR*[1])	「.MP3」「.mp3」
WMA/WMA-DRM10(8kbps〜320kbps、8kHz〜48kHz、VBR*[1])	「.WMA」「.wma」
WAV(16bit、リニアPCM、8kHz〜48kHz)	「.WAV」「.wav」
WMV • 映像 プロファイル:WMV9 シンプル・メインプロファイル、画像サイズ:QVGA(320 x 240ピクセル)以下*[2]、フレームレート:最大30fps*[2]、ビットレート:最大512kbps • 音声 プロファイル:WMA9、ビットレート:最大128kbps	「.WMV」「.wmv」
JPEG*[3](最大12メガピクセル)	「.JPEG」「.jpeg」「.JPG」「.jpg」

*[1] VBR:可変ビットレート

*[2] 表示画面サイズWQVGA(480 x 272ピクセル)のWMVを使用する場合には、フレームレートを20fps以下におとしてください。

*[3] JPEGの再生については、55ページの「写真を見る」をご覧ください。

お知らせ

- サンプリング周波数とビットレートの組み合わせによっては、正常に再生できない場合があります。
- 本機は、MP3iおよびMP3 PROファイルには対応していません。
- WMA Lossless、Proおよびボイスには対応していません。
- プログレッシブJPEGには対応していません。
- WMVファイルを再生中に情報表示やメニュー表示を行なうと、規格範囲内のファイルであっても正常に再生できない場合があります。

▶ データ数の制限について

- 最大再生対応ファイル数 : 5000
- 1フォルダあたりの最大ファイル数 : 999
- ファイルとフォルダの最大総数 : 20000
- 最大フォルダ階層数 : 7
- プレイリスト最大登録数 : 5000

▶ WMVファイル、JPEGファイルを再生するには

WMVファイル、JPEGファイルを再生するには、本機と接続機器をMSC(USBマスストレージ規格)接続する必要があります。
接続するデジタルオーディオプレーヤーがMTPとMSCの両方に対応している場合は、「本機のUSBモードを変更する」(➡28ページ)の手順で本機のUSBモードを「MSC」に変更してください。

▶ WMA-DRM(著作権保護付き)ファイルをデジタル再生するには

WMA-DRM(著作権保護付き)をデジタル再生するには、接続するUSB機器と接続される機器が両方ともデジタルメディアストリーミングに対応している必要があります。本機はデジタルメディアストリーミングに対応しています。

デジタルメディアストリーミング対応機種

- **当社製デジタルオーディオプレーヤー**

XA-C210/XA-C110/XA-C51、XA-C109/XA-C59、XA-Vシリーズ

デジタルオーディオプレーヤーを接続してWMA-DRMファイルを再生するには

デジタルメディアストリーミング対応のデジタルオーディオプレーヤーを本機に接続してWMA-DRMファイルを再生するには、本機のUSBモードを「オート」にしてMTPで接続する必要があります。
(「本機のUSBモードを変更する」➡28ページ)

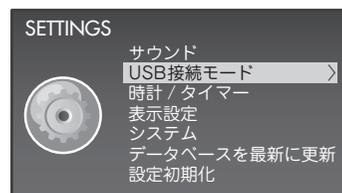
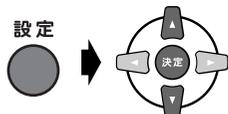
お知らせ

XA-C109/XA-C59については、ファームウェアをVer.1.03.0641以降にバージョンアップする必要があります。
以下のホームページの説明にしたがって、バージョンアップを行なってください。
http://www.victor.co.jp/audio_w/support/download/index.html

本機のUSBモードを変更する

ご注意

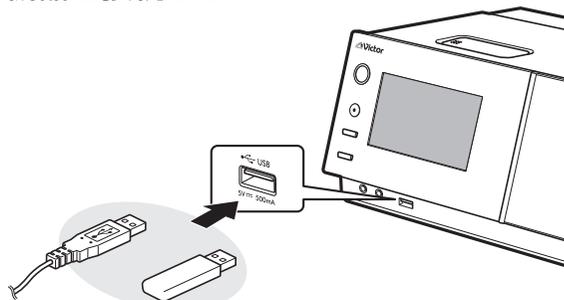
USBモードを切り換える前に、電源を切ってからUSB機器をはずしてください。USB機器を接続していると、USBモードを切り換えることができません。

1 [設定]を押して「USB接続モード」を選び、[決定]を押す

2 「オート」または「MSC」を選び、[決定] を押す

オート　MSC接続とMTP接続を自動的に切り換えます。(MTP優先)

MSC　MSCで接続します。

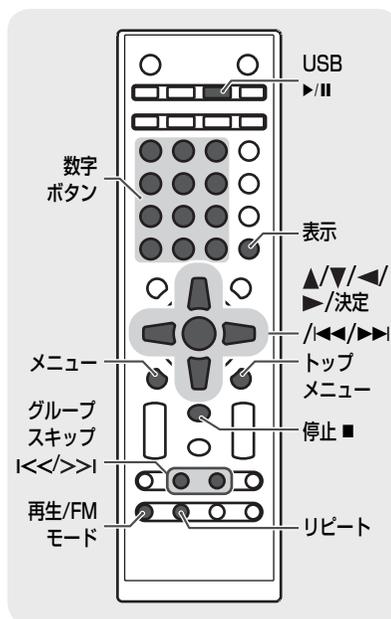
USB機器を再生する

1 USB機器を接続する

2 USBを再生する

リモコン: USB ▶/II を押す

本体: SOURCE をくり返し押して「USB」を選び、□ を押す
再生が始まります。

頭出し(スキップ)

- 現在の曲の頭出し: [I◀◀] を押す
- 前の曲の頭出し: [I◀◀] を2回押す
- 次の曲の頭出し: [▶▶I] を押す

早戻し・早送り

- 早戻し: [I◀◀] を押しつづける
- 早送り: [▶▶I] を押しつづける

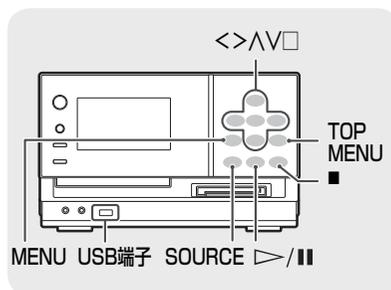
グループ(フォルダ)スキップ

- 前のグループ(フォルダ)にスキップする:
  [グループスキップ I<<]を押す
- 次のグループ(フォルダ)にスキップする:
  [グループスキップ >>I]を押す

一時停止: [USB ▶/II] を押す

停止: [停止 ■] を押す

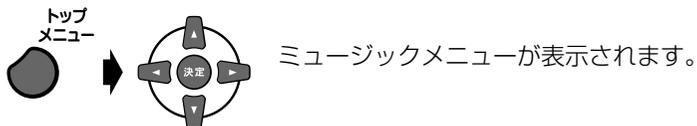
トラック番号を直接指定する

- 「3」を選ぶ: ③を押す
- 「10」を選ぶ: ⑩を押す
- 「20」を選ぶ: ≧10→②→⓪と押す
- 「23」を選ぶ: ≧10→②→③と押す
- 「123」を選ぶ: ≧10→≧10→①→②→③と押す

お知らせ

- デジタルオーディオプレーヤーをMTP接続しているときは、早戻し・早送りの操作ができません。
- 再生を停止すると、次の再生は前回聞いていた曲の頭から始まります。以下の場合は、位置情報が消去され、再生は1曲目から始まります。
  – 「スタンバイモード」の設定が「通常」のときに(➡121ページ)電源を切った場合
  – USB機器をはずした場合

音楽ファイルを再生する

1 「TOP MENU」➔「USB」➔「ミュージック」を選び、[決定]を押す

ミュージックメニューが表示されます。

2 曲を選び、再生する

- 曲の探しかたについては、**31**〜**35**ページをご覧ください。

▶ 画面表示（音楽ファイル）

または
[表示]または[決定]を押すと、時刻表示やUSB機器の空き容量/MDの録音残り時間などに表示を切り換えることができます。

①ソース（音源）名
②曲名（曲情報がないときはファイル名または Track001、Track002・・・と表示）
③ジャケット画像*1（データがないときは ♪ を表示）
④アルバム名（曲情報がないときはAlbum001、Album002・・・と表示）
⑤動作アイコン（►：再生、■：停止、❚❚：一時停止、►►：早送り、◄◄：早戻し）
⑥再生モード/リピートモード（➡**80**、**81**ページ）
⑦アーティスト名（曲情報がないときは録音元ソース名を表示）
⑧ビットレート
⑨再生経過時間（停止時：総再生時間）
⑩再生経過表示
⑪トラック番号/トラック総数
⑫ファイルの種類
⑬USB機器の空き容量/MDの録音残り時間*2
⑭再生中の曲の残り時間

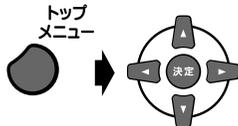
*1 画像データを含むトラック（ファイル）を再生すると、ジャケット画像として表示します。
また、お好みの画像をジャケット画像として表示するには、表示させたいJPEGファイル（最大200キロバイト）を「Folder.jpg」というファイル名にして、USB機器の音楽ファイルが入っているフォルダに入れます。
トラック（ファイル）内にジャケット画像が含まれている場合は、その画像が優先して表示されます。

*2 録音先のMDがないときは、録音残り時間は「-:--」と表示されます。

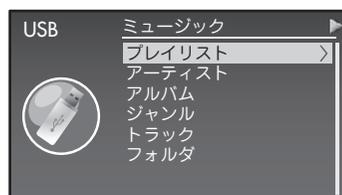
お知らせ

A-Bリピート再生中(➡**80**ページ)は、[決定]を押して画面表示を切り換えることはできません。

ミュージックメニュー(アルバム、アーティストなど)から曲を探す

1 「TOP MENU」➔「USB」➔「ミュージック」を選び、[決定]を押す

ミュージックメニューが表示されます。

2 曲の探しかたを選び、[決定]を押す

曲情報を利用して、いくつかの方法で曲を探すことができます。

曲の探しかた	表示と構成
プレイリスト	お気に入りに登録済みの曲および作成済みのプレイリストを表示します。➡84ページ
アーティスト	アーティストごとに表示します。 「アーティスト名」➔「アルバム名」➔「曲名」
アルバム	アルバムごとに表示します。 「アルバム名」➔「曲名」
ジャンル	ジャンルごとに表示します。 「ジャンル名」➔「曲名」
トラック	すべてのトラックを名前順に表示します。
フォルダ	すべてのフォルダを名前順に表示します。 「フォルダ名」➔「曲名」

3 曲を選び、[決定]を押す

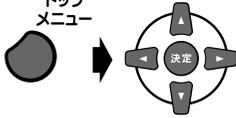
選んだ曲から再生が始まります。

- アーティスト、ジャンル、トラックはおおむねアルファベット順に再生します。アルバムはトラック番号順に再生します。

お知らせ

- アーティスト名は、曲情報がないときは録音元のソース(音源)名になります。
- 「アーティスト」で「すべて」を選ぶと、すべての曲がアーティスト名順(同一アーティストの中ではアルバム名順)に表示されます。
  「アルバム」または「ジャンル」で「すべて」を選ぶと、すべての曲がアルバム名順またはジャンル名順に表示されます。
- アルバムの一覧を表示しているときに、[表示]を押して一覧の表示形式を変更することができます。[表示]を押すごとに、表示形式が変わります。(アルバム名のみ、アルバム名とジャケット画像、ジャケット画像のみ)
  – 一覧を表示しているときに、メニューから「アルバム表示形式」で表示したい形式(「アルバム名のみ」、「ジャケットあり」または「ジャケットのみ」)を選んでも、変更できます。

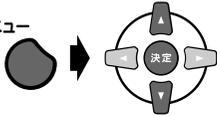
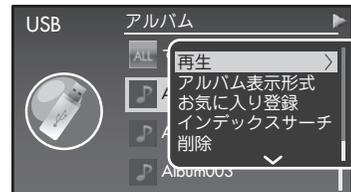
▶ アーティスト、アルバム、またはジャンルの曲をすべて再生する

1 「TOP MENU」→「USB」→「ミュージック」を選び、[決定]を押す

ミュージックメニューが表示されます。

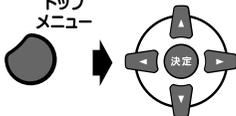
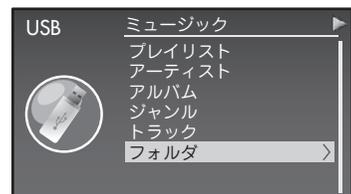
2 聞きたいアーティスト、アルバム、またはジャンルを選ぶ

例:アルバムを選ぶ場合
① [▲]/[▼]で「アルバム」を選び、[決定]を押す
② [▲]/[▼]で聞きたいアルバムを選ぶ

例:アルバムを選んだ場合

3 メニューを表示して「再生」を選び、[決定]を押す

選んだ項目に含まれるすべての曲が再生されます。

フォルダから曲を探す

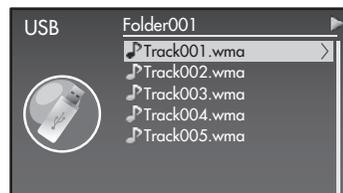
▶ ファイルを選んで再生する

1 「TOP MENU」→「USB」→「ミュージック」→「フォルダ」を選び、[決定]を押す

フォルダの一覧が表示されます。

2 再生したい曲の入っているフォルダを選び、[決定]を押す

曲の一覧が表示されます。

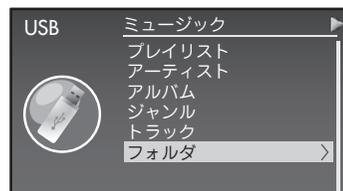
3 再生したい曲を選び、[決定]を押す

選んだ曲から再生が始まります。

お知らせ

- フォルダの中に、さらに別のフォルダが含まれていることがあります。この場合は、目的の曲を含むフォルダを選び、[決定]を押すと、そのフォルダの内容が表示されます。
- :フォルダ / :ファイルを示します。

▶ フォルダに含まれる曲をすべて再生する

1 「TOP MENU」➔「USB」➔「ミュージック」➔「フォルダ」を選び、[決定]を押す

フォルダの一覧が表示されます。

2 再生したいフォルダを選ぶ

3 メニューを表示して「再生」を選び、[決定]を押す

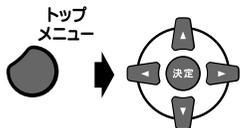
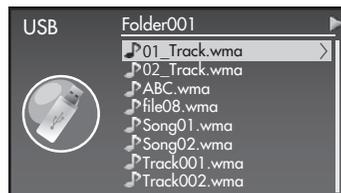
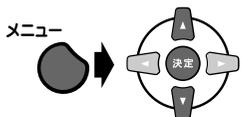
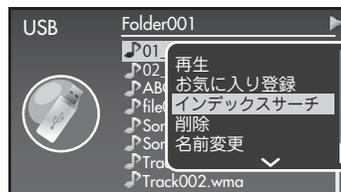
フォルダに含まれるすべての曲が再生されます。

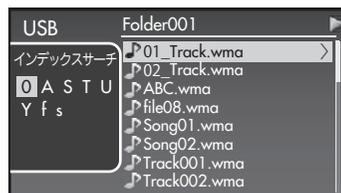
お知らせ

フォルダの中に別のフォルダが含まれている場合は、「サブフォルダを含むときの再生順序について」(➔**38**ページ)をご覧ください。

名前から曲を探す(インデックスサーチ)

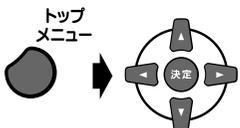
例:「Folder001」フォルダの中の「01_Track」という曲を探す場合

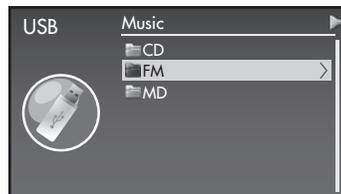
1 「TOP MENU」➔「USB」➔「ミュージック」➔「フォルダ」➔「Folder001」を選び、[決定]を押す

「Folder001」フォルダの中の曲の一覧が表示されます。

2 メニューを表示して「インデックスサーチ」を選び、[決定]を押す

検索可能な文字が表示されます

3 探したいフォルダまたは曲の名前の最初の文字を選び、[決定]を押す

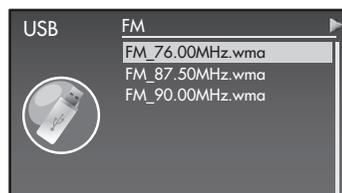
次に検索可能な文字が表示されます。探したいフォルダまたは曲が見つかるまで、くり返します。

お知らせ

プレイリスト、アーティスト、アルバム、ジャンル、トラック、フォルダの一覧を表示しているときもインデックスサーチが可能です。

録音元のソース(音源)から曲を探す

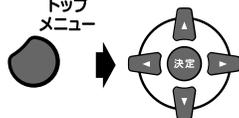
1 「TOP MENU」➔「USB」➔「ミュージック」➔「フォルダ」➔「Music」を選び、[決定]を押す

録音元のソース(音源)名の一覧が表示されます。

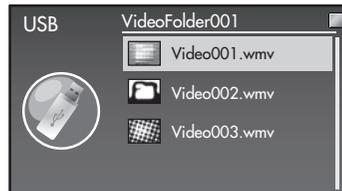
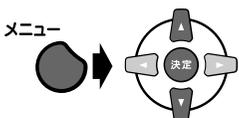
2 録音元のソース(音源)を選び、[決定]を押す

3 再生したい曲を選び、[決定]を押す

選んだ曲から再生が始まります。

お知らせ

- 録音元のソース(音源)名のついたフォルダの中に、さらに別のフォルダが含まれていることがあります。この場合は、目的の曲を含むフォルダを選び、[決定]を押すと、そのフォルダの内容が表示されます。
- 録音された曲の詳細については、66ページをご覧ください。

ビデオファイルを再生する

1 「TOP MENU」➔「USB」➔「ビデオ」を選び、[決定]を押す

ビデオフォルダの一覧が表示されます。

2 フォルダを選んで[決定]を押して、ファイルを選ぶ

3 メニューを表示して「再生」➔「初めから再生」を選び、[決定]を押す

ビデオの再生が始まります。

- 最近再生したビデオを見るには、「再生」➔「最近再生したビデオ」を選び、[決定]を押します。

お知らせ

- 手順2のあとに[決定]を押しても、ビデオを再生することができます。
- ビデオファイルの入っているフォルダまたはビデオファイルの一覧を表示しているときに、[表示]を押して一覧の表示形式を変更することができます。[表示]を押すごとに、表示形式が変わります。(ファイル名のみ、ファイル名とサムネイル画像、サムネイル画像のみ)
  - 一覧を表示しているときに、メニューから「ファイル表示形式」で表示したい形式(「ファイル名のみ」、「サムネイルあり」または「サムネイルのみ」)を選んでも、変更できます。

ビデオの再生方法を変更する/情報を見る

▶ リピート再生する

再生中の曲をくり返し再生します。

1 再生中に（リピート）をくり返し押して、「リピートモード オン」を選ぶ

お知らせ

- メニューから「リピートモード」➔「オン」を選んでもリピート再生することができます。
- リピート再生をやめるには、「リピートモード オフ」を選びます。

▶ 連続再生する

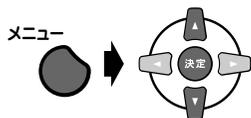
フォルダの中のすべてのビデオファイルを連続で再生することができます。

1 再生中に（再生/FMモード）をくり返し押して、「連続再生オン」を選ぶ

お知らせ

- メニューから「連続再生」➔「オン」を選んでも連続再生することができます。
- 連続再生をやめるには、「連続再生オフ」を選びます。

▶ 映像の表示サイズを変更する

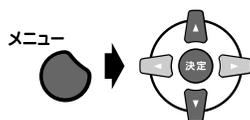
1 再生中にメニューを表示して「表示方法」を選び、[決定]を押す

2 表示サイズを選び、[決定]を押す

ノーマル	通常のサイズで表示します。
ズーム	映像を拡大します。

お知らせ

再生中に[表示]を押しても表示サイズを変更できます。

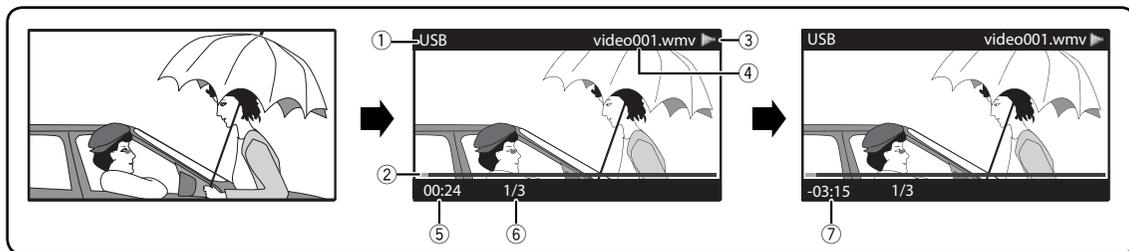
▶ ビデオファイルの情報を表示する

1 再生中にメニューを表示して「情報表示」を選び、[決定]を押す

2 「オン」を選び、[決定]を押す

再生中のビデオの情報が表示されます。

お知らせ

- 情報の表示を消すには、手順2で「オフ」を選びます。
- 再生中に[決定]を押すと、情報を一時的に表示することができます。

▶ 画面表示（ビデオファイル）

①ソース（音源）名
②再生経過表示
③動作アイコン（►：再生、❚❚：一時停止、►►：早送り、◄◄：早戻し）
④ファイル名
⑤再生経過時間
⑥ファイル番号/ファイル総数（「連続再生が「オン」に設定されているときのみ）
⑦再生中のファイルの残り時間

▶ USB機器の接続について

- USBケーブル（市販品）を使って、本体前面のUSB端子とデジタルオーディオプレーヤー、USBフラッシュメモリーを接続することができます。
- USB機器をはずすときは、本機の電源を切ってからはずしてください。再生中、録音中および編集中はUSB機器をはずさないでください。
- 一度に複数のUSB機器を接続しないようにしてください。また、ハブを使った接続はしないでください。
- USB機器を接続するときは、USB機器の取扱説明書もご覧ください。
- 本機の電源が入っているとき、USB接続しているUSB機器を充電することができます。
  本機の電源が切れているときも、「スタンバイモード」（➡**121**ページ）が「高速起動」に設定されていると、USB機器を充電できます。
- 接続したUSB機器の形状によっては、PHONES端子やAUDIO IN端子に干渉するため、接続できない場合があります。

▶ USB機器の記憶について

本機は、接続されたUSB機器を4台まで自動的に記憶します。一度本機が記憶したUSB機器は、次に接続したときに短時間で読み込むことができます。

- MTP接続されたUSB機器を記憶することはできません。
- ジャケット画像を含む曲（ファイル）がUSB機器に録音されている場合、4台の合計で最大5000曲分までのジャケット画像を記憶できます。

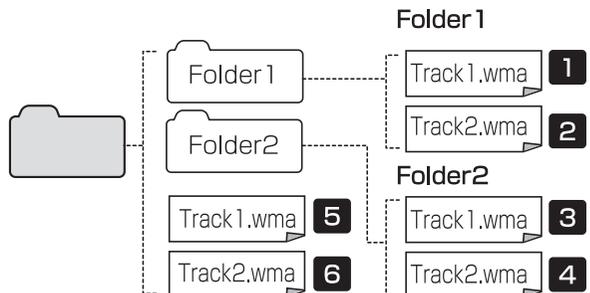
お知らせ

- USB機器をはじめて接続したときは、読み込みに時間がかかることがあります。
- 次の場合は、USB機器を本機に接続したあと、本機の記憶内容を更新してください。
  - USB機器を読み込み途中ではずした場合
    読み込みが途中で中断されたため、本機の記憶内容が途中までとなり、次に接続したときにUSB機器内にあるすべてのファイルが読み込まれず、曲数が正しく表示されません。
  - 本機が記憶したUSB機器に、本機以外の機器でファイルの追加や削除を行った場合

  記憶内容を更新するには：

  [設定]を押して「データベースを最新に更新」を選び、[決定]を押します。確認画面が表示されたら「はい」を選び、[決定]を押します。
- 本機がUSB機器を4台記憶しているときに、新しく別のUSB機器を接続すると、本機が記憶している4台のうち、最も古い1台の記憶内容が削除され、新しく接続されたUSB機器が記憶されます。
- ファイルにジャケット画像が含まれていると、ジャケット画像を抜き出してデータベースに登録するため、ジャケット画像がない場合に比べ、読み込みに時間がかかります。
- USB機器に本機で再生できないファイルが多数入っていると、再生可能なファイル数が少なくても読み込みに時間がかかることがあります。再生できないファイルはできるだけ入れないことをお勧めします。

▶ サブフォルダを含むときの再生順序について

選んだフォルダの中に別のフォルダ（サブフォルダ）が含まれているときは、右のような順序で再生します。

■MDを聞く

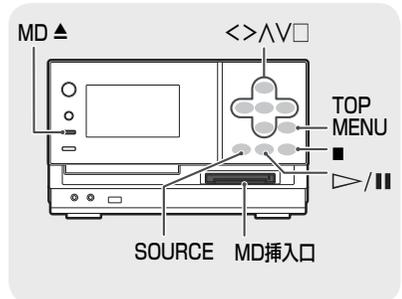
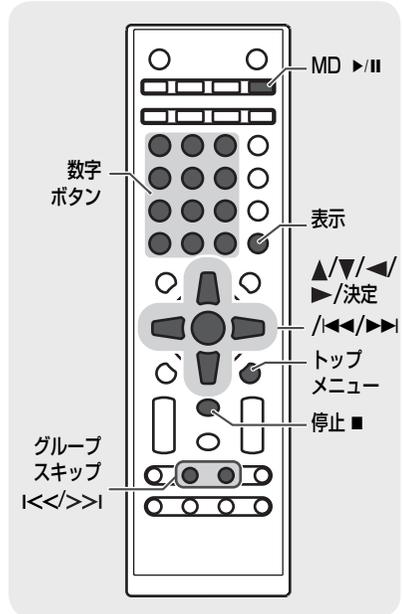
1 MDを入れる

MDを入れると、操作パネルは自動的に元の設定位置に戻ります。

2 MDを再生する

リモコン： MD ▶/II を押す

本体： SOURCE をくり返し押して「MD」を選び、□ を押す

1曲目から再生が始まります。

MD ▶/II
数字ボタン
表示
▲/▼/◀/▶/決定
/I◀◀/▶▶I
トップメニュー
停止 ■
グループスキップ I<</>>I

頭出し（スキップ）

- 現在の曲の頭出し： [I◀◀] を押す
- 前の曲の頭出し： [I◀◀] を2回押す
- 次の曲の頭出し： [▶▶I] を押す

早戻し・早送り

- 早戻し： [I◀◀] を押しつづける
- 早送り： [▶▶I] を押しつづける

グループスキップ

- 前のグループにスキップする： [グループスキップ I<<] を押す
- 次のグループにスキップする： [グループスキップ >>I] を押す

一時停止：[MD ▶/II] を押す

停止：[停止 ■] を押す

MDの取り出し：本体の[MD ≜] を押す

トラック番号を直接指定する

- 「3」を選ぶ： ③を押す
- 「10」を選ぶ： ⑩を押す
- 「20」を選ぶ： ≧10→②→⓪と押す
- 「23」を選ぶ： ≧10→②→③と押す
- 「123」を選ぶ： ≧10→≧10→①→②→③と押す

お知らせ

再生を停止すると、次の再生は１曲目から始まります。

ご注意

本体の[MD ≜]を押してMDを取り出したあとは、もう一度[MD ≜]を押して操作パネルを閉じてください。MDを取り出す前に[MD ≜]を押して操作パネルを閉じると、MDに傷がつくことがあります。操作パネルを閉じる前に必ずMDを取り出してください。

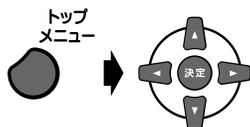
▶ 画面表示 または

[表示]または[決定]を押すと、時刻表示やUSB機器/MDの録音残り時間などに表示を切り換えることができます。

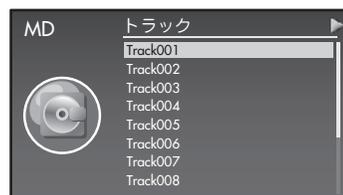
①ソース(音源)名
②曲タイトル(曲タイトルがないときはTrack001、Track002･・･と表示)
③グループタイトル名(グループタイトル名がないときはGroup01、Group02･・･と表示)
④動作アイコン(▶:再生、■:停止、⏸:一時停止、▶▶:早送り、◀◀:早戻し)
⑤再生モード/リピートモード(➡**80**〜**82**ページ)
⑥ディスクタイトル名(曲情報がないときは表示なし)
⑦録音品質
⑧再生経過時間(停止時:総再生時間)
⑨再生経過表示
⑩トラック番号/トラック総数(停止時:トラック総数)
⑪グループ番号(グループに登録されていないときは表示なし)
⑫USB機器/MDの録音残り時間*
⑬再生中の曲の残り時間

* 録音先のUSB機器がないときは、録音残り時間は「-:- -」と表示されます。

▶ トラックの一覧から曲を選ぶ

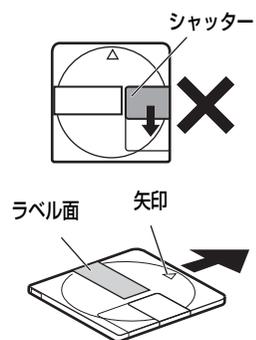
1 「TOP MENU」➔「MD」➔「トラック」を選び、[決定]を押す

トラックの一覧が表示されます。

2 曲を選び、[決定]を押す

選んだ曲から再生が始まります。

お知らせ

「TOP MENU」➔「MD」➔「グループ」を選ぶと、グループの一覧からグループと曲を選ぶことができます。

MDの取り扱いについて

- シャッターは開けないでください。無理に開けようとすると、MDが壊れます。
- 曲名などを記入したラベルは、指定の場所以外には貼らないでください。ラベルエリアよりはみ出したり、はがれかかったままMDを使用すると、故障の原因となります。
- MDは△などの矢印に従って正しく入れてください。間違った方向で挿入すると、故障の原因となります。

■ラジオを聞く

アンテナを接続する(➡12ページ)

FMまたはAMを受信します。

1 「FM」または「AM」を選ぶ

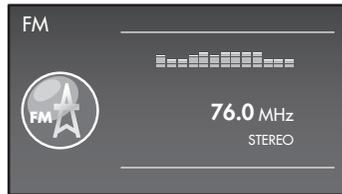
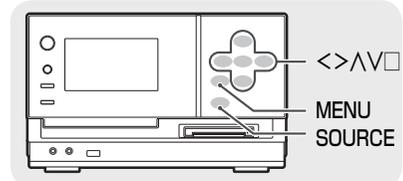
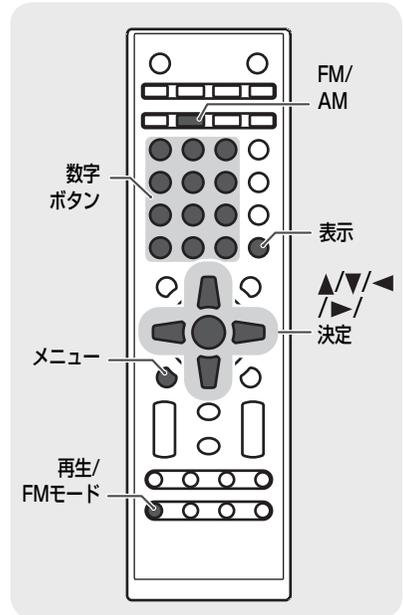
リモコン: FM/AM をくり返し押す

本体: SOURCE をくり返し押して「FM」または「AM」を選び、□ を押す

2 放送局を選ぶ

リモコン: ▲ ▼

本体: ︿ □ ﹀

[▲]/[▼](または、本体の[︿]/[﹀])を押しつづけ、周波数が変わり始めたら離してください。
受信できる放送局が見つかると、自動的に止まります。

- [▲]/[▼](または本体の[︿]/[﹀])をくり返し押すと、周波数がFMでは0.1MHzずつ、AMでは9kHzずつ変わります。

お知らせ

- 「TOP MENU」➔「FM」または「AM」から「マニュアル」を選んでも放送局を選ぶことができます。
- 本機はAMステレオ放送には対応していません。

▶ 画面表示 または

[表示]または[決定]を押すと、時刻表示やUSB機器/MDの録音残り時間などに表示を切り換えることができます。

①バンド(FM:FM放送、AM:AM放送)
②プリセット番号(マニュアル選局時:表示なし)
③放送局名(未設定時:表示なし)
④周波数
⑤FMモード(「STEREO」または「MONO」➡45ページ)

* 録音先のUSB機器/MDがないときは、録音残り時間は「-:- -」と表示されます。

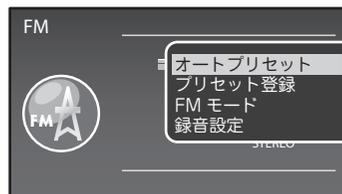
ラジオ局を登録する(プリセット)

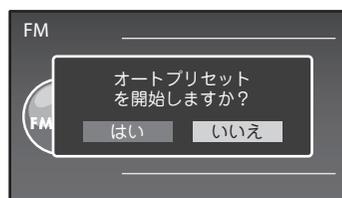
FMを最大30局、AMを最大15局まで登録することができます。

▶ 自動で登録する(オートプリセット)

1 「FM」または「AM」を選ぶ(➡42ページ)

2 メニューを表示して「オートプリセット」を選び、[決定]を押す

確認画面が表示されます。

3 「はい」を選び、[決定]を押す

選局が始まり、受信できる放送局が周波数の低い順に登録されます。

- 登録が終了すると、プリセット番号1に登録されたラジオ局が受信されます。

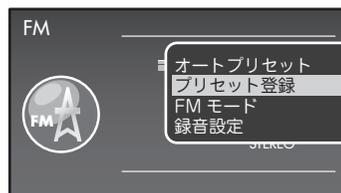
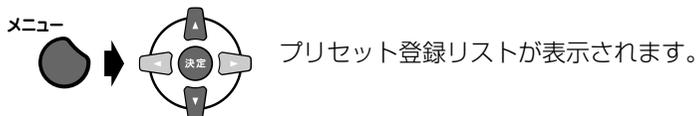
お知らせ

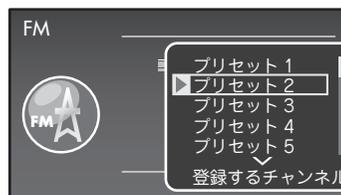
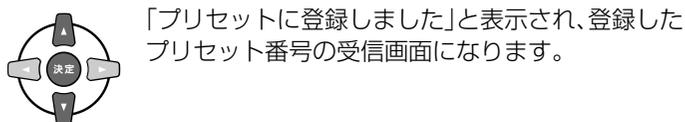
- オートプリセットの操作はFM、AMのそれぞれについて行なってください。
- FMでオートプリセットを実行すると、それまでのFM局の登録はすべて削除されます。AMでオートプリセットを実行すると、それまでのAM局の登録はすべて削除されます。
- オートプリセットでFMのラジオ局を登録すると、FMモードはすべて「オート」になります。(➡45ページ)
- 雑音の多いラジオ局も登録されることがあります。このようなときは、手動で登録し直してください。(➡44ページ)

▶ 手動で登録する

1 **登録したいラジオ局を受信する(➡42ページ)**

2 **メニューを表示して「プリセット登録」を選び、[決定]を押す**

プリセット登録リストが表示されます。

3 **登録したいプリセット番号を選び、[決定]を押す**

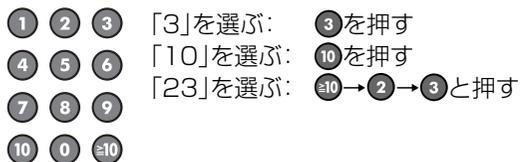
「プリセットに登録しました」と表示され、登録したプリセット番号の受信画面になります。

お知らせ

手動でラジオ局を登録したときは、FMモードも記憶されます。(➡45ページ)

▶ プリセット登録したラジオ局を選ぶ

1 **FMまたはAM受信中に、数字ボタンで聞きたいラジオ局のプリセット番号を押す**

①②③
④⑤⑥
⑦⑧⑨
⑩⓪≧10

「3」を選ぶ:　③を押す
「10」を選ぶ:　⑩を押す
「23」を選ぶ:　≧10→②→③と押す

お知らせ

- 「TOP MENU」➔「FM」または「AM」➔「プリセット」でもプリセットの一覧から選ぶことができます。
- プリセット登録したラジオ局を受信しているときに[◀]/[▶]を押してもプリセット番号を選ぶことができます。

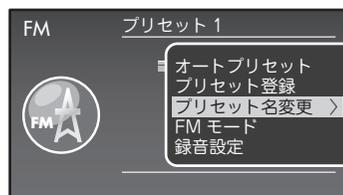
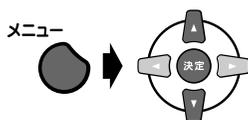
プリセット登録したラジオ局に名前を付ける

プリセット登録したラジオ局を受信したときに、表示させる名前(ラジオ局名など)をつけることができます。

1 名前を付けたい局を受信する

ご注意

[▲]/[▼]でラジオ局を選んだときは、名前を付けることはできません。数字ボタンで選局してください。

2 メニューを表示して「プリセット名変更」を選び、[決定]を押す

3 名前を入力し、「決定」を選んで[決定]を押す

- 文字入力の方法は、「文字入力のしかた」(➡92ページ)をご覧ください。

お知らせ

名前をつけたあとで、再度オートプリセットや手動プリセットを行うと、名前は削除されます。

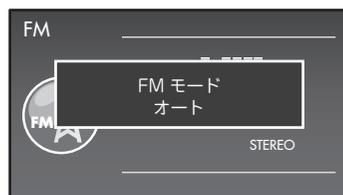
FMモードを切り換える

FMステレオ放送が雑音で聞きにくいときは、音声をモノラルにすると聞きやすくなることがあります。

1 再生/FMモード を押す

押すごとに、FMモードが次のように切り換わります。

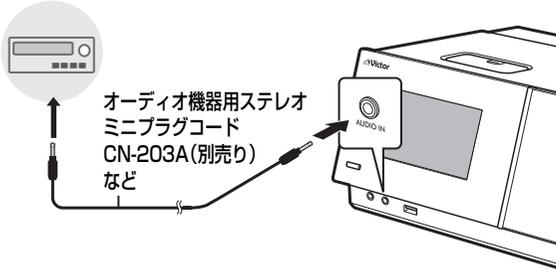
表示	設定
●オート	STEREO(ステレオ受信時)
モノラル	MONO(モノラル)

●:お買い上げ時の設定

お知らせ

メニューから「FMモード」を選んでもFMモードを切り換えることができます。

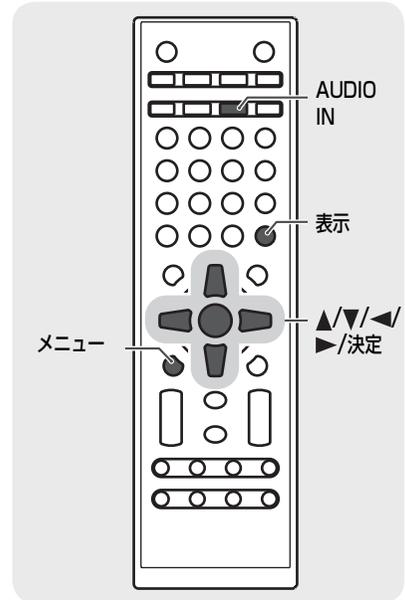
■外部機器をつないで聞く

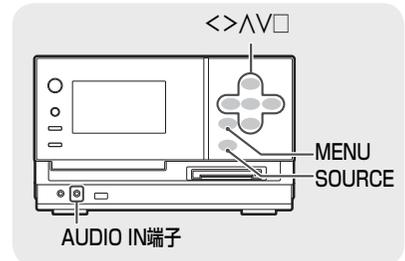
本機につないだカセットデッキなどの音を聞くことができます。

1 AUDIO IN端子に外部機器をつなぐ

2 ソース(音源)を「AUDIO IN」に切り換える

リモコン: AUDIO IN を押す

本体: SOURCE をくり返し押して「AUDIO IN」を選び、

□ を押す

3 外部機器を再生する

- 詳しくは、外部機器の取扱説明書をご覧ください。

▶ 画面表示

または 決定

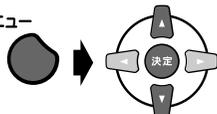
[表示]または[決定]を押すと、時刻表示やUSB機器/MDの録音残り時間などに表示を切り換えることができます。

①ソース（音源）名
②入力レベル（➡下記）
③USB機器/MDの録音残り時間*

* 録音先のUSB機器/MDがないときは、録音残り時間は「-:- -」と表示されます。

▶ 音声入力レベルを調節する

つないだ機器側の出力レベルが大きいときは、本機の音声入力レベルを調節することができます。

1 メニューを表示して「入力レベル」を選び、[決定]を押す

2 適切なレベルを選び、[決定]を押す

レベル 1	レベル 2で音が大きい、または音が歪んで聞こえるときに選びます。
レベル 2	レベル 3で音が大きい、または音が歪んで聞こえるときに選びます。
レベル 3	通常はこちらでご使用ください。（お買い上げ時の設定）

ワンセグテレビを見る

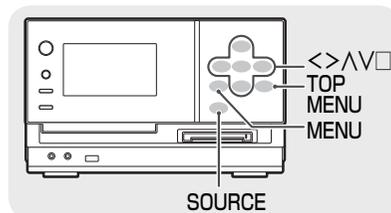
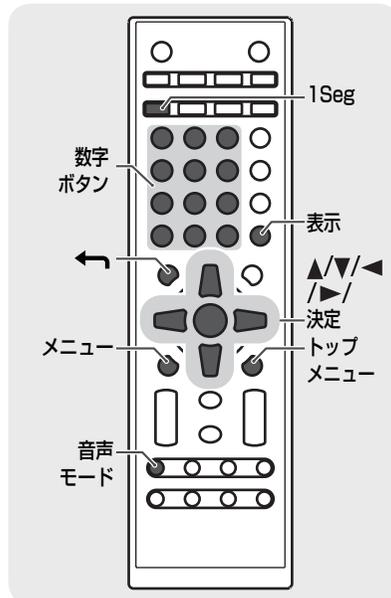
アンテナを接続する(➡11ページ)

■ワンセグとは

移動体向け地上デジタル放送のことです。
1チャンネル(6MHz)の帯域を13個の帯域(セグメント)に分け、そのうちの1セグメントを移動体向けに利用していることから「ワンセグ」と呼ばれます。

- ワンセグはテレビ放送事業者(放送局)などにより提供されるサービスです。
- ワンセグは受信エリアが限定されます。受信エリア内でも、地形や建物などによって電波がさえぎられる場所などがある環境では受信できないことがあります。
- ワンセグの詳細については下記のホームページをご覧ください。
  社団法人　地上デジタル放送推進協会
  http://www.dpa.or.jp/
- 放送局によっては実際のワンセグ放送を行なっていないところもあります。そのような放送局では、受信しても映像が映りません。

お知らせ

- **ワンセグ放送の録画・録音はできません。**
- **ワンセグテレビの画面の明るさ、画質調節などはできません。**
- 本機は、双方向サービス、データ放送、緊急警報放送には対応しておりません。
- ワンセグは画面が小さい移動体向けの放送サービスのため、画質が粗く感じられたり、映像の動きがなめらかでなかったりすることがあります。

はじめて本機でワンセグテレビを見る

受信可能なチャンネルをプリセットします。(初期チャンネルスキャン)

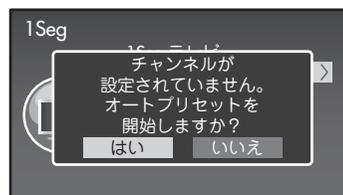
1 ソース(音源)を「1Seg」に切り換える

リモコン: 1Seg を押す

本体: SOURCE をくり返し押して「1Seg」を選び、□ を押す

チャンネルスキャン開始のメッセージが表示されます。

2 「はい」を選び、[決定]を押す

チャンネルスキャンが始まります。
チャンネルスキャンが終わると、「オートプリセットが終了しました」と表示されて、受信可能なチャンネルがプリセットされます。
ワンセグテレビを見られるようになります。

お知らせ

受信状態によって、プリセットされるチャンネルが変わります。
アンテナを調節したときや、本機の位置を変えたときなど、受信状態が変わったときは、チャンネルスキャン(オートプリセット)を行うことをおすすめします。(➡50ページ)

■ワンセグテレビを見る

1 ソース(音源)を「1Seg」に切り換える

1Seg

前回見ていたチャンネルが映ります。

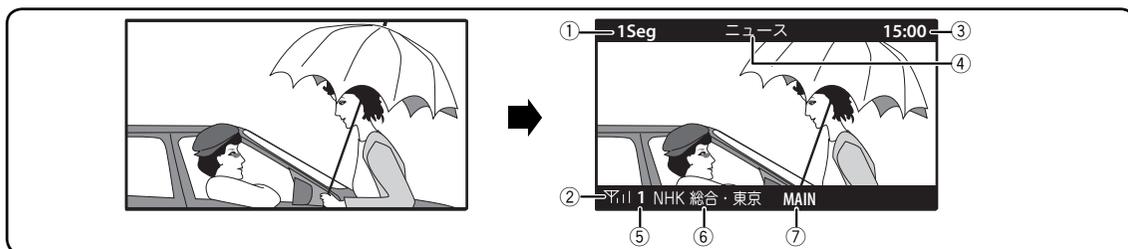
2 チャンネルを選ぶ

1 2 3
4 5 6
7 8 9
10 0 ≧10

お知らせ

- [◀]/[▶]/[▲]/[▼]でもチャンネルを選ぶことができます。
- 受信状態や受信電波が悪く、ワンセグテレビが映らないときは「受信できません」と表示されます。
  受信できないときは、本機の位置やアンテナの角度を調節してください。それでも受信できないときは、外部アンテナを接続してください。(➡**11**ページ)
- 視聴予約をするには、「再生タイマーを使う」(➡**113**ページ)をご覧ください。

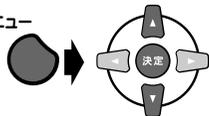
▶ 画面表示

[決定]を押すと、受信情報を一時的に表示します。

①ソース(音源)名
②受信レベル
- ：受信できない状態
- / / ：アンテナの数が多いほど、受信状態が良好なことを示します。

③時刻
④番組名
⑤チャンネル番号
⑥放送局名
⑦音声モード

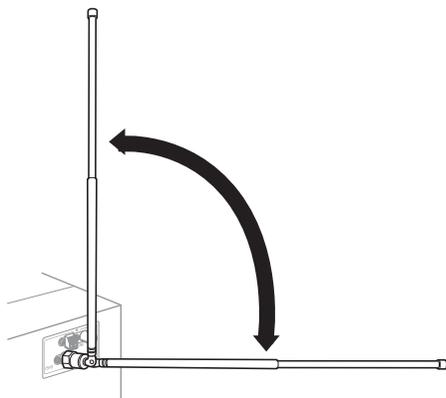
受信可能なチャンネルをプリセットする（オートプリセット）

本機の位置を変えたり、アンテナを調節したりして受信状態が変わったときは、受信可能なチャンネルをプリセットしてください。

1 視聴画面でメニューを表示して「オートプリセット」を選び、[決定]を押す

確認画面が表示されます。

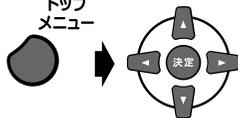
2 「はい」を選び、[決定]を押す

チャンネルスキャンが始まり、受信可能なチャンネルがチャンネルリストに登録されます。

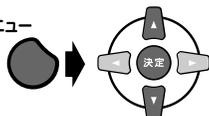
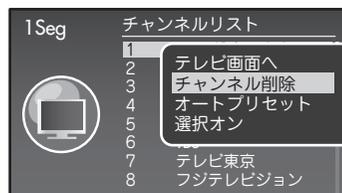
- ロッドアンテナ（付属品）を接続している場合は、アンテナの角度を調整して、数回オートプリセットを行い、受信状態が最良のポイントを見つけてください。

お知らせ

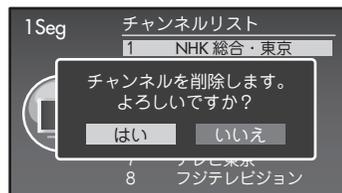
- 地域、受信環境、設置場所によっては受信できない場合があります。
- 安定した受信のため、外部アンテナ（市販品）の使用をおすすめします。（➡11ページ）
- 外部アンテナ使用時は、UHFアンテナをご使用ください。
- CATV（ケーブルテレビ）に接続の際は、CATV会社の送信方式が同一周波数パススルー方式である必要があります。詳細は、ご契約のCATV会社へお問い合わせください。

▶ プリセットしたチャンネルをチャンネルリストから削除する

1 「TOP MENU」➔「1Seg」➔「チャンネルリスト」を選び、[決定]を押す

チャンネルリストが表示されます。

2 削除したいチャンネルを選ぶ

3 メニューを表示して「チャンネル削除」を選び、[決定]を押す

確認画面が表示されます。

4 「はい」を選び、[決定]を押す

選んだチャンネルがチャンネルリストから削除されます。

▶ 一度に複数のプリセットしたチャンネルをチャンネルリストから削除する

手順1のあとにメニューから「選択オン」を選び、削除したいチャンネルに[決定]を押してチェックマークをつけて、手順3に進みます。

お知らせ

- チェックマークのついたチャンネルが削除されます。
- チェックマークをはずすには、もう一度[決定]を押します。
- すべてのチャンネルにチェックマークをつけるには、メニューから「すべて選択」を選びます。
- すべてのチェックマークをはずすには、メニューから「選択オフ」を選びます。
- チェックマークがついているものとついていないものを入れ替えるには、メニューから「選択反転」を選びます。

チャンネルリストからチャンネルを選ぶ

1 「TOP MENU」➔「1Seg」➔「チャンネルリスト」を選び、[決定]を押す

チャンネルリストが表示されます。

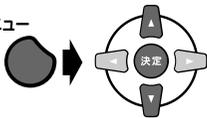
2 チャンネルを選び、[決定]を押す

視聴画面に切り換わります。

お知らせ

- 手順2でメニューから「テレビ画面へ」を選んでもチャンネルを切り換えることができます。
- 放送局や中継局が混在する地域では、複数の放送局が1つのチャンネルで受信される場合があります。その場合、チャンネル番号は「1-1・・・」「1-2・・・」と表示されます。

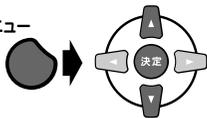
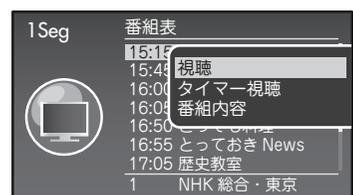
番組表から番組を探す

1 視聴中にメニューを表示して「番組表」を選び、[決定]を押す

番組表が表示されます。

2 チャンネルと番組を選ぶ

[◀]/[▶]：**チャンネルを切り換えます。**
- 数字ボタンでもチャンネルを切り換えることができます。

[▲]/[▼]：**番組を選びます。**

3 メニューを表示して「視聴」を選び、[決定]を押す

視聴画面に切り換わります。
- 選んだ番組が放送中ではないときは、「視聴」を選ぶことができません。

お知らせ

「TOP MENU」➔「1Seg」➔「番組表」でも番組表を表示することができます。

番組の内容を見る

1 番組表を表示する(➜52ページ)

2 チャンネルと番組を選び、[決定]を押す

[◀]/[▶]: **チャンネルを切り換えます。**
- 数字ボタンでもチャンネルを切り換えることができます。

[▲]/[▼]: **番組を選びます。**

1Seg
番組表
15:15 料理教室
15:45 とっておき News
16:00 気象予報
16:05 とびっきり社会
16:50 とっても料理
16:55 とっておき News
17:05 歴史教室
1 NHK 総合・東京

番組の内容が表示されます。
番組表に戻るには[↩]または[決定]を押してください。

お知らせ

視聴中にメニューから「番組内容」を選んでも、番組内容を見ることができます。

■ワンセグテレビの設定を変える

音声を切り換える

1 視聴中に [音声モード] を押す

押すごとに次のように切り換わります。

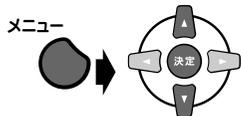
ディスプレイ表示	設定
● MAIN	主音声を選びます。
SUB	副音声を選びます。

●:お買い上げ時の設定

お知らせ

視聴中にメニューから「音声モード」を選んでも、音声を切り換えることができます。

字幕または受信情報を表示する

1 視聴中にメニューを表示して「字幕・情報表示」を選び、[決定]を押す

2 表示したい内容を選び、[決定]を押す

オフ 通常の映像表示です。

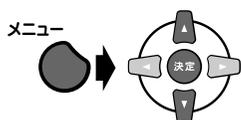
情報表示 番組情報（番組名、チャンネル名）、現在時刻、受信状態（）と音声モード（MAINまたはSUB）を表示します。（➡49ページ）

字幕表示 字幕を表示します。

お知らせ

「字幕・情報表示」の設定が「オフ」または「字幕表示」のとき、視聴中に［決定］を押すと、受信情報を一時的に表示することができます。（➡49ページ）

映像の表示サイズを変更する

1 視聴中にメニューを表示して「表示方法」を選び、[決定]を押す

2 表示サイズを選び、[決定]を押す

ノーマル 通常のサイズで表示します。

ズーム 映像を拡大します。

お知らせ

視聴中に［表示］を押しても、表示サイズを変更できます。

写真を見る

USB機器や本体メモリーにコピーした写真（JPEGファイル）を本機のディスプレイに表示してデジタルフォトフレームとして楽しんだり、壁紙に登録することができます。

- **本体メモリーへのコピーについては58ページをご覧ください。**
- 壁紙の登録については**61**ページをご覧ください。
- USB機器に入っている写真を見るときは**26**、**27**ページもご覧ください。

■写真を再生する

他のソース(音源)を聞きながら写真を見ることができます。

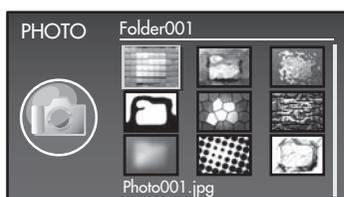
1 写真の入っているUSB機器を本機に接続する（➡**29**ページ）、または写真を本体メモリーにコピーしておく（➡**58**ページ）

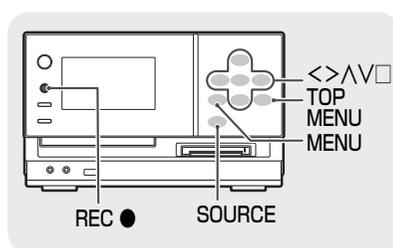
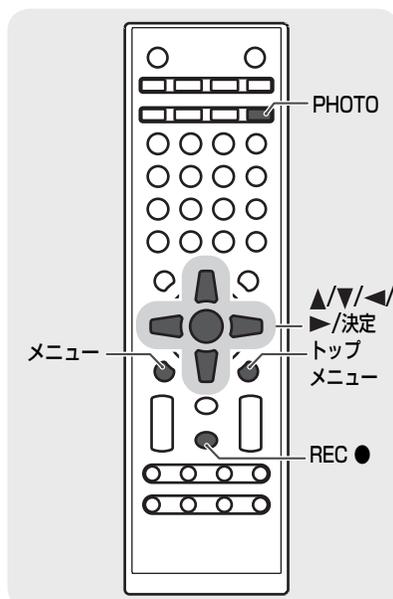
2 ソースを「PHOTO」に切り換える

リモコン：PHOTOを押す

本体：SOURCEをくり返し押して「PHOTO」を選び、□を押す

- メディアの選択画面（「本体メモリー」または「USB」）が表示されたときは、見たい写真が入っているメディアを選び、[決定]を押します

3 フォルダ・写真を選び、[決定]を押す

選んだ写真が表示されます。

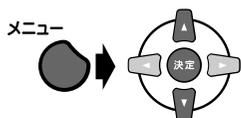
- 他の写真を見るときは、[▲]/[▼]を押します。

お知らせ

- 写真の入っているフォルダまたは写真の一覧を表示しているときに、[表示]を押して一覧の表示形式を変更することができます。[表示]を押すごとに、表示形式が変わります。（ファイル名のみ、ファイル名とサムネイル画像、サムネイル画像のみ）
  - 一覧を表示しているときに、メニューから「ファイル表示形式」で表示したい形式（「ファイル名のみ」、「サムネイルあり」または「サムネイルのみ」）を選んでも、変更できます。
  - 「サムネイルあり」または「サムネイルのみ」に設定しているときは、サムネイル画像のない写真は、サムネイル画像の代わりに縮小された写真が表示されます。写真によっては縮小された写真が表示されないことがあります。

▶ 写真の表示中に他のソース(音源)の操作をする

写真を表示中に[▶/II]/[I◀◀]/[▶▶I]/[■]/数字ボタンで再生中のソース(音源)の操作をすることができます。

▶ 再生中のソース(音源)の再生画面に戻る

1 写真の表示中にメニューを表示して「再生画面」を選び、[決定]を押す

再生中のソース(音源)の再生画面を表示します。

写真の再生方法や表示方法を変える

スライドショー再生や写真の回転、表示サイズの変更、ファイル情報の表示をすることができます。

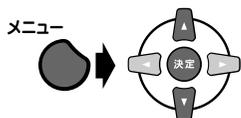
1 ソースを「PHOTO」に切り換える(➡55ページ)

- メディアの選択画面(「本体メモリー」または「USB」)が表示されたときは、見たい写真が入っているメディアを選び、[決定]を押します。

2 フォルダ・写真を選び[決定]を押す

選んだ写真が表示されます。

- 他の写真を見るときは、[▲]/[▼]を押します。

3 メニューを表示して再生方法を選び、[決定]を押す

さらに設定する項目があるときは[▲]/[▼]で選び、[決定]を押します。

- 設定できる項目については57ページをご覧ください。

▶ スライドショー再生をする

56ページの手順3で「スライドショー開始」を選び、[決定]を押します。
再生中のフォルダの中の写真を約5秒ずつ順番に表示します。

お知らせ

- スライドショー再生中の写真の切り換えの効果を設定することができます。メニューから「視覚効果」を選んで[決定]を押して、効果(「なし」、「ワイプ」または「スライド」)を選んで[決定]を押します。
- スライドショーをやめるには、メニューから「スライドショー停止」を選び、[決定]を押します。

▶ 写真の表示方法を切り換える

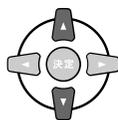
56ページの手順3で「表示方法」を選んで[決定]を押して、表示サイズを選び、[決定]を押します。

ノーマル　画面のサイズに合わせて写真全体を表示します。
ズーム　画面の黒帯がなくなるように写真を拡大します。

お知らせ

[表示]を押しても、表示サイズを変更できます。

▶ 写真を回転する

1 [▲]/[▼]を2秒押し続ける

ボタンを押すごとに、写真の向きが変わります。

お知らせ

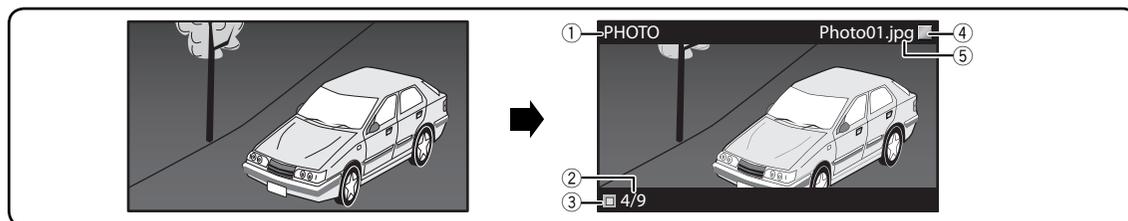
56ページの手順3で「回転」➔「左90度」または「右90度」を選んでも、写真を回転させることができます。

▶ 写真のファイル情報を表示する

56ページの手順3で「情報表示」を選んで[決定]を押して、情報の表示/非表示を選び、[決定]を押します。

オフ　写真のみを表示します。
オン　ファイル名、ファイル番号、フォルダの中の総ファイル数を表示します。

▶ 画面表示

[決定]を押すとファイル情報を一時的に表示します。

①ソース表示
②ファイル番号/ファイル総数
③スライドショーの動作アイコン(►:再生、■:停止)
④再生中の他のソース(音源)の動作アイコン
⑤ファイル名

■写真をコピーする

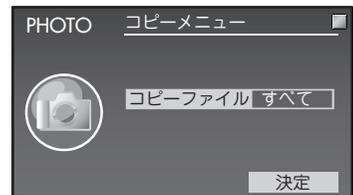
JPEGファイルを、USB機器から本体メモリー(512 MB)に、または本体メモリーからUSB機器にコピーすることができます。

1 コピーしたい写真を表示する(➡55ページ)

2 REC ●を押す

コピーメニューが表示されます。

3 コピーの方法を選び、[決定]を押す

1ファイル	選んだ写真だけをコピーします。
選択	複数の写真を選んでコピーします。
すべて	選んだ写真を含むフォルダ内の写真をすべてコピーします。

4 [▼]を押して画面の「決定」を選び、[決定]を押す

コピーが始まります。
コピーが終わると、「コピーが終了しました」と表示されます。

▼手順3で「選択」を選んだときは、コピーする写真の選択画面が表示されます。

① **[▲]/[▼]でコピーする写真を選び、[決定]を押して「選択した項目」に追加します。**

② **写真の選択が終わったら[▶]で画面の「決定」を選び、[決定]を押してコピーを開始します。**

- 写真の選択を解除するときは「選択した項目」からコピーをやめる写真を選び、[決定]を押します。
- 選択したすべての写真のコピーをやめるには、「すべてクリア」を選び、[決定]を押します。

お知らせ

- 再生画面でメニューから「コピー」を選んでもコピーメニューを表示することができます。
- 手順4で[REC ●]を押してもコピーを開始することができます。
- USB機器または本体メモリーの空き容量については124ページをご覧ください。

▶ フォルダごと写真をコピーする

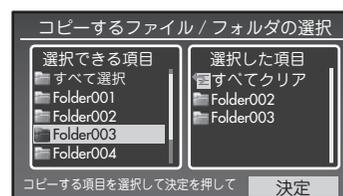
1 コピーしたいフォルダの一覧を表示する(➡55ページ)

2 を押す

コピーするフォルダの選択画面が表示されます。

3 コピーするフォルダを選ぶ

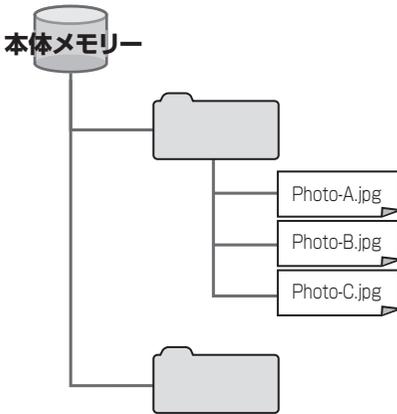
① [▲]/[▼]でコピーするフォルダを選び、[決定]を押して「選択した項目」に追加します。
② フォルダの選択が終わったら[▶]で画面の「決定」を選び、[決定]を押してコピーを開始します。

- 写真の選択を解除するときは「選択した項目」からコピーをやめるフォルダを選び、[決定]を押します。
- 選択したすべてのフォルダのコピーをやめるには、「すべてクリア」を選び、[決定]を押します。

お知らせ

再生画面でメニューから「コピー」を選んでもコピーメニューを表示することができます。

コピーされた写真の管理について

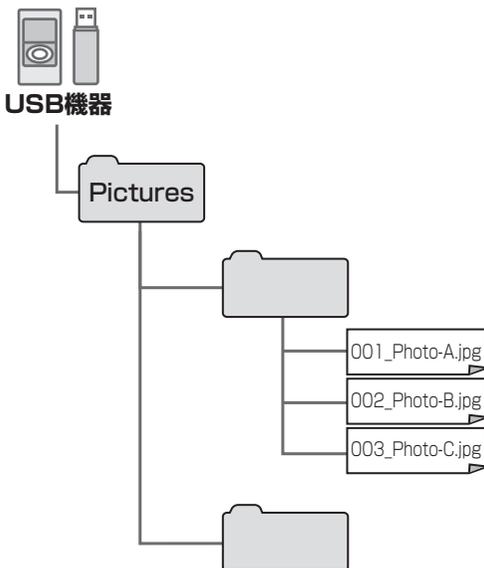
▶ USB機器から本体メモリーにコピーしたとき

自動的にフォルダが作られ、その中に写真が保存されます。

・**フォルダ名について:**
- 日時が設定されているとき:
  写真をコピーした日付と時刻がフォルダ名としてつけられます。
  例:2009年7月1日午後3時30分にコピーしたときは、「フォト_0907011530」というフォルダが作られます。
- 日時が設定されていないとき:
  「フォト_日時なし」というフォルダが作られます。

・**ファイル名について:**
コピー元のファイル名がそのまま反映されます。
- コピー元のファイル名が「001_xxx.jpg」という形の場合、コピーされたファイルは「xxx.jpg」という形になります。

・**本体メモリーのデータ数の制限について:**
- 最大再生対応ファイル数:5000
- 1フォルダあたりの最大ファイル数:999
- ファイルとフォルダの最大総数:20000
- 最大フォルダ階層数:6

▶ 本体メモリーからUSB機器にコピーしたとき

「Pictures」フォルダの中に自動的にフォルダが作られ、その中に写真が保存されます。

・**フォルダ名について:**
- 日時が設定されているとき:
  写真をコピーした日付と時刻がフォルダ名としてつけられます。
  例:2009年7月1日午後3時30分にコピーしたときは、「フォト_0907011530」というフォルダが作られます。
- 日時が設定されていないとき:
  「フォト_日時なし」というフォルダが作られます。

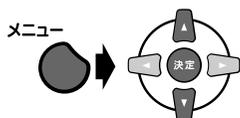
・**ファイル名について:**
「001_ファイル名.jpg」、「002_ファイル名.jpg」・・・と名前がつけられます。

・**USB機器のデータ数の制限について:**
- 最大再生対応ファイル数:5000
- 1フォルダあたりの最大ファイル数:999
- ファイルとフォルダの最大総数:20000
- 最大フォルダ階層数:7

■写真を壁紙や自動切替表示用として登録する

写真を壁紙に設定する

1 壁紙に設定したい写真を表示する(➡55ページ)

2 メニューを表示して「壁紙登録」を選び、[決定]を押す

3 配色を選び「決定」を選んで、[決定]を押す

[▲]/[▼]: 配色を選びます。
[◀]/[▶]: 「決定」を選びます。

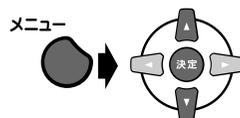
お知らせ

他の壁紙に変更したいときは、120ページをご覧ください。

写真を自動切替表示用の写真として登録する(フォト登録)

お好みの写真を、一定の時間操作をしないときに表示される写真として登録することができます。

1 登録したい写真を表示する(➡55ページ)

2 メニューを表示して「フォト登録」を選び、[決定]を押す

「登録しました」と表示されます。

お知らせ

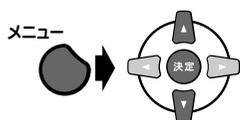
自動切替設定の変更は119ページをご覧ください。

■お気に入りを使う

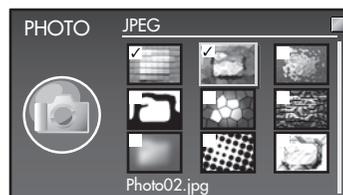
お気に入りに登録する

お気に入りに登録した写真は、本体メモリーの「お気に入りフォト」フォルダにコピーされます。

1 登録したい写真を表示する（➡55ページ）

2 メニューを表示して「お気に入り登録」を選び、[決定]を押す

「お気に入りに登録しました」と表示されたあと、再生画面に戻ります。

▶ 一度に複数の写真をお気に入りに登録する

「TOP MENU」➔「PHOTO」➔「本体メモリー」または「USB」からお気に入りに登録したい写真を含むフォルダを選び、[決定]を押します。
メニューから「選択オン」を選び、[決定]を押します。
選択画面でお気に入りに登録したい写真に[決定]を押してチェックマークをつけて、手順2に進みます。

お知らせ

- チェックマークのついた写真がお気に入りに登録されます。
- チェックマークをはずすには、もう一度[決定]を押します。
- 選んだフォルダ内のすべての写真にチェックマークをつけるには、メニューから「すべて選択」を選びます。
- すべてのチェックマークをはずすには、メニューから「選択オフ」を選びます。
- チェックマークがついているものとついていないものを入れ替えるには、メニューから「選択反転」を選びます。
- 写真をお気に入りに登録すると、一定の時間本機を操作しないときに登録した写真が表示されるように設定できます。（➡119ページ）

お気に入りの写真を見る

1 ソースを「PHOTO」に切り換える（➡55ページ）

- メディアの選択画面（「本体メモリー」または「USB」）が表示されたときは、「本体メモリー」を選び、[決定]を押します。

2 「お気に入りフォト」を選び、[決定]を押す

お気に入りに登録した写真の一覧が表示されます。

3 見たい写真を選び、[決定]を押す

選んだ写真が表示されます。

- 他の写真を見るときは、[▲]/[▼]を押します。

準備
基本操作
テレビ
写真
録音
再生（応用）
編集
タイマー
設定
その他

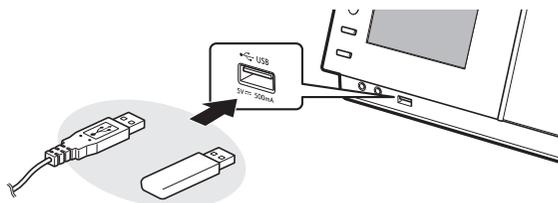
録音する

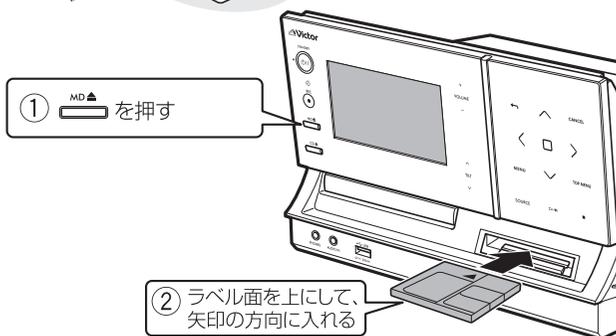
USB機器またはMDに録音することができます。

■録音の準備をする

録音先の準備をする

▶ USB機器に録音するとき

USB機器を本機のUSB端子に接続します。

▶ MDに録音するとき

録音できるMDを本体に入れます。

録音できるUSB機器について

▶ デジタルオーディオプレーヤー

MSC（USBマスストレージ規格）またはMTPに対応し、Microsoft® Windows Media® Playerで音楽ファイルを転送できるプレーヤー

- **当社製デジタルオーディオプレーヤー 対応機種**

種類	対応USB形式
XA-Vシリーズ、XA-C210/C110/C51、XA-C109/C59/XA-Mシリーズ	MTP/MSC
XA-S/XA-F/XA-E/XA-MPシリーズ	MSC

お知らせ

- USB機器にはさまざまな種類と仕様のものがあるため、録音時の動作を完全には保証することができません。
- 録音中はUSBケーブルまたは接続機器を抜かないでください。

▶ USBフラッシュメモリー

MSC（USBマスストレージ規格）に対応している機器

ご注意

プロテクト機能付きの場合は、解除してから接続してください。

USB機器への録音について

録音品質(HQ、SP、LP)は混在させて録音できます。

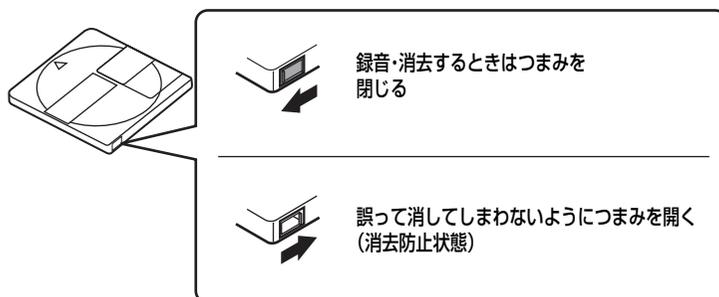
▶ USB機器に録音したときの転送レート

録音品質 / 圧縮方式	HQ	SP	LP
MP3	192kbps	128kbps	64kbps
WMA	128kbps	96kbps	64kbps

MDへの録音について

- 録音品質(SP、LP2、LP4)は、混在させて録音できます。
- 本機は、通常の2倍の時間を録音できるモノラル録音には対応していません。ただし、モノラルソース(音源)を各録音品質で録音することはできます。
- MDには、最大254曲録音できます。それ以上録音しようとすると、「トラック数が制限を超えました」と表示されます。
- 録音するときは、本機がMDの未録部分を探して録音します。カセットテープのように上書きで録音することはできません。

▶ 大切な録音を消さないために

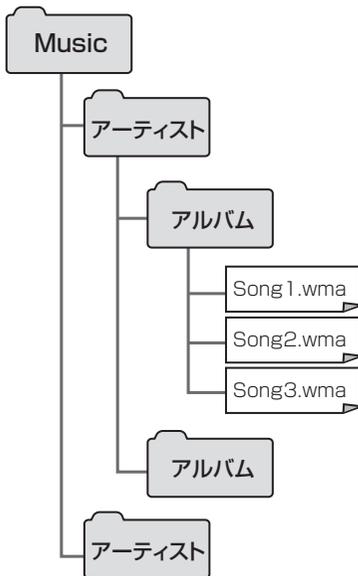
録音用MDには、大切な録音を誤って消さないための、誤消去防止つまみがついています。

ご注意

- MDの録音・編集中は、本機に振動を与えないでください。特に、「TOC書き込み中」の表示中は注意してください。MDが再生できなくなるおそれがあります。
- LP2またはLP4で録音された曲は、MDLPに対応していない機器では再生できません。曲タイトルの始めに「LP:」と表示され、無音状態になります。
  MDLPに対応した機器では「LP:」は表示されません。(「LP:」をつけるかどうか設定することができます。➡69、70、74、76ページ)

■録音された曲の管理について

USB機器に録音した曲

▶ フォルダ構造とフォルダの名前について

以下のような構造のフォルダがUSB機器の中に自動的に作られます。
アーティストフォルダ、アルバムフォルダは録音元ソースの情報に基づいて名前が付けられます。

・CDから録音したときのフォルダ名：

	グループ再生のとき	ノーマル再生のとき
アーティスト	CD	CD
アルバム	グループ名	Album001、Album002…

・MDから録音したときのフォルダ名：

	曲情報があるとき	曲情報がないとき
アーティスト	ディスクタイトル	MD
アルバム	グループ名	Album001、Album002…

・ラジオから録音したときのフォルダ名：

	プリセット名があるとき	プリセット名がないとき
アーティスト	バンド（FMまたはAM）	バンド（FMまたはAM）
アルバム	プリセット名_日付*	バンド_周波数_日付*

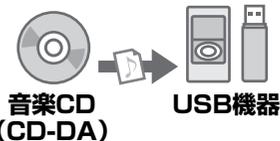
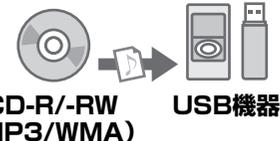
* 日付・時刻の設定がされていないときは、表示されません。

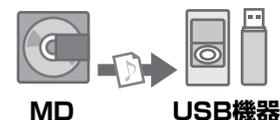
・外部機器から録音したときのフォルダ名：

アーティスト	Audio_IN
アルバム	Audio_IN001、Audio_IN002…

お知らせ

USB機器に録音した曲を聞くときは、「録音元のソース（音源）から曲を探す」（➡34ページ）をご覧ください。

▶ ファイルの名前について

001_Track001.wma、002_Track002.wma…

- 曲情報なし:001_ファイル名.wma、002_ファイル名.wma…
- 曲情報あり:001_曲名.wma、002_曲名.wma…

- 曲タイトルなし:001_Track001.wma、002_Track002.wma…
- 曲タイトルあり:001_タイトル名.wma、002_タイトル名.wma…

- プリセット名なし:001_バンド_周波数_時刻(曜日)*_001.wma…
- プリセット名あり:001_プリセット名_時刻(曜日)*_001.wma…

* 日付·時刻の設定がされていないときは、表示されません。

001_Audio_IN001.wma、002_Audio_IN002.wma…

お知らせ

- 録音の圧縮方式をMP3にしているときは、「.wma」が「.mp3」となります。
- 「ファイル名」と記載しているところは、録音元と同じファイル名になります。
- USB機器に録音した曲を聞くときは、「録音元のソース(音源)から曲を探す」(➡34ページ)をご覧ください。

MDに録音した曲

タイトル:

タイトルのない曲:Track001、Track002など

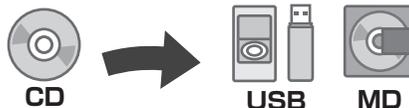
タイトルのある曲:元のタイトルがつきます。ただし、表示できるのは半角文字のみです。

(「入力できる文字」➡92ページ)

- 全角文字や表示できない文字、記号は、スペースに変換されて表示されます。すべて全角文字のタイトルは「Track001」、「Track002」…になります。

グループ:

「MD録音」設定の「グループ作成」が「オン」のときは、一度に録音された曲は同じグループにまとめられます。「オフ」のときは、グループは作成されません。

■CDから録音する

1 録音先のUSB機器またはMDを準備する(➡64ページ)

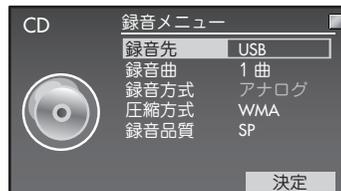
2 ソース(音源)を「CD」に切り換えて、停止する

- 1曲だけ録音したい場合は、録音したい曲を選んでください。(➡23ページ)

3 を押す

録音メニューが表示されます。

4 録音の設定をする

① 設定したい項目を選び、[決定]を押す
② 設定を選び、[決定]を押す

▼USB機器に録音する場合

■録音先:「USB」を選びます。

■録音曲

1曲: 選んだ1曲だけを録音します。
選曲: 複数の曲を選んで録音します。
全曲: CD内の曲をすべて録音します。

■録音方式

高速: 高速でデジタル録音します。(最大約4倍速)
標準: 通常の速さでデジタル録音します。
アナログ: 通常の速さでアナログ録音します。

■圧縮方式

MP3: MP3で録音します。
WMA: WMAで録音します。

■録音品質

HQ: 高音質で録音します。SP、LPに比べて録音できる曲数は少なくなります。
SP: 標準的な音質で録音します。
LP: 録音できる曲数が多くなりますが、音質は劣ります。

お知らせ

- 音楽CD以外を録音するときは、「アナログ」以外を選ぶことができません。
- 「標準」または「アナログ」を選んだときは、曲を聞きながら録音できます。

▼MDに録音する場合

■録音先:「MD」を選びます。

■録音曲

1曲:	選んだ1曲だけを録音します。
選曲:	複数の曲を選んで録音します。
全曲:	CD内の曲をすべて録音します。

■録音方式

高速:	高速でデジタル録音します。(最大約4倍速)
標準:	通常の速さでデジタル録音します。
アナログ:	通常の速さでアナログ録音します。

■録音品質

SP:	標準のステレオ録音です。(MD80で最大80分の録音が可能)
LP4:	4倍長時間のステレオ録音です。(MD80で最大320分の録音が可能)
LP2:	2倍長時間のステレオ録音です。(MD80で最大160分の録音が可能)

■グループ作成

オフ:	録音した曲はグループにはまとめられません。
オン:	一度に録音した曲は同じグループにまとめられます。

■LP:の付加

オフ:	ステレオ長時間録音をするとき、曲タイトルの頭に「LP:」をつけません。
オン:	ステレオ長時間録音をするとき、曲タイトルの頭に「LP:」をつけます。

お知らせ

- 「標準」または「アナログ」を選んだときは、曲を聞きながら録音できます。
- CDからMDに録音する場合は、74分以内に同じ曲を高速録音することはできません。(➡133ページ)

お知らせ

- タイトルの頭に「LP:」をつけると、LP2またはLP4で録音された曲を判別しやすくなります。ただし、入力できるタイトルの文字数が少なくなります。(「MDに入力できる文字数について」➡92ページ)

5 画面の「決定」を選び、[決定]を押す

録音が始まります。

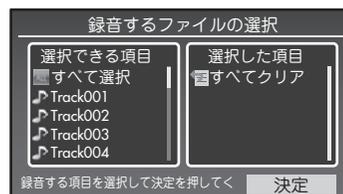
- [REC ●]を押して録音を開始することもできます。

▼手順4の「録音曲」で「選曲」を選んだときは、録音する曲の選択画面が表示されます。

① [▲]/[▼]で録音する曲を選び[決定]を押して「選択した項目」に追加します。

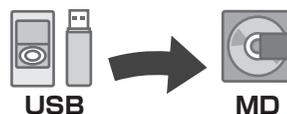
② 曲の選択が終わったら[▶]で画面の「決定」を選び、[決定]を押して録音を始めます。

6 「録音が終了しました」と表示されたら、[決定]を押す

ご注意

ランダム再生中は、選択している1曲のみ録音することができます。

お知らせ

- 再生画面でメニューから「録音設定」を選んでも録音の設定をすることができます。
- 録音設定を途中でやめるには、[キャンセル]を押します。
- 録音を途中でやめるには、[停止 ■]を押します。

■USB機器からMDに録音する

1 録音先のMDを準備する(➡64ページ)

(➡64ページ)

2 ソース(音源)を「USB」に切り換えて、停止する

• 1曲だけ録音したい場合は、録音したい曲を選んでください。(➡30ページ)

3 REC を押す

録音メニューが表示されます。

4 録音の設定をする

① 設定したい項目を選び、[決定]を押す
② 設定を選び、[決定]を押す

■録音曲

1曲:	選んだ1曲だけを録音します。
選曲:	複数の曲を選んで録音します。
全曲:	選んだ曲と同じフォルダの曲をすべて録音します。

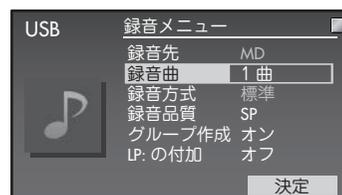
■録音品質

SP:	標準のステレオ録音です。(MD80で最大80分の録音が可能)
LP4:	4倍長時間のステレオ録音です。(MD80で最大320分の録音が可能)
LP2:	2倍長時間のステレオ録音です。(MD80で最大160分の録音が可能)

■グループ作成

オフ:	録音した曲はグループにはまとめられません。
オン:	一度に録音した曲は、同じグループにまとめられます。

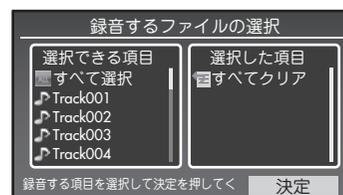
■LP:の付加

オフ:	ステレオ長時間録音をするとき、曲タイトルの頭に「LP:」をつけません。
オン:	ステレオ長時間録音をするとき、曲タイトルの頭に「LP:」をつけます。

5 画面の「決定」を選び、[決定]を押す

録音が始まります。
- [REC ●]を押しても録音を開始することができます。

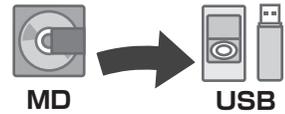
▼手順5の「録音曲」で「選曲」を選んだときは、録音する曲の選択画面が表示されます。

① [▲]/[▼]で録音する曲を選び、[決定]を押して「選択した項目」に追加します。

② 曲の選択が終わったら[▶]で画面の「決定」を選び、[決定]を押して録音を始めます。

6 「録音が終了しました」と表示されたら、[決定]を押す

ご注意
- 録音が停止して「録音が終了しました」と表示されるまでは、接続機器を絶対に抜かないでください。
- ランダム再生中は、選択している1曲のみ録音することができます。

お知らせ
- 再生画面でメニューから「MD録音設定」を選んでも録音の設定をすることができます。
- 録音設定を途中でやめるには、[キャンセル]を押します。
- 録音を途中でやめるには、[停止 ■]を押します。

■MDからUSB機器に録音する

1 録音先のUSB機器を準備する（➡64ページ）

2 ソース（音源）を「MD」にして、停止する

- 1曲だけ録音したい場合は、録音したい曲を選んでください。（➡41ページ）

3

を押す

録音メニューが表示されます。

4 録音の設定をする

① 設定したい項目を選び、[決定] を押す
② 設定を選び、[決定] を押す

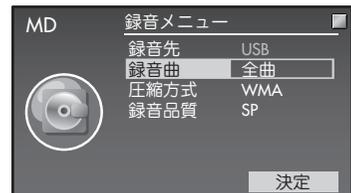
■録音曲

1曲: 選択した1曲だけを録音します。
選曲: 複数の曲を選択して録音します。
全曲: MD内の曲をすべて録音します。

■圧縮方式

MP3: MP3で録音します。
WMA: WMAで録音します。

■録音品質

HQ: 高音質で録音します。SP、LPに比べて録音できる曲数は少なくなります。
SP: 標準的な音質で録音します。
LP: 録音できる曲数が多くなりますが、音質は劣ります。

5 画面の「決定」を選び、[決定]を押す

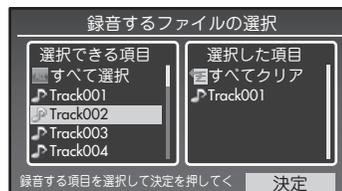
録音が始まります。
- [REC ●]を押しても録音を開始することができます。

▼手順4の「録音曲」で「選曲」を選んだときは、録音する曲の選択画面が表示されます。

① [▲]/[▼]で録音する曲を選び[決定]を押して「選択した項目」に追加します。

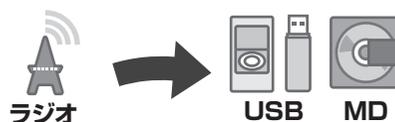
② 曲の選択が終わったら[▶]で画面の「決定」を選び、[決定]を押して録音を始めます。

6 「録音が終了しました」と表示されたら、[決定]を押す

ご注意

ランダム再生中は、選択している1曲のみ録音することができます。

お知らせ

- 再生画面でメニューから「録音設定」➔「USB録音」を選んでも録音の設定をすることができます。
- 録音設定を途中でやめるには、[キャンセル]を押します。
- 録音を途中でやめるには、[停止 ■]を押します。

■ラジオを録音する

ラジオ放送をUSB機器またはMDに録音します。

1 録音先のUSB機器またはMDを準備する（➡64ページ）

2 ソース（音源）を「FM」または「AM」にする

FM/AM

3 録音したい放送局に周波数をあわせる（➡42ページ）

4 REC ● を押す

録音メニューが表示されます。

次のページにつづく

5 録音の設定をする

① 設定したい項目を選び、[決定] を押す
② 設定を選び、[決定] を押す

▼USB機器に録音する場合

■録音先:「USB」を選びます。

■圧縮方式

MP3:　MP3で録音します。
WMA:　WMAで録音します。

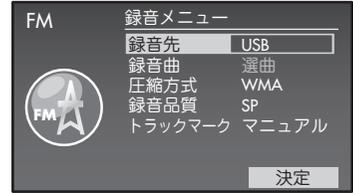
■録音品質

HQ:　高音質で録音します。SP、LPに比べて録音できる曲数は少なくなります。
SP:　標準的な音質で録音します。
LP:　録音できる曲数が多くなりますが、音質は劣ります。

■トラックマーク

マニュアル:　手動でトラックマークをつけます。(➡下記)
タイム:　5分間隔でトラックマークをつけます。
オート:　2秒以上の無音が続いたときに、自動でトラックマークをつけます。

▼ MDに録音する場合

■録音先:「MD」を選びます。

■録音品質

SP:　標準のステレオ録音です。(MD80で最大80分の録音可能)
LP4:　4倍長時間のステレオ録音です。(MD80で最大320分の録音可能)
LP2:　2倍長時間のステレオ録音です。(MD80で最大160分の録音可能)

■グループ作成

オフ:　録音した曲はグループにはまとめられません。
オン:　一度に録音した曲は同じグループにまとめられます。

■トラックマーク

マニュアル:　手動でトラックマークをつけます。(➡下記)
タイム:　5分間隔でトラックマークをつけます。
オート:　2秒以上の無音が続いたときに、自動でトラックマークをつけます。

■LP:の付加

オフ:　ステレオ長時間録音をするとき、曲タイトルの頭に「LP:」をつけません。
オン:　ステレオ長時間録音をするとき、曲タイトルの頭に「LP:」をつけます。

6 画面の「決定」を選び、[決定] を押す

録音が始まります。

- [REC ●]を押しても録音を開始することができます。

- トラックマークの設定を「マニュアル」にしているときは、トラックマークをつけたいところで [REC ●] を押してください。「トラックマーク作成中です」と表示されます。

7 録音を止めたいところで停止を押す

録音が停止します。

「録音が終了しました」と表示されたら[決定]を押してください。

お知らせ

- 再生画面でメニューから「録音設定」を選んでも録音の設定をすることができます。
  – あらかじめメニューから「トラックマーク」を選んで、トラックマークの付けかたを設定しておいてください。
- 録音設定を途中でやめるには、[キャンセル]を押します。
- トラックマークをつけると、そこから別の曲として録音されます。内容に合わせてトラックマークをつけておくと、再生するときに便利です。
- 受信状態によっては、「トラックマーク」の「オート」が働かないことがあります。

■外部機器から録音する

カセットデッキや携帯電話などをAUDIO IN端子に接続して、USB機器またはMDに録音します。
- 入力レベルを調節しておいてください。(➡47ページ)

1 録音先のUSB機器またはMDを準備する(➡64ページ)

2 録音元の機器を接続する(➡46ページ)

3 ソース(音源)を「AUDIO IN」にする

4 RECを押す

録音メニューが表示されます。

次のページにつづく

5 録音の設定をする

① 設定したい項目を選び、[決定]を押す
② 設定を選び、[決定]を押す

▼USB機器に録音する場合

■録音先:「USB」を選びます。

■圧縮方式

MP3:　MP3で録音します。
WMA:　WMAで録音します。

■録音品質

HQ:　高音質で録音します。SP、LPに比べて録音できる曲数は少なくなります。
SP:　標準的な音質で録音します。
LP:　録音できる曲数が多くなりますが音質は劣ります。

■トラックマーク

マニュアル:　手動でトラックマークをつけます。(➡下記)
タイム:　5分間隔でトラックマークをつけます。
オート:　2秒以上の無音が続いたときに、自動でトラックマークをつけます。

▼MDに録音する場合

■録音先:「MD」を選びます。

■録音品質

SP:　標準のステレオ録音です。(MD80で最大80分の録音が可能)
LP4:　4倍長時間のステレオ録音です。(MD80で最大320分の録音が可能)
LP2:　2倍長時間のステレオ録音です。(MD80で最大160分の録音が可能)

■グループ作成

オフ:　録音した曲はグループにはまとめられません。
オン:　一度に録音した曲は同じグループにまとめられます。

■トラックマーク

マニュアル:　手動でトラックマークをつけます。(➡下記)
タイム:　5分間隔でトラックマークをつけます。
オート:　2秒以上の無音が続いたときに、自動でトラックマークをつけます。

■LP:の付加

オフ:　ステレオ長時間録音をするとき、曲タイトルの頭に「LP:」をつけません。
オン:　ステレオ長時間録音をするとき、曲タイトルの頭に「LP:」をつけます。

6 画面の「決定」を選んで[決定]を押す

録音待機状態になります。
- [REC ●]を押しても録音待機状態にすることができます。

7 外部機器を再生する

音声が入力されると、録音が自動的に始まります。(サウンドシンクロ録音)
- トラックマークの設定を「マニュアル」にしているときは、トラックマークをつけたいところで[REC ●]を押してください。

8 音声の再生が終わったら、外部機器の再生を停止し、本機の[停止 ■]を押す

録音が停止します。

「録音が終了しました」と表示されたら［決定］を押してください。

ご注意

- 接続機器の音声が小さいと録音が開始できないことがあります。音量を確認し、入力レベルを調整（➡47ページ）してから録音してください。
- 接続機器の音声が小さくて自動で録音が始まらないときは、［REC ●］を押すと強制的に録音を開始することができます。（USB機器に録音中は、無音が30秒以上続いた場合、または音声が小さくて本機が音声を検出できない場合に、録音が自動停止します。MDに録音中は、録音は自動停止しません。録音が終わったら［停止 ■］を押してください。）
- 自動で録音が始まった場合は、30秒以上の無音が続くと録音が自動停止します。

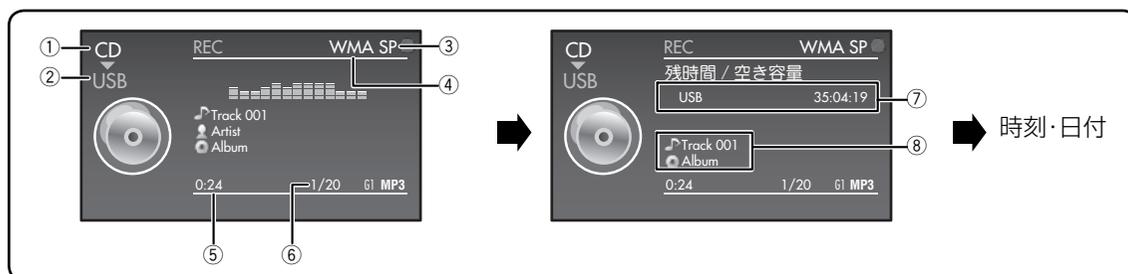
お知らせ

- 本機にマイクやレコードプレーヤーを直接接続することはできません。アンプ（市販品）をAUDIO IN 端子へ接続してから、それぞれの機器を接続してください。
  – マイク：マイクロフォンアンプまたはオーディオミキサー
  – レコードプレーヤー：フォノイコライザーアンプ
- 再生画面でメニューから「録音設定」を選んでも録音の設定をすることができます。
  – あらかじめメニューから「トラックマーク」を選んで、トラックマークの付けかたを設定しておいてください。
- 録音設定を途中でやめるには、［キャンセル］を押します。
- トラックマークをつけると、そこから別の曲として録音されます。内容に合わせてトラックマークをつけておくと、再生するときに便利です。

■録音画面について

▶ 画面表示

または

［表示］または［決定］を押すと、時刻表示やUSB機器/MDの録音残り時間または空き容量などに表示を切り換えることができます。

①録音元ソース（音源）
②録音先ソース（音源）
③録音品質
④録音圧縮方式（録音先が「USB」のときのみ）
⑤録音経過時間
⑥トラック番号/トラック総数
⑦録音先の録音残り時間または空き容量*
⑧録音先がUSB機器のとき：タイトル名/アルバム名
録音先がMDのとき：グループ番号/トラック番号

* 録音先の空き容量は、そのときの録音に使われる録音品質に応じて異なります。

■音質を調節する

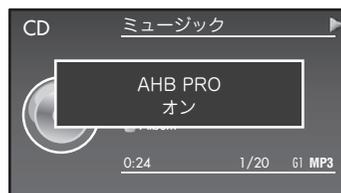
重低音を調節する(AHB PRO)

AHB PRO(アクティブハイパーバスプロ)をオンにすると、メリハリの効いた重低音が楽しめます。

1 AHB PRO を押す

押すごとに次のように切り換わります。

表示	設定
AHB PRO　オフ	通常の再生です。
● AHB PRO　オン	重低音が強調されます。

●:お買い上げ時の設定

お知らせ

- AHB PROは録音音声に影響しません。
- [設定]を押して「サウンド」➔「AHB PRO」からも設定できます。

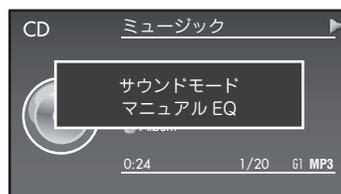
音に効果を持たせる(サウンドモード)

▶ 音楽に合わせてモードを選ぶ

1 サウンドモード を押す

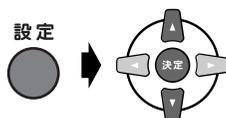
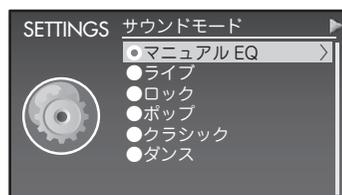
押すごとに次のように切り換わります。

表示	設定
マニュアルEQ	お好みで設定したサウンドでお楽しみいただけます。(➔79ページ)
●ライブ	臨場感あふれる音を聞きたいときに
ロック	躍動感のある音を楽しみたいときに
ポップ	元気な音楽を楽しみたいときに
クラシック	落ち着いた雰囲気で楽しみたいときに
ダンス	軽快な音楽を楽しみたいときに

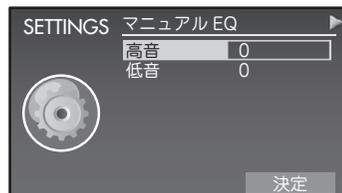
●:お買い上げ時の設定

お知らせ

- サウンドモードは録音音声に影響しません。
- [設定]を押して「サウンド」➔「サウンドモード」からもサウンドモードを設定できます。

▶ イコライザーをカスタマイズする

1 **[設定]を押して「サウンド」➔「サウンドモード」➔「マニュアルEQ」を選び、[決定]を押す**

イコライザーの設定画面が表示されます。

2 **イコライザーの設定をする**

① **設定したい項目を選び、[決定]を押す**
② **設定を選び、[決定]を押す**

■**高音**：－5から+5の範囲で高音レベルの設定をします。
■**低音**：－5から+5の範囲で低音レベルの設定をします。

3 **「決定」を選び、[決定]を押す**

サウンドモード選択画面が表示されます。

お知らせ

イコライザーの設定は録音音声に影響しません。

■リピート再生する

CD MD USB
(音楽ファイルのみ)

曲をくり返し再生します。

1 停止中または再生中に(リピート)を押す

押すごとに、次のように切り換わります。

表示	設定	ディスプレイ表示
リピートモード オフ	リピート再生を解除します。	表示なし
リピートモード 1曲	1曲だけをくり返し再生します。	
リピートモード すべて	• 現在選択中のアーティスト/アルバム/ジャンルなどに含まれるすべての曲をくり返し再生します。 • CDの全曲をくり返し再生します。 • MDの全曲をくり返し再生します。	
リピートモード A-B	設定した再生区間をくり返し再生します。(USB機器のみ)	

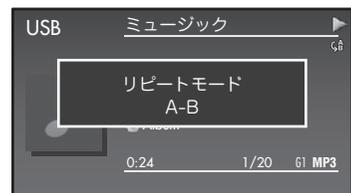
お知らせ

- iPodのリピート再生については**25**ページをご覧ください。
- USB機器のビデオファイルのリピート再生については**36**ページをご覧ください。
- メニューの「リピートモード」からもリピート再生を設定できます。
- 次の操作をすると、リピート再生は解除されます。
  - CDまたはMDを取り出す
  - USB機器を取りはずす
  - 電源を切る

▶ A-Bリピートの再生区間を設定する

USB
(音楽ファイルのみ)

1 A-Bリピートしたい曲を再生する

2 (リピート)をくり返し押して、「リピートモード A-B」を選び、[決定]を押す

3 A-Bリピートを開始したい場所で[決定]を押す

 表示が点灯し、開始点Aが設定されます。

4 A-Bリピートを終了したい場所で[決定]を押す

表示に変わり、終了点Bが設定され、設定した区間がくり返し再生されます。

▶ A-Bリピート区間を変更する

A-Bリピート中に[決定]を押して表示を点灯させ、手順3に進みます。

▶ A-Bリピートを解除する

[リピート]をくり返し押して、「リピートモード オフ」を選びます。

お知らせ

- 曲をまたいでA-Bリピートを設定することはできません。
- ソース(音源)がUSBで、本機とUSB機器をMTP接続しているときは、A-Bリピートは設定できません。本機とUSB機器の接続モードをMSCにすると、設定できます。(「本機のUSBモードを変更する」➡28ページ)
- A-Bリピート再生中に[⏮][⏭]で曲をスキップすると、A-Bリピートが解除されます。
- 開始点Aと終了点Bは、2秒以上あけてください。

■ランダム再生する

CD
MD
USB
(音楽ファイルのみ)

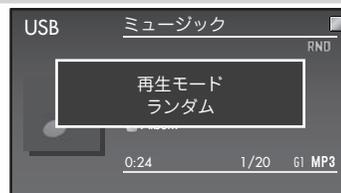
ランダム(無作為)な順序で再生することができます。

1 ランダム再生したいソース(音源)に切り換えて、停止する

2 [再生/FMモード]をくり返し押して、「再生モード ランダム」を選ぶ

RND表示が点灯します。

3 ソース(音源)を再生する

CD ▶/II　USB ▶/II　MD ▶/II

次のページにつづく

▶ ランダム再生を解除する

停止中に[再生/FMモード]をくり返し押して、「再生モード ノーマル」を選びます。(RND 表示が消灯します。)

- 電源を切ったとき、CD/MDを取り出したとき、USB機器を取りはずしたときも、解除されます。

お知らせ

- iPodのランダム再生(シャッフル)については25ページをご覧ください。
- ランダム再生中は、再生画面のトラック番号表示部に現在再生中の曲がランダム再生の何番目かを表示します。(CD、MDの場合は再生中の曲の曲番号を表示します。)
- メニューから「再生モード」➔「ランダム」を選んでも、ランダム再生を設定できます。

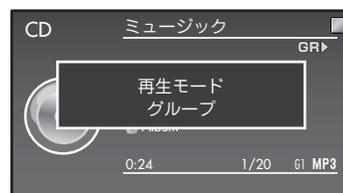
■グループ単位で再生する

CD
MD

CDまたはMDのお好みのグループだけを再生できます。

1 グループ再生したいソース(音源)に切り換えて、停止する

2 再生/FMモード をくり返し押して、「再生モード グループ」を選ぶ

GR▶表示が点灯します。

3 グループスキップ ⏮ ⏭ をくり返し押して、再生したいグループを選ぶ

4 ソース(音源)を再生する

CD ▶/II　MD ▶/II

▶ グループ再生を解除する

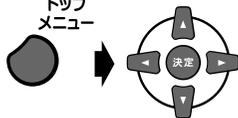
停止中に[再生/FMモード]をくり返し押して、「再生モード ノーマル」を選びます。(GR▶表示が消灯します。)

- 電源を切ったとき、CD/MDを取り出したときも、解除されます。

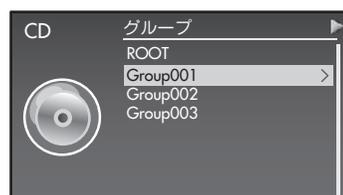
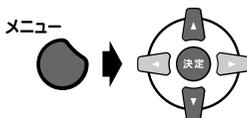
お知らせ

- 選んだグループ内のすべての曲を再生し終わると、再生は自動的に停止します。
- メニューから「再生モード」で「グループ」を選んでも、グループ再生を設定できます。
- MDにグループがないときは「音楽ファイルがありません」と表示されます。
[再生/FMモード]をくり返し押して、グループ再生を解除してください。

▶ グループリストからグループを選ぶ

1 **「TOP MENU」➔「CD」または「MD」➔「グループ」を選び、[決定]を押す**

グループの一覧が表示されます。

2 **再生したいグループを選ぶ**

グループ内のトラックの一覧が表示されます。

3 **メニューを表示して「再生」を選び、[決定]を押す**

選んだグループの再生が始まります。

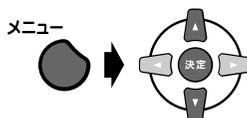
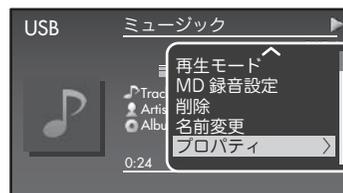
お知らせ

グループがないときは、「グループ」を選ぶことはできません。

■再生中の曲や写真のファイル情報を見る

USB機器や本体メモリーのファイルの詳細情報を見ることができます。

1 **情報を見たい曲または写真を選ぶ（➡30〜35、55ページ）**

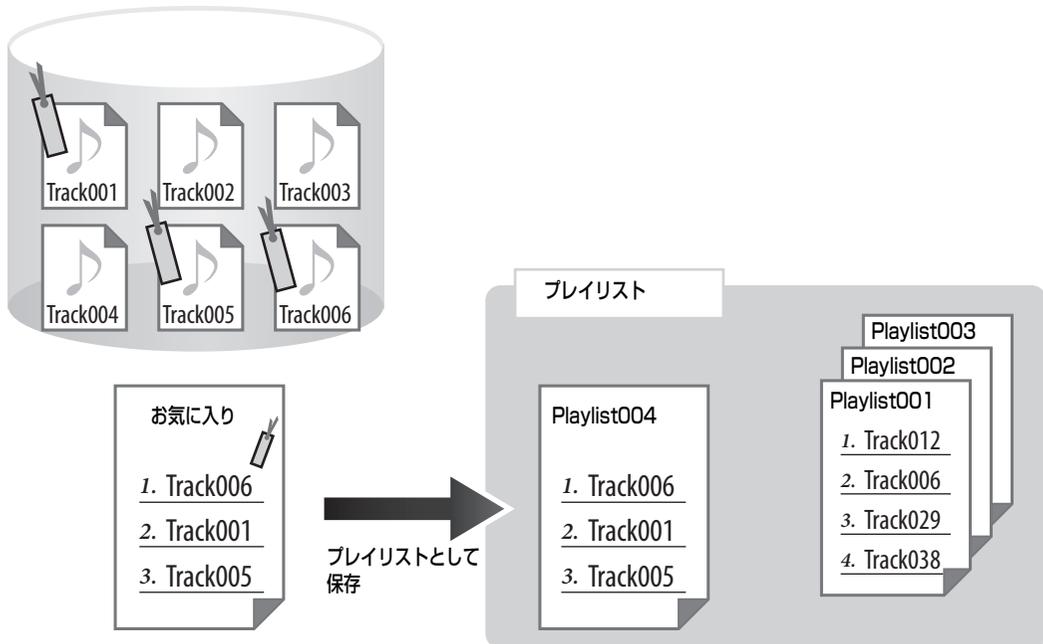
2 **メニューを表示して「プロパティ」を選び[決定]を押す**

再生中の曲または写真の情報が表示されます。

アイコン	表示内容	アイコン	表示内容	アイコン	表示内容
	曲名		トラック番号		再生時間
	アーティスト名		リリース年		ジャケット画像
	アルバム名		ファイル名		ファイルサイズ
	ジャンル名		ファイルの種類		解像度

■お気に入り/プレイリストを使う

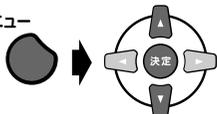
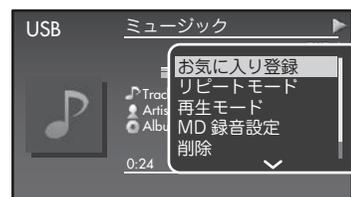
プレイリストとは、好きな曲を集めてリストにしたものです。パーティーで楽しむためのプレイリスト、夜に聞きたいプレイリストなど、お好みの状況にあったプレイリストを作ることができます。

- プレイリストを作成するには、まず曲を「お気に入り」に登録します。お気に入りとして登録された曲の一覧がプレイリストとして保存されます。

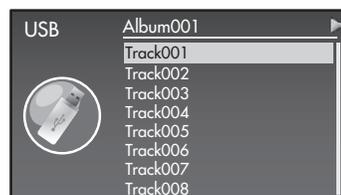
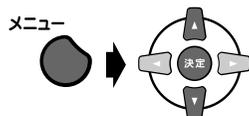
お知らせ

ビデオファイルをお気に入り登録、プレイリスト保存することはできません。

- お気に入りとプレイリストは、USB機器で登録･作成できます。
- お気に入りやプレイリストを編集しても、曲自体が移動したり削除されたりすることはありません。
- 同じ曲を複数のプレイリストに登録することもできます。

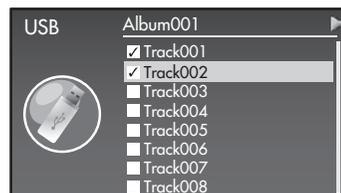
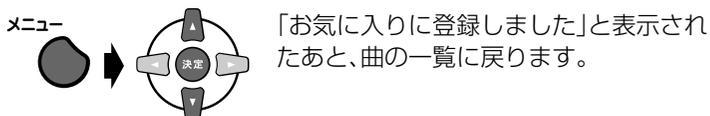
曲をお気に入りに登録する

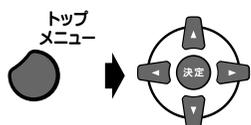
1 **お気に入りに登録したい曲の再生画面でメニューを表示して「お気に入り登録」を選び、[決定]を押す**

「お気に入りに登録しました」と表示されたあと、再生画面に戻ります。

▶ 一度に複数の曲をお気に入りに登録する

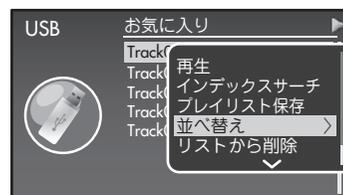
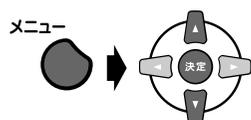
1 「TOP MENU」➔「USB」➔「ミュージック」から お気に入りに登録したい曲を含む項目または フォルダを選び、[決定]を押す

曲の一覧が表示されます。

2 メニューを表示して「選択オン」を選び、[決定]を押す

3 お気に入りに登録したい曲を選び、[決定]を押す

- チェックマークのついた曲がお気に入りに登録されます。
- チェックマークをはずすには、もう一度[決定]を押します。
- 選んだ項目またはフォルダ内のすべての曲にチェックマークをつけるには、メニューから「すべて選択」を選びます。
- すべてのチェックマークをはずすには、メニューから「選択オフ」を選びます。
- チェックマークがついているものとついてないものを入れ替えるには、メニューから「選択反転」を選びます。

4 メニューを表示して「お気に入り登録」を選び、[決定]を押す

「お気に入りに登録しました」と表示されたあと、曲の一覧に戻ります。

お気に入りの曲順を変更する

1 「TOP MENU」➔「USB」➔「ミュージック」➔「プレイリスト」➔「お気に入り」を選び、[決定]を押す

お気に入りの内容が表示されます。

2 メニューを表示して「並べ替え」を選び、[決定]を押す

3 移動したい曲を選び、[◀]を押して[決定]を押す

- 複数の曲を選ぶこともできます。
- 選択を解除するときは[▶]を押します。

4 挿入位置を選び、[決定]を押す

「編集中」➡「変更しました」と表示されます。

挿入位置

お知らせ

プレイリストとして保存したあとで曲順を変更することはできません。

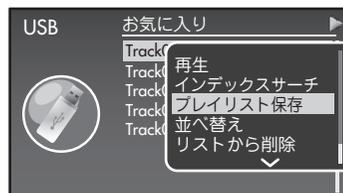
プレイリストを保存する

お気に入りに登録した曲のリストを、プレイリストとして保存します。

1 「TOP MENU」➔「USB」➔「ミュージック」➔「プレイリスト」➔「お気に入り」を選び、[決定]を押す

お気に入りの内容が表示されます。

2 メニューを表示して「プレイリスト保存」を選び、[決定]を押す

「保存しました」と表示されます。

お知らせ

- プレイリストとして保存することのできる最大曲数は、合計で5000曲です。
- プレイリストは、「TOP MENU」➔「USB」➔「ミュージック」➔「プレイリスト」の中に、作成した順に「Playlist001」、「Playlist002」…という名前で保存されます。
- プレイリストは名前を変更することができます。(➡89ページ)

お気に入り/プレイリストを再生する

1 「TOP MENU」➔「USB」➔「ミュージック」➔「プレイリスト」を選び、[決定]を押す

▼お気に入り再生:

2 「お気に入り」を選び、[決定]を押す

お気に入りに登録した曲の一覧が表示されます。
もう一度[決定]を押すと、再生が始まります。

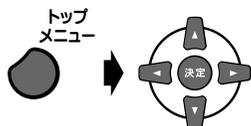
▼プレイリスト再生:

2 再生したいプレイリストを選び、[決定]を押す

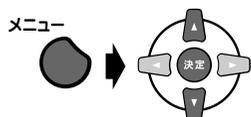
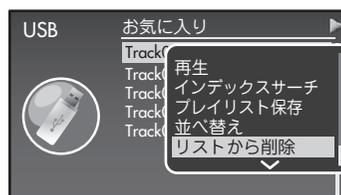
選んだプレイリストの曲の一覧が表示されます。
もう一度[決定]を押すと、再生が始まります。

曲をお気に入り/プレイリストから削除する

- お気に入りやプレイリストから曲を削除しても、曲自体は削除されません。

1 「TOP MENU」➔「USB」➔「ミュージック」➔「プレイリスト」からプレイリストまたは「お気に入り」を選び、[決定]を押す

2 削除したいお気に入りまたはプレイリストの曲を選ぶ

例：お気に入りに登録した
Track001を選んだ場合

3 メニューを表示して「リストから削除」を選び、[決定]を押す

選んだ曲が削除されます。

▶ 一度に複数の曲をお気に入り/プレイリストから削除する

手順1のあとにメニューから「選択オン」を選び、[決定]を押します。
選択画面で削除したい曲に[決定]を押してチェックマークをつけて、
手順3に進みます。

お知らせ

- チェックマークのついた曲がお気に入り/プレイリストから削除されます。
- チェックマークをはずすには、もう一度[決定]を押します。
- 選んだお気に入り/プレイリスト内のすべての曲にチェックマークをつけるには、メニューから「すべて選択」を選びます。
- すべてのチェックマークをはずすには、メニューから「選択オフ」を選びます。
- チェックマークがついているものとついていないものを入れ替えるには、メニューから「選択反転」を選びます。

■曲情報を変更する

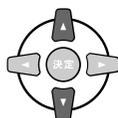
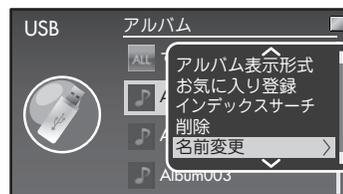
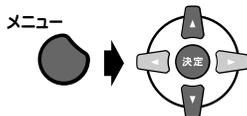
USB機器：　フォルダ名、ファイル名、タイトル名、アーティスト名、アルバム名、ジャンル名、プレイリスト名
MD：　タイトル名、グループ名、ディスク名

USB機器の曲情報を変更する

例：ミュージックの「Album001」の名前を変更するとき

1 「TOP MENU」➔「USB」➔「ミュージック」➔「アルバム」を選び、[決定] を押す

アルバムの一覧が表示されます。

2 名前を変えたいアルバムを選ぶ

3 メニューを表示して「名前変更」を選び、[決定] を押す

4 「アルバム」を選び、[決定] を押す

次のページにつづく

5 名前を変更する

- 文字の入力については「文字入力のしかた」（➡92ページ）をご覧ください。

6 画面の「決定」を選び、[決定]を押す

名前が変更されます。

お知らせ

- 途中でやめるには、[キャンセル]を押します。
- ファイル名またはフォルダ名の「/」「:」「*」「”」や、名前の先頭にある「.」は「_」に置き換えられて表示されます。
- WAVファイルのタイトル、アーティスト、アルバム、ジャンル名を変更することはできません。

▶ ある曲の曲情報を変更する

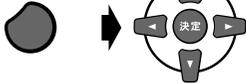
手順2のあとで[決定]を押して、編集したい曲を選びます。
手順4で変更したい項目を選んでください。

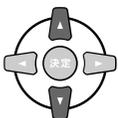
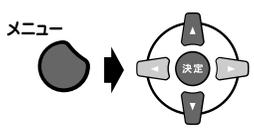
▶ あるアルバムに含まれるすべての曲の曲情報を変更する

手順4で「アーティスト」または「ジャンル」を選んでください。選択したアルバムに含まれるすべての曲のアーティスト情報またはジャンル情報が変更されます。

MDの曲情報を変更する

例：グループ名を変更するとき

1 「TOP MENU」➔「MD」➔「グループ」を選び、[決定]を押す

グループの一覧が表示されます。

2 名前を変えたいグループを選ぶ

3 メニューを表示して「編集」➔「名前変更」➔「グループタイトル」を選び、[決定]を押す

4 名前を変更する

- 文字の入力については「文字入力のしかた」(➔**92**ページ)をご覧ください。

5 画面の「決定」を選び、[決定]を押す

名前が変更されます。

お知らせ

途中でやめるには、[キャンセル]を押します。

▶ ディスク名を変更する

手順3で「ディスクタイトル」を選び、[決定]を押します。

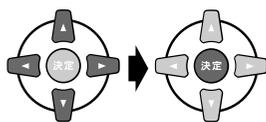
▶ 曲のタイトルを変更する

手順2のあとで[決定]を押して、編集したい曲を選びます。
手順3で「トラックタイトル」を選び、[決定]を押します。

▶ グループがないMDの曲タイトルを変更する

手順1で「トラック」を選び、[決定]を押します。
手順2で編集したい曲を選びます。
手順3で「トラックタイトル」を選び、[決定]を押します。

文字入力のしかた

1 文字または項目を選び、[決定]を押す

▶ 入力する文字の種類を切り換えるには

アルファベット:　「ABC･abc」を選ぶ
カタカナ:　「カタカナ」を選ぶ
各種記号･数字:　「記号･数字」を選ぶ

▶ 入力位置を移動するには

「←」または「→」を選ぶ

▶ 文字を削除または追加(挿入)するには

一文字消去:　消したい文字の左側に「←」または「→」でカーソルを移動し、「削除」を選ぶ
全文字消去:　「全削除」を選ぶ
文字の追加(挿入):「→」で文字を追加(挿入)する位置までカーソルを移動して文字を入力する

▶ 入力できる文字

- アルファベット(大文字･小文字)
- カタカナ
- 記号(！”＃＄％＆’( )* ＋ , - . /: ;)･数字
- 空白(スペース)

お知らせ

- 入力できる文字は半角です。全角文字、ひらがな、漢字は入力できません。
- 最大文字入力数は次の通りです。最大文字入力数を超える曲情報は、本機では表示･編集できません。曲情報を入力した機器などで編集してください。
  - ラジオ局名:128文字
  - MD1枚:1792文字(タイトル名は最大61文字)
  - MDの録音方式の制約により、実際に入力できる文字数はこれより少なくなります。
- 再生専用MDには、文字入力はできません。文字を入力しようとすると、「再生専用ディスクです」と表示されます。
- 誤消去防止状態のMDには、文字入力はできません。文字を入力しようとすると、「プロテクトされています」と表示されます。誤消去防止を解除してください。(➡65ページ)
- MDに入力できる文字数について
  - カタカナは1文字あたりのデータ量が多いため、入力できる文字数が少なくなります。また、空白(スペース)は文字と同じデータ量を必要とします。
  - MDの録音設定で「LP:の付加」が「オン」に設定されていると、タイトルの前に「LP:」が自動でつき、「LP:」も文字数として数えらます。このため、「LP:」のつく曲数が多くなると、入力できる文字数は少なくなります。「LP:」はつけない設定にすることもできます。(➡69、70、74、76ページ)

例:　LP2またはLP4で120曲録音したMD:全曲に英数字で入力できる文字数は10文字です。
LP2またはLP4で60曲録音したMD:全曲にカタカナで入力できる文字数は10文字です。

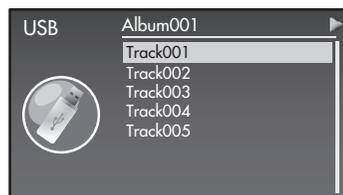
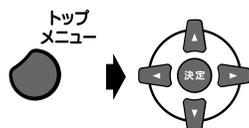
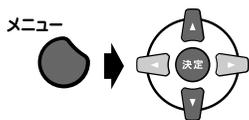
■USB機器のファイルを削除する

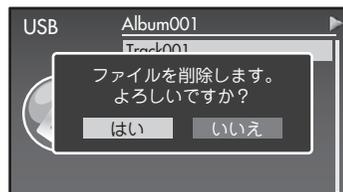
USB機器のフォルダやファイルを削除できます。

ご注意

削除した曲を元に戻すことはできません。
よく確認してから削除してください。

曲を削除する

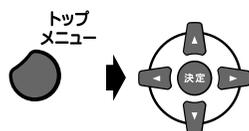
1 「TOP MENU」➔「USB」➔「ミュージック」から削除する曲を選ぶ（➡31〜35ページ）

2 メニューを表示して「削除」を選び、[決定]を押す

削除確認画面が表示されます。

3 「はい」を選び、[決定]を押す

お知らせ

- 途中でやめるには、[キャンセル]を押します。
- 削除したい曲の再生中にメニューを表示して「削除」を選んでも、削除できます。

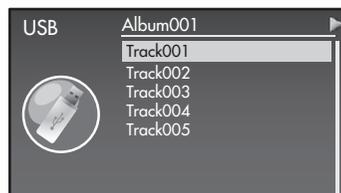
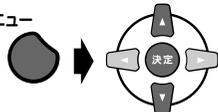
▶ 一度に複数の曲（ファイル）を削除する

例：「ミュージック」の「Album001」の曲を削除する場合

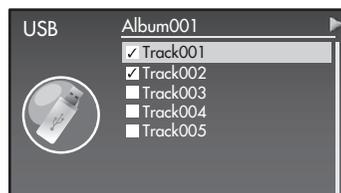
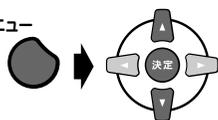
1 「TOP MENU」➔「USB」➔「ミュージック」➔「アルバム」を選び、[決定]を押す

アルバムの一覧が表示されます。

次のページにつづく

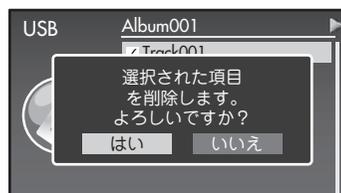
2 「Album001」を選び、[決定]を押す

「Album001」に含まれる曲の一覧が表示されます。

3 メニューを表示して「選択オン」を選び、[決定]を押す

曲の前にチェックボックスが表示されます。

4 削除したい曲を選び、[決定]を押す

- チェックマークのついた曲がUSB機器から削除されます。
- チェックマークをはずすには、もう一度[決定]を押します。
- 選んだ項目またはフォルダ内のすべての曲にチェックマークをつけるには、メニューから「すべて選択」を選びます。
- すべてのチェックマークをはずすには、メニューから「選択オフ」を選びます。
- チェックマークがついているものとついてないものを入れ替えるには、メニューから「選択反転」を選びます。

5 メニューを表示して「削除」を選び、[決定]を押す

削除確認画面が表示されます。

6 「はい」を選び、[決定]を押す

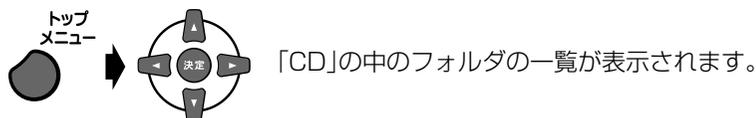
「削除中」➡「削除しました」と表示されます。

お知らせ

途中でやめるには、[キャンセル]を押します。

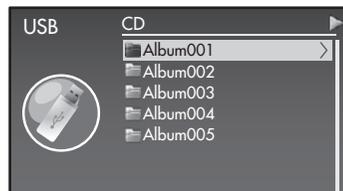
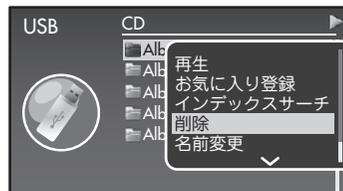
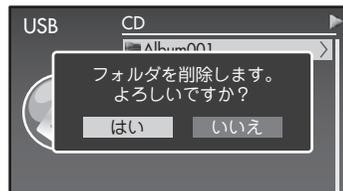
フォルダごと曲を削除する

例：USB機器の「ミュージック」➔「フォルダ」➔「Music」➔「CD」の中の「Album001」フォルダを削除する場合

1 「TOP MENU」➔「USB」➔「ミュージック」➔「フォルダ」➔「Music」➔「CD」を選び、[決定]を押す

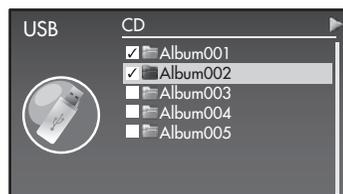
「CD」の中のフォルダの一覧が表示されます。

2 「Album001」を選ぶ

3 メニューを表示して「削除」を選び、[決定]を押す

削除確認画面が表示されます。

4 「はい」を選び、[決定]を押す

お知らせ

途中でやめるには、[キャンセル]を押します。

▶ 一度に複数のフォルダを削除するには

手順1のあとでメニューから「選択オン」を選び、[決定]を押します。
選択画面で削除したいフォルダに[決定]を押してチェックマークをつけて、手順3に進みます。

お知らせ

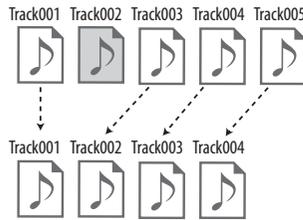
- チェックマークのついたフォルダがUSB機器から削除されます。
- チェックマークをはずすには、もう一度[決定]を押します。
- 選んだ項目内のすべての曲にチェックマークをつけるには、メニューから「すべて選択」を選びます。
- すべてのチェックマークをはずすには、メニューから「選択オフ」を選びます。
- チェックマークがついているものとついていないものを入れ替えるには、メニューから「選択反転」を選びます。

■MDの曲を編集する

曲の名前を変える➡90ページ

曲を削除する

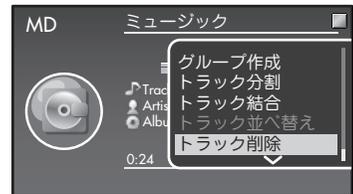
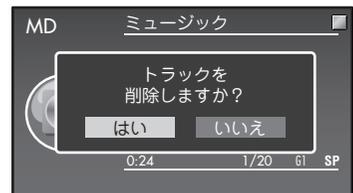
例：2曲目を削除した場合

ご注意

削除した曲を元に戻すことはできません。
よく確認してから削除してください。

1 ソース（音源）を「MD」に切り換えて、停止する

2 削除したい曲を選ぶ

3 メニューを表示して「編集」➔「トラック編集」➔「トラック削除」を選び、［決定］を押す

削除確認画面が表示されます。

4 「はい」を選び、［決定］を押す

お知らせ

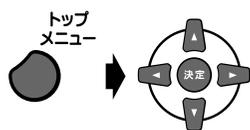
途中でやめるには、［キャンセル］を押します。

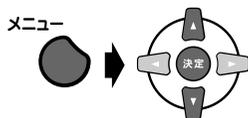
▶ すべての曲を削除する

手順3で「編集」➔「トラック編集」➔「全削除」を選び、［決定］を押します。

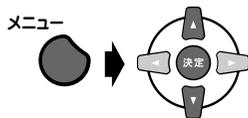
▶ 一度に複数の曲を削除する

最大15曲まで、一度に削除することができます。

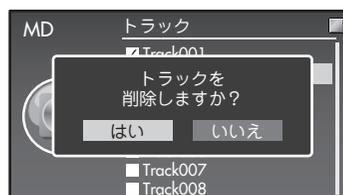
1 「TOP MENU」➔「MD」➔「トラック」を選び、[決定]を押す

トラックリストが表示されます。

2 メニューを表示して「選択オン」を選び、[決定]を押す

3 削除したい曲を選び、[決定]を押す

- チェックマークのついた曲がMDから削除されます。
- チェックマークをはずすには、もう一度[決定]を押します。
- 選んだ項目またはフォルダ内のすべての曲にチェックマークをつけるには、メニューから「すべて選択」を選びます。
- すべてのチェックマークをはずすには、メニューから「選択オフ」を選びます。
- チェックマークがついているものとついてないものを入れ替えるには、メニューから「選択反転」を選びます。

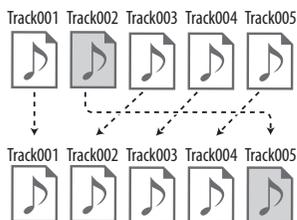
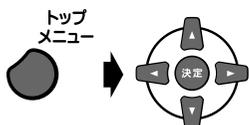
4 メニューを表示して「編集」➔「トラック編集」➔「トラック削除」を選び、[決定]を押す

削除確認画面が表示されます。

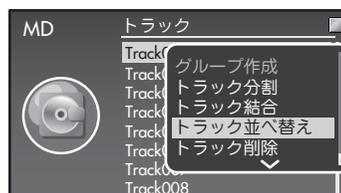
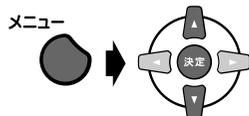
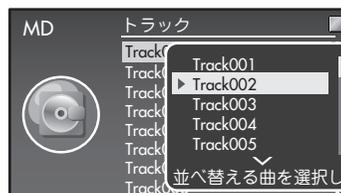
5 「はい」を選び、[決定]を押す

「削除中」➡「削除しました」と表示されます。

お知らせ

チェックマークを付けた曲数が15曲を超えていると、手順5で「一度に削除できる制限を超えました」と表示され、手順3の画面に戻ります。手順3に戻り、15曲以内になるようにチェックマークを付け直してください。

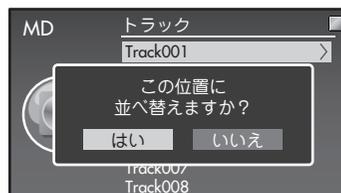
曲を並べ替える

例：2曲目を移動した場合

1 「TOP MENU」➔「MD」➔「トラック」を選び、[決定]を押す

トラックの一覧が表示されます。

2 メニューを表示して「編集」➔「トラック編集」➔「トラック並べ替え」を選び、[決定]を押す

3 並べ替えたい曲を選び、[◀]を押して[決定]を押す

4 挿入位置を選び、[決定]を押す

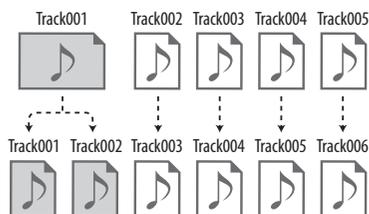
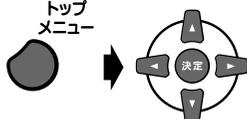
確認画面が表示されます。

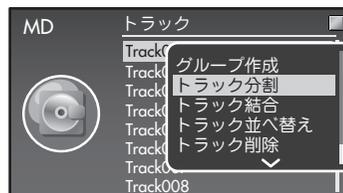
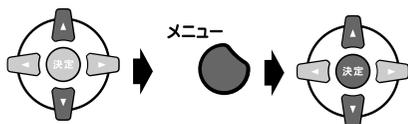
5 「はい」を選び、[決定]を押す

「編集中」➡「変更しました」と表示されます。

お知らせ

途中でやめるには、[キャンセル]を押します。

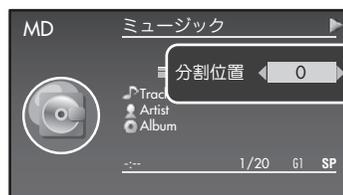
曲を分ける

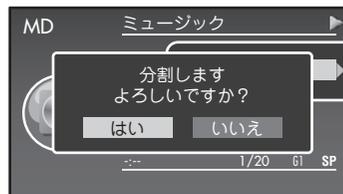
例：1曲目を分けた場合

1 「TOP MENU」➔「MD」➔「トラック」を選び、[決定]を押す

トラックの一覧が表示されます。

2 分けたい曲を選んでメニューを表示して「編集」➔「トラック編集」➔「トラック分割」を選び、[決定]を押す

3 分けたいところで[決定]を押す

押したところから約4秒間がくり返し再生されます。

4 分けるところを微調整して、[決定]を押す

- 分割位置は、−128〜+128(SP：標準モードで約±8秒)の範囲で微調整できます。
- 分割位置を調整しないときは「分割位置０」にします。

5 「はい」を選び、[決定]を押す

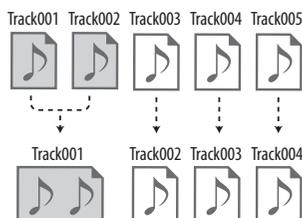
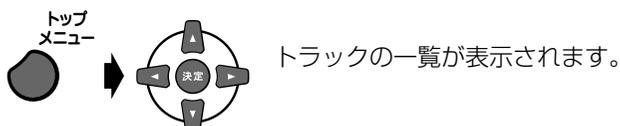
「分割中」➡「分割しました」と表示されます。

お知らせ

- すでに254曲ある場合は、トラックを分けることはできません。(手順2で「トラック分割」が表示されません。)
- 途中でやめるには、[キャンセル]を押します。
- タイトルがついている曲を分けたときは、両方の曲に同じタイトルがつきます。

曲をつなげる

例：1曲目と2曲目をつなげた場合

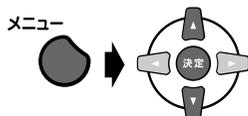
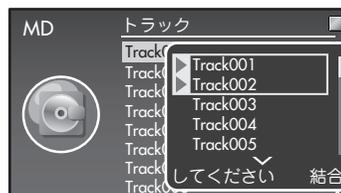
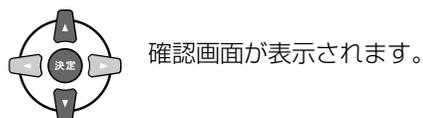
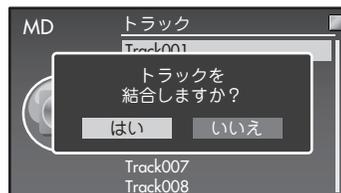
1 「TOP MENU」➔「MD」➔「トラック」を選び、[決定]を押す

トラックの一覧が表示されます。

2 メニューを表示して「編集」➔「トラック編集」➔「トラック結合」を選び、[決定]を押す

3 つなげたい曲を選び、[決定]を押す

確認画面が表示されます。

4 「はい」を選び、[決定]を押す

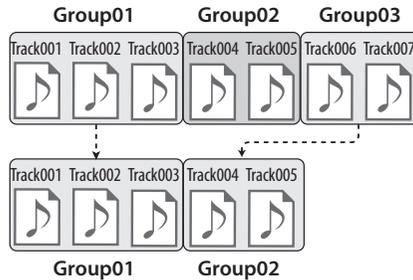
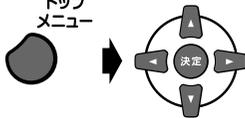
「結合中」➡「結合しました」と表示されます。

お知らせ

- つなげることができるのは隣り合った２曲です。
- タイトルがついている曲をつなげたときは、曲番号の小さい方の曲のタイトルが、つなげた曲のタイトルになります。
- 途中でやめるには、[キャンセル]を押します。
- 以下の曲はつなげることはできません。手順4で「結合できません」と表示され、再生画面に戻ります。
  - 録音品質（SP、LP2、LP4）が異なる曲
  - デジタル録音した曲と、アナログ録音した曲
  - 1曲が8秒（録音品質：SP）以下の短い曲（「MDの制約について」➡133ページ）

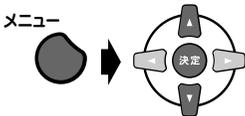
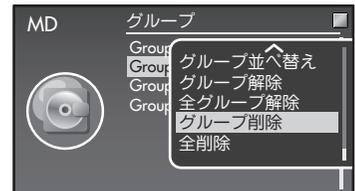
■MDのグループを編集する

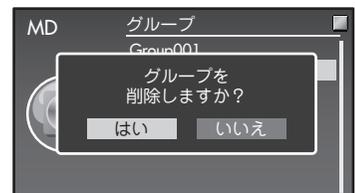
- 最大で99グループを管理することができます。

グループを削除する

例：「Group02」を削除した場合

1 「TOP MENU」➔「MD」➔「グループ」を選び、[決定]を押す

グループの一覧が表示されます。

2 削除したいグループを選ぶ

3 メニューを表示して「編集」➔「グループ編集」➔「グループ削除」を選び、[決定]を押す

削除確認画面が表示されます。

4 「はい」を選び、[決定]を押す

「削除中」➡「削除しました」と表示されます。

お知らせ

- 途中でやめるには、[キャンセル]を押します。
- 一度に1グループのみ削除できます。

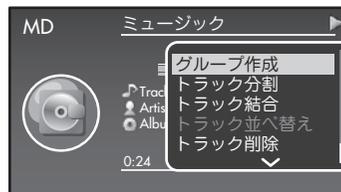
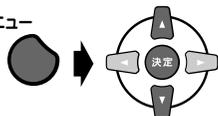
次のページにつづく

▶ すべてのグループを削除する

101ページの手順3で「グループ編集」➔「全削除」を選んで［決定］を押します。

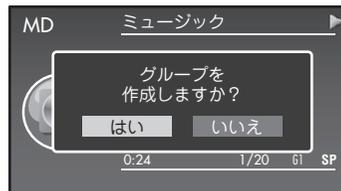
グループを作る

曲をまとめてグループを作ることができます。
例：1曲目から3曲目までをグループにする場合

1 再生画面でメニューを表示して「編集」➔「トラック編集」➔「グループ作成」を選び、［決定］を押す

2 グループの先頭にする曲を選び、［決定］を押す

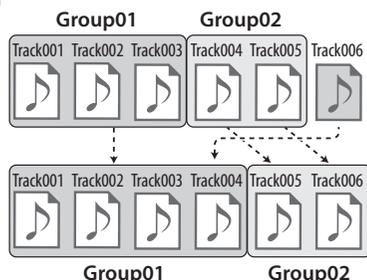
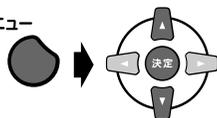
3 グループの最後にする曲を選び、［決定］を押す

4 「はい」を選び、［決定］を押す

「作成中」➡「作成しました」と表示されます。

お知らせ

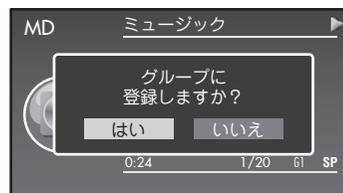
- グループにできるのは、どのグループにも登録されていない連続した曲です。
- 最大99のグループまで作成できます。
- 次の場合はグループを作成できません。（手順2で「グループ作成」を選ぶことができません。）
  - 99グループあるとき
  - すべての曲がグループに登録されているとき
- 途中でやめるには、［キャンセル］を押します。

グループに曲を追加する

曲を選んで、指定したグループの最後の曲として追加できます。
例：6曲目を「Group01」に追加した場合

1 再生画面でメニューを表示して「編集」➔「グループ編集」➔「グループ登録」を選び、[決定]を押す

2 追加したい曲を選び、[決定]を押す

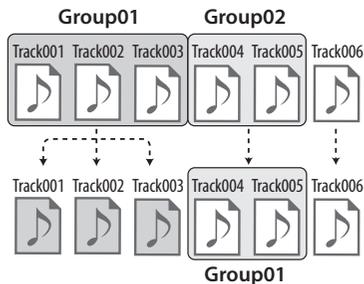
3 登録したいグループを選び、[決定]を押す

4 「はい」を選び、[決定]を押す

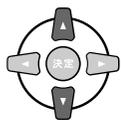
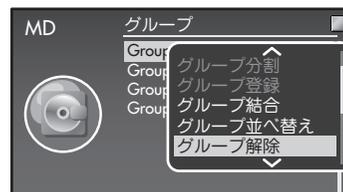
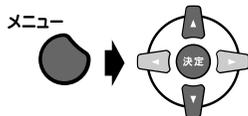
「登録中」➡「登録しました」と表示されます。

お知らせ

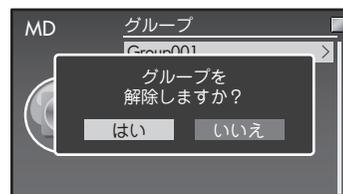
- 途中でやめるには、[キャンセル]を押します。
- 選んだ曲が、手順3で選んだグループにすでに登録されているときは、「指定のグループに登録されています」と表示されます。

グループを解除する

例:「Group01」を解除した場合

1 「TOP MENU」➔「MD」➔「グループ」を選び、[決定]を押す

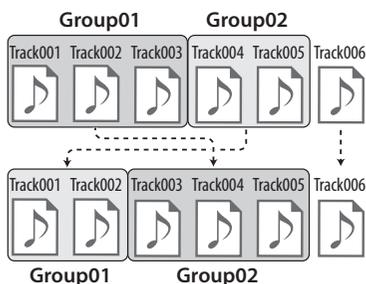
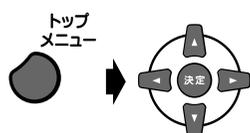
グループの一覧が表示されます。

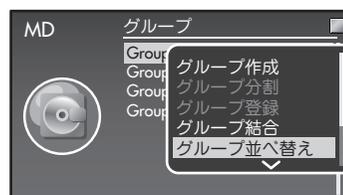
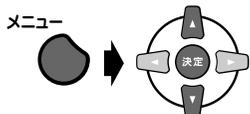
2 解除したいグループを選ぶ

3 メニューを表示して「編集」➔「グループ編集」➔「グループ解除」を選び、[決定]を押す

4 「はい」を選び、[決定]を押す

「解除中」➡「解除しました」と表示されます。

お知らせ

- グループを解除しても、曲は削除されません。
- 途中でやめるには、[キャンセル]を押します。
- 再生画面で、メニュー➔「編集」➔「グループ編集」➔「グループ解除」を選ぶと、再生中の曲が登録されているグループが解除されます。
- 手順3で「グループ編集」➔「全グループ解除」を選ぶと、すべてのグループが解除されます。

グループを並べ替える

例:「Group01」を移動した場合

1 「TOP MENU」➔「MD」➔「グループ」を選び、[決定]を押す

グループの一覧が表示されます。

2 メニューを表示して「編集」➔「グループ編集」➔「グループ並べ替え」を選び、[決定]を押す

3 並べ替えたいグループを選び、[◀]を押して[決定]を押す

4 挿入位置を選び、[決定]を押す

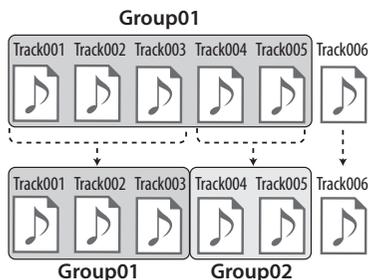
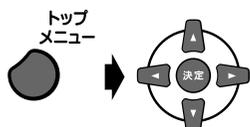
「編集中」➡「変更しました」と表示されます。

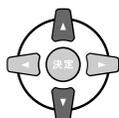
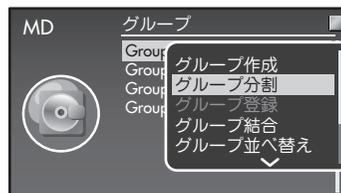
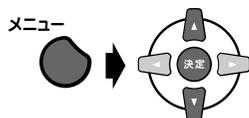
挿入位置

お知らせ

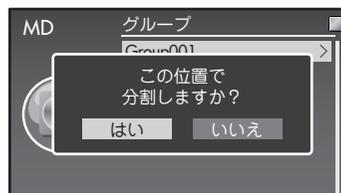
途中でやめるには、[キャンセル]を押します。

グループを分ける

例:「Group01」を2つに分けた場合

1 「TOP MENU」➔「MD」➔「グループ」を選び、[決定]を押す

グループの一覧が表示されます。

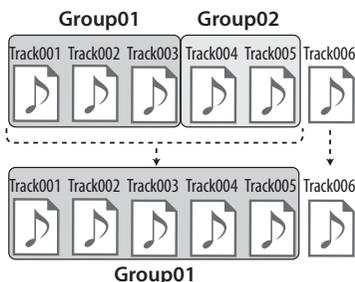
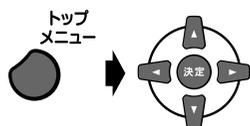
2 分けたいグループを選ぶ

3 メニューを表示して「編集」➔「グループ編集」➔「グループ分割」を選び、[決定]を押す

4 分割したい位置を選び、[決定]を押す

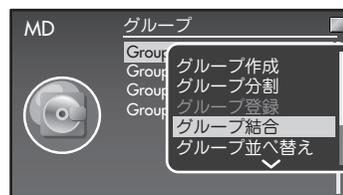
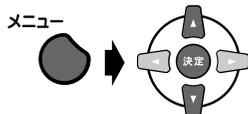
5 「はい」を選び、[決定]を押す

「分割中」➡「分割しました」と表示されます。

お知らせ

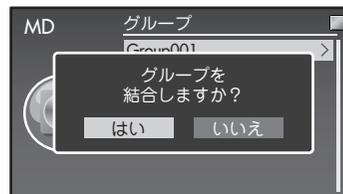
- 次の場合はグループを分けることはできません。（手順3で「グループ分割」が表示されません。）
  - 99グループあるとき
  - グループの総曲数が1曲のとき
- タイトルのついているグループを分けたときは両方のグループに同じタイトルがつきます。
- 途中でやめるには、[キャンセル]を押します。

グループをつなげる

例:「Group01」と「Group02」をつなげた場合

1 「TOP MENU」→「MD」→「グループ」を選び、[決定]を押す

グループの一覧が表示されます。

2 メニューを表示して「編集」→「グループ編集」→「グループ結合」を選び、[決定]を押す

3 つなげたいグループを選び、[決定]を押す

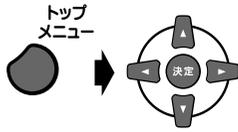
4 「はい」を選び、[決定]を押す

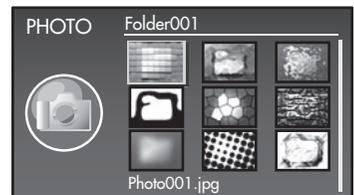
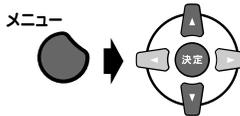
「結合中」➡「結合しました」と表示されます。

お知らせ

- つなげることができるのは、隣り合った２つのグループです。
- タイトルがついているグループをつなげたときは、グループ番号の小さい方のグループのタイトルがつなげたグループのタイトルになります。
- 途中でやめるには、[キャンセル]を押します。
- 2つのグループの間にグループに登録されていない曲があるときは、グループをつなげることはできません。「結合できません」と表示されます。

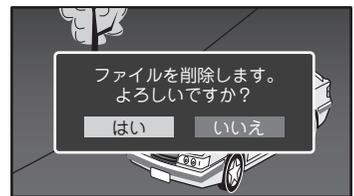
■写真を削除する

本体メモリーやUSB機器の写真を削除することができます。

1 「TOP MENU」➔「PHOTO」➔「本体メモリー」または「USB」を選び、[決定]を押す

2 フォルダ・写真を選び、[決定]を押す

写真が表示されます。

3 メニューを表示して「削除」を選び、[決定]を押す

確認画面が表示されます。

4 「はい」を選んで[決定]を押す

ファイルが削除されます。

▶ フォルダごと削除する

手順2で削除するフォルダを選んで手順3に進みます。

▶ 一度に複数の写真を削除する

手順2で削除したい写真を含むフォルダを選び、[決定]を押します。
メニューから「選択オン」を選び、[決定]を押します。
選択画面で削除したい写真に[決定]を押してチェックマークをつけて、手順3に進みます。

お知らせ

- チェックマークのついた写真が削除されます。
- チェックマークをはずすには、もう一度[決定]を押します。
- 選んだフォルダ内のすべての写真にチェックマークをつけるには、メニューから「すべて選択」を選びます。
- すべてのチェックマークをはずすには、メニューから「選択オフ」を選びます。
- チェックマークがついているものとついていないものを入れ替えるには、メニューから「選択反転」を選びます。

タイマーを使う

本機には、スリープタイマー、録音タイマー、再生タイマーの3種類のタイマーがあります。
スリープタイマー1件、録音タイマーと再生タイマー合わせて8件を設定できます。

準備

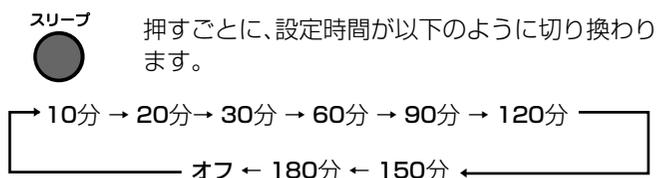
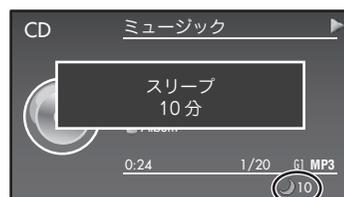
タイマーの設定をする前に時計を合わせておいてください(➡19ページ)。

■スリープタイマーを使う

設定した時間が経過すると自動的に電源が切れます。おやすみのときに便利です。

1 [スリープ]を押す

押すごとに、設定時間が以下のように切り換わります。

10分 → 20分→ 30分 → 60分 → 90分 → 120分
オフ ← 180分 ← 150分 ←

設定したい時間を表示させるだけで設定は完了です。

スリープタイマーの残り時間

お知らせ

- スリープタイマーを設定すると、ディスプレイが暗くなります。
- [設定]を押して「時計/タイマー」➔「スリープ」からもスリープタイマーを設定できます。

▶ 設定した時間を変更する

[スリープ]をくり返し押して時間を選び直します。

▶ 残り時間を確認する

スリープタイマーが設定された状態で、[スリープ]を1回押します。

■録音タイマーを使う

指定した日時に自動的に電源が入り、ラジオ放送やAUDIO IN端子に接続した機器の音声をUSB機器またはMDに録音できます。録音タイマー、再生タイマー合わせて最大8件まで設定できます。
タイマーは電源が切れているときのみ動作します。設定後は本機の電源を切ってください。

お知らせ

- 外部機器の音声を録音する場合は、タイマー機能付きの機器を使用してください。
- **タイマー開始時刻の４分前までに、タイマーの設定を終了して電源を切ってください。**
- 録音できる時間は、最長23時間56分です。
- **複数のタイマーを使う場合は、先に動作するタイマーの終了時刻と次に動作するタイマーの開始時間を、4分以上空けて設定してください。間隔が4分未満のとき、または重複しているときは、「他のタイマーとの間隔を4分以上あけてください」と表示されます。**
- 電源プラグをはずしたときや停電のときは、タイマーの設定項目内容は保持されますが、時計設定はお買い上げ時の状態に戻ります。時計を設定し直してください。
- 「1Seg自動同期」が「オフ」のときは本機の時計は月に1分程度ずれるため、ときどき時計を合わせ直してください。(➡**20**ページ)特に、録音タイマーを設定する前は正確な時刻に合わせることをお勧めします。
- 録音タイマーの動作中は、音量が0に設定されます。音声を聞きたいときは音量を調節してください。

1 タイマーの準備をする

▼録音したいソース(音源)を準備する

ラジオ　放送局をプリセットしておく(➡**43**ページ)
AUDIO IN　AUDIO IN端子(➡**46**ページ)に再生機器を接続し、その機器の説明書に従う

▼録音の設定をする

設定方法と設定項目については以下をご覧ください。
- ラジオを録音する(➡**73**ページ)
- 外部機器から録音する(➡**75**ページ)

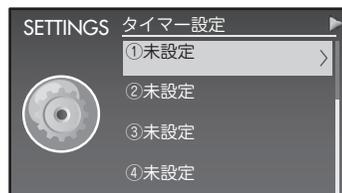
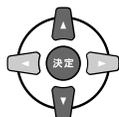
▼録音先の準備をする

USB機器に録音するときは
- 録音用のUSB機器を本機のUSB端子に接続してください。
- 録音の空き時間を確認してください。(➡**124**ページ)

MDに録音するときは
- 録音用MDを入れてください。
- 録音の空き時間を確認してください。(➡**124**ページ)
- 誤消去防止つまみが閉じているかを確認してください。(➡**65**ページ)

2 [タイマー]を押す

タイマー設定画面が表示されます。

3 「①」～「⑧」のいずれかのタイマー番号を選び、[決定]を押す

4 録音タイマーの設定をする

① **設定したい項目を選び、[決定]を押す**

② **設定を選び、[決定]を押す**

■ **状態**:**「オン」を選びます。**

■ **ソース**:録音元と録音先のソース(音源)を選びます。

AUDIO IN/AM/FM/1Seg/USB/iPod/MD/CD:再生タイマーを設定するときに選びます。(➡**113**ページ)

AUDIO IN→MD:外部機器の音声をMDに録音します。

AM→MD:AMをMDに録音します。

FM→MD:FMをMDに録音します。

AUDIO IN→USB:外部機器の音声をUSB機器に録音します。

AM→USB:AMをUSB機器に録音します。

FM→USB:FMをUSB機器に録音します。

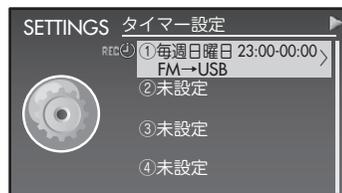
■ **回数/曜日**:くり返しの回数(「1回」、「毎日」または「毎週」)を選び[決定]を押し、動作させたい曜日を選びます。

■ **時刻**:開始時刻と終了時刻を設定します。
- [◀]/[▶]で入力したい位置にカーソルを合わせ、[▲]/[▼]で時刻を合わせます。

■ **チャンネル**:ラジオを録音するときにプリセット番号を選びます。

■ **音量**:録音のときは、設定できません。

5 設定内容を確認して「決定」を選び、[決定]を押す

タイマーが設定され、REC⏻が該当するタイマー番号の前に表示されます。

次のページにつづく

6 電源を切る

本体の⏻表示が点灯します。

お知らせ

- 時刻·日付が設定されていない場合は、タイマーの設定ができません。時計合わせを行なってからタイマーを設定してください。(➡19ページ)
- タイマー設定を途中でやめるには、[キャンセル]を押します。
- [設定]を押して「時計/タイマー」➔「タイマー設定」からも録音タイマーを設定できます。
- 1つ前の画面に戻るには[↩]を押します。
- 録音タイマーが「オン」のとき、各ソース(音源)の再生画面の下部にREC表示が点灯します。

タイマー録音した曲を再生する

▶ USBに録音した曲を再生する

録音タイマーでUSB機器に録音した曲は、「TOP MENU」➔「USB」➔「ミュージック」➔「フォルダ」➔「Music」➔「FM」/「AM」/「Audio_IN」から探すと便利です。

▶ MDに録音した曲を再生する

録音タイマーでMDに録音した曲は、録音したMDの最後の曲として録音されます。最後の曲を選んで再生してください。

- MDに録音した曲の曲番号については、67ページをご覧ください。

■再生タイマーを使う

指定した日時に自動的に電源が入り、ワンセグテレビ、CDやラジオが再生されます。再生タイマー、録音タイマー合わせて最大8件まで設定できます。

タイマーは電源が切れているときのみ動作します。設定後は本機の電源を切ってください。

お知らせ

- 外部機器の音声を再生する場合は、タイマー機能付き機器を使用してください。
- 再生タイマーが開始されると、音量が徐々に大きくなり、設定した音量になります。
- **タイマー開始時刻の４分前までに、タイマーの設定を終了して電源を切ってください。**
- **複数のタイマーを使う場合は、先に動作するタイマーの終了時刻と後に動作するタイマーの開始時間を、4分以上空けて設定してください。間隔が4分未満のとき、または重複しているときは、「他のタイマーとの間隔を4分以上あけてください」と表示されます。**
- 電源プラグをはずしたときや停電のときは、タイマーの設定項目内容は保持されますが、時計設定はお買い上げ時の状態に戻ります。時計を設定し直してください。
- 「1Seg自動同期」が「オフ」のときは本機の時計は月に1分程度ずれるため、ときどき時計を合わせ直してください。(➡20ページ)

1 タイマーの準備をする

再生したいソース(音源)を準備します。

CD	CDを入れる
MD	MDを入れる
USB	USB機器を接続し、お気に入りまたはプレイリストを登録しておく(➡84、87ページ)
iPod	iPodを接続し、再生したい曲の頭で一時停止する
ラジオ	放送局をプリセットしておく(➡43ページ)
AUDIO IN	AUDIO IN端子(➡46ページ)に再生機器を接続し、その機器の説明書に従う
1Seg	チャンネルスキャンをしておく(➡48、50ページ)

2 タイマー を押す

タイマー設定画面が表示されます。

3 「①」～「⑧」のいずれかのタイマー番号を選び、[決定]を押す

次のページにつづく

4 再生タイマーの設定をする

① **設定したい項目を選び、[決定]を押す**
② **設定を選び、[決定]を押す**

SETTINGS タイマー②
状態 オン
ソース MD
回数 / 曜日 1回 日曜日
時刻 07:00-07:10
Group/Track 01 01
音量 01
決定

■ **状態:「オン」を選びます。**

■ **ソース**
AUDIO IN/AM/FM/1Seg/USB/iPod/MD/CD:再生したいソース(音源)を選びます。
- **AUDIO IN➔MD/AM➔MD/FM➔MD/AUDIO IN➔USB/AM➔USB/FM➔USB**:録音タイマーを設定するときに選びます。(➡**110**ページ)

■ **回数/曜日**:くり返しの回数(「1回」、「毎日」または「毎週」)を選んで[決定]を押し、動作させたい曜日を選びます。

■ **時刻**:開始時刻と終了時刻を設定します。
- [◀]/[▶]で修正したい位置にカーソルを合わせ、[▲]/[▼]で時刻を合わせます。

■ **チャンネル**
ソース(音源)が「FM」または「AM」のときに、プリセット番号を選びます。
ソース(音源)が「1Seg」のときに、チャンネルを選びます。

■ **Group/Track**
ソース(音源)が「CD」または「MD」のときに、再生したいグループ番号/トラック番号を選びます。
- グループを指定しない場合は「00」を選びます。

■ **再生リスト**
ソース(音源)が「USB」のときに、再生したいプレイリストまたはお気に入りを選びます。

■ **音量**:再生音量を設定します(01〜40)。

5 設定内容を確認して、画面の「決定」を選び、[決定]を押す

タイマーが設定され、⏻ が該当するタイマー番号の前に表示されます。

6 電源を切る

本体の⏻表示が点灯します。

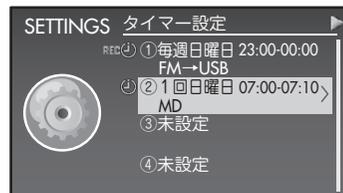
お知らせ

- 時刻·日付が設定されていない場合は、タイマーの設定ができません。時計合わせを行なってからタイマーを設定してください。(➡**19**ページ)
- タイマー設定を途中でやめるには、[キャンセル]を押します。
- [設定]を押して「時計/タイマー」➔「タイマー設定」からも再生タイマーを設定できます。
- ワンセグテレビの番組表を表示中にメニューから「タイマー視聴」を選んでもワンセグテレビの再生タイマーを設定できます。
- 1つ前の画面に戻るには[↩]を押します。
- CD/MDにないグループを選んだときは、グループの設定が無効になります。
- CD/MDにないトラックを選んだときは、1曲目から再生されます。
- USB機器にお気に入りとプレイリストがどちらも登録されていない場合は、「TOP MENU」➔「USB」➔「ミュージック」➔「トラック」にあるトラックリストの順番で再生されます。
- 再生タイマーが「オン」のとき、各ソース(音源)の再生画面の下部に⏻表示が点灯します。

録音/再生タイマーを解除する

1 タイマー ボタンを押す

タイマー設定画面が表示されます。

2 解除したいタイマー番号を選び、[決定]を押す

3 「状態」を「オフ」に設定し、[決定]を押す

4 画面の「決定」を選び、[決定]を押す

REC（録音タイマーの場合）または（再生タイマーの場合）が消えます。

お知らせ

- 「オフ」にしても設定内容は削除されません。
- 操作を途中でやめるには、[キャンセル]を押します。
- [設定]を押して「時計/タイマー」➔「タイマー設定」からも設定できます。

録音/再生タイマーの設定を確認する

1 タイマー を押す

タイマー設定画面が表示されます。

2 確認したいタイマー番号を選び、[決定]を押す

設定の内容が表示されます。

お知らせ

- 確認を終了するには、[キャンセル]を押します。
- [設定]を押して「時計/タイマー」➔「タイマー設定」からも確認できます。

録音/再生タイマーの設定を変更する

1 タイマー を押す

タイマー設定画面が表示されます。

2 変更したいタイマー番号を選び、[決定]を押す

3 変更したい設定を編集する

4 画面の「決定」を選び、[決定]を押す

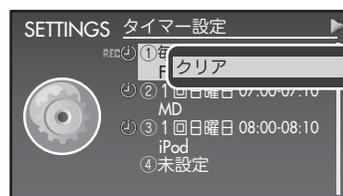
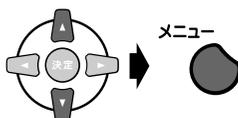
お知らせ

くわしくは、各項目の設定方法をご覧ください。(➡**111**、**114**ページ)

▶ 録音/再生タイマーの設定内容を消去する

1 **タイマー を押す**

タイマー設定画面が表示されます。

2 **設定内容を消去したいタイマー番号を選び、[メニュー]を押す**

3 **[決定]を押す**

お知らせ

- 途中でやめるには、[キャンセル]を押します。
- [設定]を押して「時計/タイマー」➔「タイマー設定」からも設定できます。

設定を変える

ディスプレイの壁紙や配色をお好みで変えられるほか、CDの取り出しを制限したり、USB機器の内容をすべて消したりすることができます。
目的に合わせて、次のページをご覧ください。

- ディスプレイの明るさや壁紙・配色などを変えたい(➡下記および**119**、**120**ページ)
- 省エネ設定をしたい(➡**121**ページ)
- 操作するときの設定をしたい(➡**122**ページ)
- CDやMDを取り出せないようロックしたい(➡**123**ページ)
- USB機器やMDの空き容量や録音可能時間を知りたい(➡**124**ページ)
- 設定した内容を初期化したい(➡**124**ページ)
- USB機器や本体メモリーの内容をすべて消したい(➡**125**ページ)

■ディスプレイの表示設定

画面や操作パネルの明るさや配色、背景などを変えることができます。

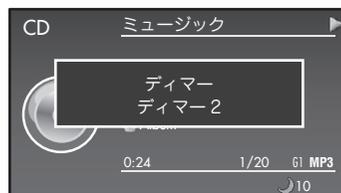
画面/操作パネルの明るさを変える(ディマー機能)

1 ディマー ボタンを押す

押すごとに、明るさが切り換わります。

設定	明るさ
●オフ	通常の明るさです。
ディマー1	やや暗くなります。
ディマー2	さらに暗くなります。

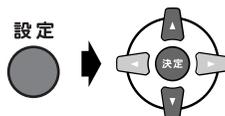
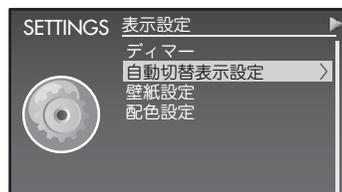
●:お買い上げ時の設定

CD ミュージック
ディマー
ディマー 2
0:24 1/20 G1 MP3
10

お知らせ

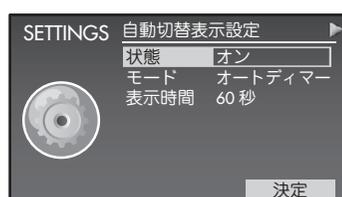
[設定]を押して「表示設定」➔「ディマー」からも明るさを変更できます。

しばらく操作しないときの画面表示を変更する（自動切替表示設定）

一定の時間本機の操作をしないでいると、自動的にお好みの画面に切り換わるように設定することができます。

1 [設定]を押して「表示設定」➔「自動切替表示設定」を選び、[決定]を押す

自動切替表示設定画面が表示されます。

2 表示の自動切り換えの設定をする

① 設定したい項目を選び、[決定]を押す
② 設定を選び、[決定]を押す

SETTINGS 自動切替表示設定
状態 オン
モード オートディマー
表示時間 60 秒
決定

■ **状態**
オン:本機を操作しない状態が一定時間続くと、自動で画面表示を切り換えます。
オフ:自動切替表示設定をオフにします。

■ **モード**
オートディマー:自動的に画面が暗くなります。
壁紙:壁紙を表示します。(➡**61**ページ)
壁紙＋日時:壁紙に登録した写真と日付・時刻を表示します。(➡**61**ページ)
フォト:フォト登録した写真を表示します。(➡**61**ページ)
フォト＋日時:フォト登録した写真と日付・時刻を表示します。(➡**61**ページ)
お気に入りフォト:お気に入り登録した写真を表示します。(➡**62**ページ)

■ **表示時間**:画面が切り換わるまでの時間を選びます。(15秒～120秒)

3 設定内容を確認して、画面の「決定」を選び、[決定]を押す

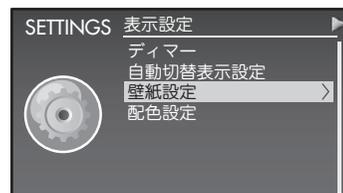
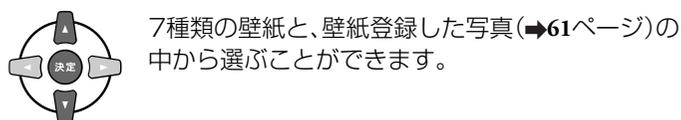
お知らせ

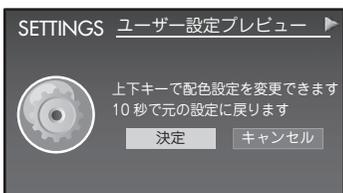
「フォト」、「フォト＋日時」、「お気に入りフォト」を写真を登録していないときに選ぶと、「フォトファイルが登録されていません」と表示されます。写真を登録してから設定してください。

壁紙を変更する

1 [設定]を押して「表示設定」➔「壁紙設定」を選び、[決定]を押す

壁紙設定画面が表示されます。

2 壁紙を選び、[決定]を押す

7種類の壁紙と、壁紙登録した写真(➡**61**ページ)の中から選ぶことができます。

3 配色を選んでから画面の「決定」を選び、[決定]を押す

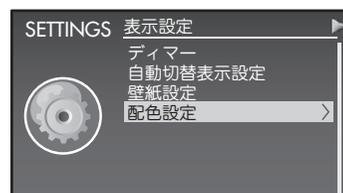
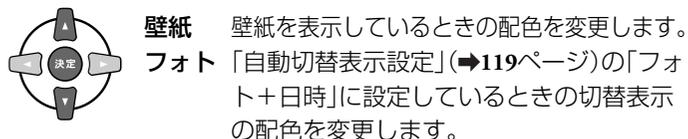
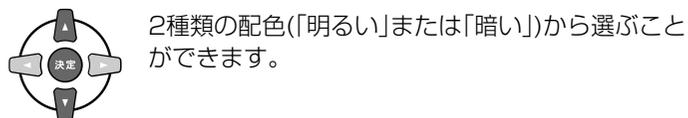
2種類の配色から選ぶことができます。

文字やアイコンの配色を変更する

1 [設定]を押して「表示設定」➔「配色設定」を選び、[決定]を押す

配色設定画面が表示されます。

2 「壁紙」または「フォト」を選び、[決定]を押す

壁紙　壁紙を表示しているときの配色を変更します。

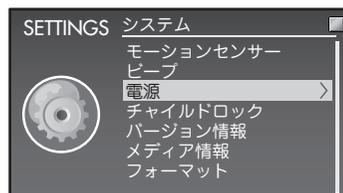
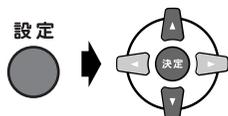
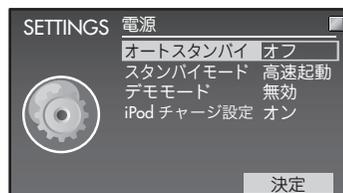
フォト　「自動切替表示設定」(➡**119**ページ)の「フォト＋日時」に設定しているときの切替表示の配色を変更します。

3 配色を選び、[決定]を押す

2種類の配色(「明るい」または「暗い」)から選ぶことができます。

■省エネ設定

省電力のための設定をすることができます。

1 [設定]を押して「システム」→「電源」を選び、[決定]を押す

2 省エネの設定をする

① 設定したい項目を選び、[決定]を押す
② 設定を選び、[決定]を押す

SETTINGS 電源
オートスタンバイ オフ
スタンバイモード 高速起動
デモモード 無効
iPod チャージ設定 オン
決定

■ **オートスタンバイ**

オン:「FM」「AM」または「1Seg」以外のソース(音源)で、再生・録音の停止状態や無音状態が3分間以上続いたときに、電源が自動で切れます。

オフ:オートスタンバイをオフにします。

■ **スタンバイモード**

通常:スタンバイ時の電力の消費をおさえることができます。

高速起動:電源を入れたときに、短い時間で起動します。

■ **デモモード**

有効:デモ機能が有効になります。

無効:デモ機能が無効になります。

■ **iPodチャージ設定**

オン:電源が入っているときまたは「スタンバイモード」が「高速起動」に設定されているとき(➡上記)に、接続しているiPodを充電します。

オフ:接続しているiPodを充電しません。

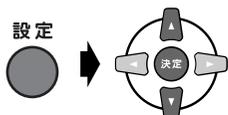
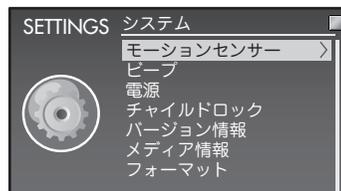
3 設定内容を確認して画面の「決定」を選び、[決定]を押す

お知らせ

- 「オートスタンバイ」の設定が「オン」のとき、再生/録音の終了後や無音状態になると、ディスプレイのA.STBY表示が点滅します。
- 「オートスタンバイ」の設定が「オン」のとき、再生/録音中に音量を「0」にしても、オートスタンバイは動作しません。

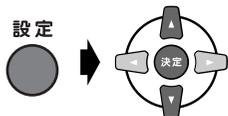
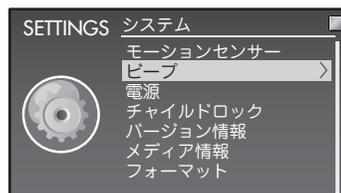
■本機を操作するときの設定

モーションセンサーの設定を変更する

1 **[設定]を押して「システム」→「モーションセンサー」を選び、[決定]を押す**

モーションセンサーの設定画面が表示されます。

2 **モーションセンサーの設定を選び、[決定]を押す**

オフ　タッチパネルのライトが常に点灯します。
オン　モーションセンサーに手を近づけたときのみタッチパネルのライトが点灯します。

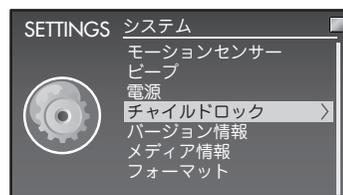
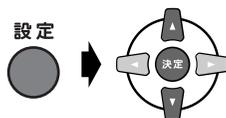
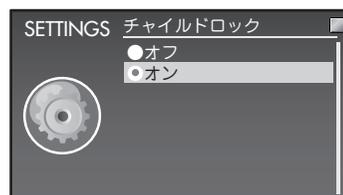
操作確認音をオン/オフする

1 **[設定]を押して「システム」→「ビープ」を選ぶ**

ビープの設定画面が表示されます。

2 **操作確認音の設定を選び、[決定]を押す**

オフ　操作確認音をオフにします。
オン　操作時に確認音が鳴ります。

■CDやMDの取り出しをロックする（チャイルドロック）

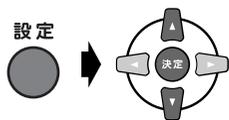
CDやMDを取り出せないように設定できます。小さなお子様のいたずら防止に便利です。

1 [設定]を押して「システム」→「チャイルドロック」を選び、[決定]を押す

2 「オン」を選び、[決定]を押す

▶ チャイルドロックを解除する

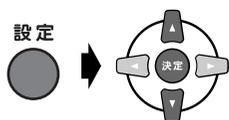
上記の手順2で「オフ」を選び、[決定]を押します。

■本機の情報を表示する

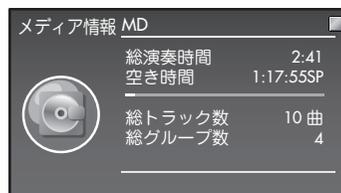
▶ バージョン情報を見る

1 **[設定]を押して「システム」→「バージョン情報」を選び、[決定]を押す**

ファームウェアのバージョン情報が表示されます。

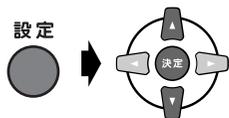
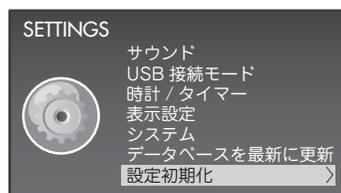
▶ メディア情報を見る

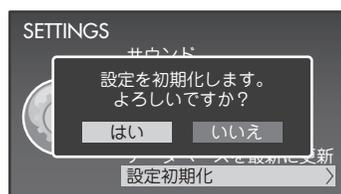
1 **[設定]を押して「システム」→「メディア情報」を選び、[決定]を押す**

メディア選択画面が表示されます。

2 **情報を見たいメディアを選び、[決定]を押す**

空き時間や曲数などが表示されます。

■設定を初期化する

本機で設定した内容を、お買い上げ時の状態に戻します。

1 **[設定]を押して「設定初期化」を選び、[決定]を押す**

確認画面が表示されます。

2 **「はい」を選んで[決定]を押す**

「設定を初期化しました　ビープ音が鳴ったのを確認してから電源コードを抜いてください」と表示されます。確認音が鳴ってから電源コードを抜いてください。

お知らせ

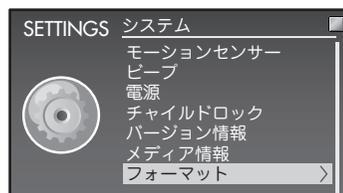
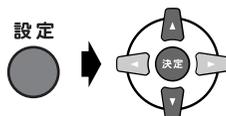
「デモモード」(➡**121**ページ)の設定は初期化されません。

■本体メモリー/USB機器を初期化する(フォーマット)

本体およびUSB機器内のデータをすべて消します。

ご注意

消去したデータを元に戻すことはできません。よく確認してから削除してください。

1 [設定]を押して「システム」→「フォーマット」を選び、[決定]を押す

2 フォーマットしたいメディアを選び、[決定]を押す

本体メモリー 本体メモリーの写真データをすべて消去します。

USB USB機器のデータをすべて消去します。

「フォーマットしますか?」と表示されます。

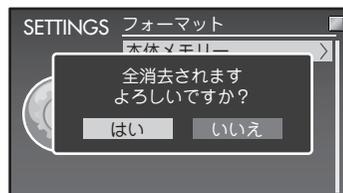
3 「はい」を選び、[決定]を押す

確認画面が表示されます。

• 「いいえ」を選ぶと、フォーマットせずに1つ前の画面に戻ります。

4 「はい」を選び、[決定]を押す

本体メモリー、またはUSB機器の内容が、すべて消去されます。

• 「いいえ」を選ぶと、フォーマットせずに1つ前の画面に戻ります。

■トップメニュー/メニュー項目一覧

トップメニュー項目

▶ SETTINGS

メニュー			詳細(選択可能な項目)	参照ページ
サウンド	AHB PRO		オフ、オン	78
	サウンドモード		マニュアルEQ、ライブ、ロック、ポップ、クラシック、ダンス	78
USB接続モード			オート、MSC	28
時計/タイマー	時計設定	日付・時刻設定	日付、時刻の設定	20
		1Seg自動同期	オフ、オン	19
		時刻 12/24 h	12h、24h	20
	タイマー設定		タイマーの設定	110, 113
	スリープ		オフ、10分、20分、30分、60分、90分、120分、150分、180分	109
表示設定	ディマー		オフ、ディマー1、ディマー2	118
	自動切替表示設定	状態	オフ、オン	119
		モード	オートディマー、お気に入りフォト、フォト+日時、フォト、壁紙+日時、壁紙	119
		表示時間	15秒、30秒、60秒、120秒	119
	壁紙設定		Type 1、Type 2、Type 3、Type 4、Type 5、Type 6、Type 7、ユーザー壁紙	120
	配色設定	壁紙	明るい、暗い	120
		フォト		

メニュー			詳細(選択可能な項目)	参照ページ
システム	モーションセンサー		オフ、オン	122
	ビープ		オフ、オン	122
	電源	オートスタンバイ	オフ、オン	121
		スタンバイモード	通常、高速起動	121
		デモモード	有効、無効	121
		iPodチャージ設定	オフ、オン	121
	チャイルドロック		オフ、オン	123
	バージョン情報		本機のファームウェアのバージョンを表示	124
	メディア情報	MD	メディアの空き容量を表示	124
		本体メモリー		124
		USB		124
	フォーマット	本体メモリー	メディアを初期化	125
		USB		125
データベースを最新に更新			インデックスを更新	38
設定初期化			すべての設定を初期化	124

メニュー項目

▶ CD

メニュー			詳細(選択可能な項目)	参照ページ
リピートモード			オフ、1曲、すべて	80
再生モード			ノーマル、ランダム、グループ	81, 82
録音設定	録音方式		デジタル高速、デジタル標準、アナログ	68
	USB録音	圧縮方式	MP3、WMA	68
		録音品質	HQ、SP、LP	68
	MD録音	録音品質	SP、LP2、LP4	69
		グループ録音	オフ、オン	69
		LP:の付加	オフ、オン	69

▶ MD

メニュー			詳細（選択可能な項目）	参照ページ
リピートモード			オフ、1曲、すべて	80
再生モード			ノーマル、ランダム、グループ	81, 82
録音設定	USB録音	圧縮方式	MP3、WMA	72
		録音品質	HQ、SP、LP	72
編集	トラック編集	グループ作成	グループの作成	102
		トラック分割	曲の分割	99
		トラック結合	曲の結合	100
		トラック並べ替え	曲の移動	98
		トラック削除	曲の削除	96, 97
		全削除	MDの全内容の削除	96
	グループ編集	グループ作成	グループの作成	102
		グループ分割	グループの分割	106
		グループ登録	グループに曲を追加	103
		グループ結合	グループの結合	107
		グループ並べ替え	グループの並べ替え	105
		グループ解除	グループの解除	104
		全グループ解除	すべてのグループの解除	104
		グループ削除	グループの削除	101
		全削除	MDの全内容の削除	102
	名前変更	トラックタイトル	タイトルの編集	90, 91
		グループタイトル		
		ディスクタイトル		

▶ ラジオ（FM、AM）

メニュー			詳細（選択可能な項目）	参照ページ
オートプリセット			放送局を自動的にプリセット	43
プリセット登録			プリセットに登録	44
プリセット名変更			プリセット名の変更	45
ＦＭモード（FMのみ）			オート、モノラル	45
録音設定	トラックマーク		**マニュアル**： 手動でトラックマークをつける **タイム**： 5分間隔でトラックマークをつける **オート**： 2秒以上の無音が続いたときに、自動でトラックマークをつける	74
	USB録音	圧縮方式	MP3、WMA	74
		録音品質	HQ、SP、LP	74
	MD録音	録音品質	SP、LP2、LP4	74
		グループ録音	オフ、オン	74
		LP：の付加	オフ、オン	74

▶ 1Seg

メニュー	詳細（選択可能な項目）	参照ページ
オートプリセット	チャンネルを自動的にプリセット	50
字幕・情報表示	オフ、情報表示、字幕表示	54
表示方法	ノーマル、ズーム	54
音声モード	主音声、副音声	53
番組内容	番組内容の表示	53
番組表	番組表の表示	52
テレビ画面へ	テレビ画面を表示する	52
チャンネル削除	チャンネルリストから削除	51

▶ 1Seg（番組表）

メニュー	詳細（選択可能な項目）	参照ページ
視聴	選択した番組を見る	52
タイマー視聴	視聴タイマーを設定	113
番組内容	番組内容の表示	53

▶ USB（音楽ファイル）

メニュー		詳細（選択可能な項目）	参照ページ
お気に入り登録		お気に入りに登録	84
リピートモード		オフ、1曲、すべて、A-B	80
再生モード		ノーマル、ランダム	81
MD録音設定	録音品質	SP、LP2、LP4	70
	グループ録音	オフ、オン	70
	LP:の付加	オフ、オン	70
削除		ファイル･フォルダの削除	93~95
リストから削除		お気に入り･プレイリストから削除	88
名前変更	ファイル	名前の編集	89
	タイトル		89
	アーティスト		89
	アルバム		89
	ジャンル		89
プロパティ		ファイルの詳細情報を表示	83
並べ替え		お気に入りの曲順を変更	86
プレイリスト保存		お気に入りをプレイリストとして保存	87
アルバム表示形式		アルバム名のみ、ジャケットあり、ジャケットのみ	31

▶ USB(ビデオファイル)

メニュー		詳細(選択可能な項目)	参照ページ
リピートモード		オフ、オン	36
連続再生		オフ、オン	36
情報表示		オフ、オン	37
表示方法		ノーマル、ズーム	36
削除		ファイル・フォルダの削除	93~95
プロパティ		ファイルの詳細情報を表示	83
再生	初めから再生	選んだファイルを最初から再生	35
	最近再生したビデオ	前回最後に再生したファイルを再生	35
ファイル表示形式		ファイル名のみ、サムネイルあり、サムネイルのみ	35

▶ AUDIO IN

メニュー			詳細(選択可能な項目)	参照ページ
入力レベル			レベル1、レベル2、レベル3 外部機器からの音声入力レベルの調節	47
録音設定	トラックマーク		**マニュアル**: 手動でトラックマークをつける **タイム**: 5分間隔でトラックマークをつける **オート**: 2秒以上の無音が続いたときに、自動でトラックマークをつける	76
	USB録音	圧縮方式	MP3、WMA	76
		録音品質	HQ、SP、LP	76
	MD録音	録音品質	SP、LP2、LP4	76
		グループ録音	オフ、オン	76
		LP:の付加	オフ、オン	76

▶ PHOTO(リスト表示)

メニュー	詳細(選択可能な項目)	参照ページ
ファイル表示形式	ファイル名のみ、サムネイルあり、サムネイルのみ	55
スライドショー開始	スライドショーの開始	57
スライドショー停止	スライドショーの停止	57
壁紙登録	壁紙に登録	61
フォト登録	フォトに登録	61
お気に入り登録	お気に入りに登録	62
コピー	ファイルをコピー	58
削除	ファイル･フォルダの削除	108
プロパティ	ファイルの詳細情報を表示	83
選択オン	複数の写真、フォルダを選択	62

▶ PHOTO(閲覧中)

メニュー	詳細(選択可能な項目)	参照ページ
再生画面	再生中のソース(音源)の画面へ	56
スライドショー開始	スライドショーの開始	57
スライドショー停止	スライドショーの停止	57
視覚効果	なし、ワイプ、スライド	57
表示方法	ノーマル、ズーム	57
壁紙登録	壁紙に登録	61
フォト登録	フォトに登録	61
お気に入り登録	お気に入りに登録	62
回転	左90度、右90度	57
情報表示	オフ、オン	57
コピー	ファイルをコピー	58
削除	ファイル･フォルダの削除	108
プロパティ	ファイルの詳細情報を表示	83

■制約について

MDの制約について

MDは、従来のカセットテープなどとは異なる独自の方式で情報を記録しています。このMDの記録方式にはいくつかの制約があるため、次のような症状になることがあります。これらは製品の故障ではありませんので、ご了承ください。

<table>
<tr><th>症状</th><th>原因</th></tr>
<tr><td>曲番号にも収録可能時間にも余裕があるのに「空き容量が足りません」が表示される。</td><td rowspan="3">部分的に消して録音し直す操作をくり返すと、ディスクのあちらこちらに空き部分ができます。このような録音をしたMDには、1曲のデータが空き部分に細かく分けて記録されます。録音中、分けられた部分が多くなると「空き容量が足りません」が表示されることがあります。分けられて時間の短い部分(SP:8秒以下、LP2:16秒以下、LP4:32秒以下)ができると、その曲は、「トラック結合」でつなげることはできません。また、その部分は消しても残り時間は増えません。
細かく分けて記録されている曲は、早送りや早戻しすると音が途切れることがあります。
また、MDLP規格による録音(MDLP)モードが異なる曲は、「トラック結合」でつなげることができません。デジタル録音した曲とアナログ録音した曲も「トラック結合」でつなげることはできません。</td></tr>
<tr><td>「トラック結合」機能が使えない。</td></tr>
<tr><td>曲を消しても残り時間が増えない。
早送り、早戻しをすると、音が途切れることがある。</td></tr>
<tr><td>録音した時間と残り時間を足しても、MDに表示された収録可能時間にならない。</td><td>MDは、最低でもSPモードで12秒、LP2で24秒、LP4で48秒の連続したスペースがないと録音できません。そのため、短い空き部分のたくさんできたMDは、実際に録音できる時間は、短くなります。</td></tr>
</table>

倍速録音に関して(HCMS)

MDは標準を超えるスピードで録音することが可能です。このため著作権を保護するための規制が必要になります。本機では、CDから一度高速録音した曲は、その曲の録音開始から74分が経過しないと、その曲の二度目の高速録音はできません。
例えば、CDの1曲目を高速録音した場合、高速録音が開始してから74分間は、そのCDの1曲目を再びMDに高速で録音することはできません。また、CDから高速録音をする場合、録音開始から74分以内に合計で101曲以上録音することはできません。100曲までの録音をすることができます。

SCMS（Serial Copy Management System）

（シリアル コピー マネージメント システム）

CDのクリアな音を他のデジタル機器（MD、USB機器など）にデジタル録音した場合、一度録音した機器から他の機器に再びデジタル信号のままコピーすることはできないようになっています。つまり、「コピーのコピー」を作ることはできません。この決まりをSCMS（シリアル・コピー・マネージメントシステム）といいます。シリアル・コピー・マネージメント・システムとは、著作権保護のため、デジタルオーディオ機器間でデジタル信号のままコピーできるのは１世代だけと規定したものです。本機は、この決まりに準拠して設計されています。

ご注意

たとえば、この規定により一度デジタル録音されたCDやMDからは、USB機器、MDへデジタル録音することはできません。

CD-R/CD-RWはアナログ信号に変換後、録音されます。

お知らせ

あなたがラジオ放送やCD、テープなどから録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれています。

私的録音補償金についてのお問い合わせ先

社団法人　私的録音補償金管理協会

☎03-5353-0336（代）

■商標と著作権について

- Microsoft、Windows Mediaは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- 本機は、ドルビーラボラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品です。
- iPodは米国およびその他の国で登録されているApple Inc.の商標です。
- “Made for iPod”とは、iPod専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパーによって認定された電子アクセサリーであることを示します。
- アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。

■搭載ソフトウェアに関する情報

McObject エンドユーザー使用許諾書

本機NX-TC5-B/NX-TC5-Wには、McObject社のデータベースソフト（以下本ソフトといいます）が搭載されています。本ソフトの使用条件等は以下のとおりです。

1. 著作権
本ソフトに関する著作権等の知的財産権は、McObject LLC（“McObject”）またはそのライセンサーに帰属するものです。日本ビクター（以下弊社）はMcObjectとのライセンス契約に基づき本ソフトを配布する正当な権限を有しています。本ソフトは、日本、アメリカ合衆国およびその他の国の著作権法ならびに関連する条約によって保護されています。

2. 権利の許諾
お客様は、本契約の条項に従って、本機上でのみ本ソフトを使用する非独占的な権利を本契約に基づき取得します。

3. 制限事項
お客様は、いかなる方法によっても、本ソフトの改変、リバースエンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブルをすることはできません。ただし、適法で認められる場合はこの限りではありません。
お客様は、本契約書に明示的に許諾されている場合または適法で認められる場合を除いて、本ソフトを全部または一部であるかを問わず、使用、複製することはできません。
お客様には本ソフトを使用許諾する権利はなく、またお客様は本ソフトを第三者に販売、貸与またはリースすることはできません。

4. 非保証
本ソフトは、一切の保証なく、現状で提供されるものであり、本ソフトの満足度、性能、正確性または成果（無過失を含みます）等、本ソフトに関して発生するいかなる問題も、お客様の責任および費用負担により解決されるものとします。また本ソフトによりお客様がお楽しみになっていることを妨げられたり、または侵害された場合も、一切の保証はありません。

5. 責任の制限
McObject、弊社および本ソフトの作成･提供に係ったいかなる者も、本契約その他いかなる場合においても、本ソフトに関連する間接、特別または付随的損害（逸失利益を含みます）（損害発生につきMcObject、弊社らが予見し、または予見し得た場合を含みます）について、一切責任を負いません。お客様は、本ソフトの使用に関連して第三者からお客様になされた請求に関連する損害、損失あるいは責任より弊社、McObjectおよびそれらの役員、従業員ならびに代理人を免責し、保証するものとします。

6. 契約期間
本契約は、お客様によって本機上の本ソフトが使用開始された日を以て発効し、次によって終了されない限り有効に存続するものとします。
お客様が本契約のいずれかの条項に違反したときは、弊社は、お客様に対し何らの通知、催告を行うことなく直ちに本契約を終了させることができます。その場合、弊社は、お客様の違反によって被った損害をお客様に請求することができます。なお、万一、本契約が終了したときには、お客様は本ソフトの使用を中止しなければならず、さらには本機に組み込まれた本ソフトをお持ちになることはできません。

7. 輸出管理
お客様は、本ソフトに適用される輸出管理についてのあらゆる法令規則を遵守することに同意するものとします。

8. その他
(1) 弊社の正当な代表者が署名した書面による場合を除き、本契約のいかなる修正、変更、追加、削除その他改変も無効とします。
(2) 本契約のいずれかの規定が日本国の法律で無効とされた場合も、残りの規定は依然有効とします。
(3) 本契約は日本国法を準拠法とします。本契約に関連または起因する紛争は、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所としてこれを解決するものとします。

■故障かな？と思ったら

修理に出す前にもう一度
お確かめください

- ビクターホームページ（http://www.victor.co.jp/）から最新の製品Q&A情報をご覧いただけます。

	症状	原因	対処方法	参照ページ
共通	音が出ない。	ヘッドホンがつながれている。	ヘッドホンのプラグを抜いてください。	13
		音量が最小になっている。	音量を調節してください。	17
		消音になっている。	消音を解除してください。	17
CD	演奏が始まらない。	CDが裏返しに入っている。	文字がある面を上にしてCDを入れ直してください。	22
		レンズに露がついている。	電源を入れたまま、乾くまで待ってください。（約1～2時間）	—
	音飛びする。	CDにキズがある。	CDを交換してください。	—
MD	演奏が始まらない。	レンズに露がついている。	電源を入れたまま、乾くまで待ってください。（約1～2時間）	—
	編集操作ができない。	誤消去防止になっている。	誤消去防止つまみを閉じてください。	65
ラジオ	雑音が多くて放送がうまく受信できない。	アンテナが調整されていない。	アンテナを調整し直すか本機の設置場所を変えてください。	12
ワンセグテレビ	放送が受信できない。	アンテナが接続されていない。	アンテナの接続を確認してください。	11
		電波状況が悪い。	付属のロッドアンテナを使用している場合は、本機の設置場所を変えてください。それでも受信できない場合は、外部アンテナで接続してください。	11
		ワンセグが放送されていない。	地域によってはワンセグが放送されていないことがあります。この場合は、ワンセグを受信することはできません。	48
	映像が画面の中に入りきらない。	「表示方法」が「ズーム」に設定されている。	[表示]をくり返し押すか、[メニュー]を押して「表示方法」を「ノーマル」に設定してください。	54
	チャンネルが見つからない。	チャンネルリストにプリセットされていない。	オートプリセットを行なってください。	50

	症状	原因	対処方法	参照ページ
USB	読み込みに時間がかかる。	USB機器にジャケット画像を含む曲(ファイル)が多数入っている。	一度記憶したUSB機器は二度目以降の読み込みが早くなります。	38
		USB機器に本機で再生できないファイルが多数入っている。	本機で再生できないファイルを削除してください。	38
	内容が正しく表示されない。	本機がUSB機器を正しく記憶していない。	[設定]を押して「データベースを最新に更新」を選んで[決定]を押してください。	38
	本機がスタンバイ状態の時、USB機器が充電されない。	「スタンバイモード」の設定が「通常」になっている。	「スタンバイモード」の設定を「高速起動」にしてください。	121
写真	写真が画面に入りきらない。	「表示方法」が「ズーム」に設定されている。	[表示]をくり返し押すか、[メニュー]を押して「表示方法」を「ノーマル」に設定してください。	57
	写真の向きが正しく表示されない。	—	[▲] [▼] を押すか、[メニュー]を押して「回転」を「左90度」または「右90度」に設定してください。	57
iPod	本機がスタンバイ状態の時、iPodが充電されない。	「iPodチャージ設定」が「オフ」になっている。	「iPodチャージ設定」を「オン」に設定してください。	121
タイマー	再生/録音タイマーがスタートしない。	電源が入っている。	電源を切ってください。	16
		現在時刻と年月日が合っていない。	時計を設定し直してください。	19
		タイマー表示(⏻)が表示されていない。	タイマーを設定し直してください。	110, 113
リモコン	リモコンで操作できない。	リモコンの乾電池が消耗している。	新しい乾電池(単4形)に2本とも交換してください。	13
		リモコン受光部に、直射日光などの強い光が当たっている。	強い光の当たらない場所で操作してください。	—
録音	音が出ない。	高速録音をしている。	高速録音のときは、音は出ません。	—
	高速録音できない。	高速録音できない条件で、高速を選ぼうとしている。	標準で録音してください。	68, 69

▶ 上記の対処を行なっても正しく動作しないときは

- 本機はマイコンの働きで、多くの動作を行なっております。万一どのボタンを押してもうまく動作しないときは、本体の[STANDBY ⏻/I]ボタンを約10秒押しつづけ、電源を切ってください。そのあと、1分ほど待ってから電源を入れ直してください。
- 大切な録音の場合は、必ず事前に試し録音をして正常に録音できることを確認してからお使いください。

■メッセージが表示されたときは

▶ 共通

メッセージ	意味	対処方法	参照ページ
チャイルドロックされています	CD、MDの取り出しができないように設定されている	チャイルドロックを解除してください。	**123**
データベースを再構築しました	データベースが壊れていたので、再構築を行なった	再生順が変更されています。	—
システム領域異常。フォーマットします	ファイルシステムが壊れている	強制フォーマットになりますので、データがすべて消去されます。	—
データ領域異常。フォーマットします			
メモリ領域異常。フォーマットします			
タイマー開始5分前です。タイマー処理を開始する場合は電源をオフして下さい	タイマーの動作時刻が近づいている	タイマーは電源オフのときのみ動作します。電源を切ってください。	**16**
再生タイマー準備中	タイマー動作の準備中	−	—
録音タイマー準備中			

▶ タイマー

メッセージ	意味	対処方法	参照ページ
タイマーが重複しています	他のタイマーと設定時間が重複している	他のタイマーとの間隔を４分以上あけてください。	**110, 113**
他のタイマーとの間隔を4分以上あけてください	他のタイマーとの間隔が４分未満に設定されている	他のタイマーとの間隔を４分以上あけてください。	**110, 113**
空き容量が足りません	録音タイマーの録音先の容量が足りない	録音先のMDまたはUSB機器の不要な内容を削除してください。	**93~97, 101, 102**
タイマー設定を上書きします。よろしいですか？	番組表から再生タイマーを設定するときに、設定済みのタイマー番号を選択した	設定済みのタイマーを削除したくない場合は、別の空いているタイマー番号を選択してください。	**111, 114**

▶ CD

メッセージ	意味	対処方法	参照ページ
再生できないディスクです	再生できないディスクを読み込んだ、またはトラック数が0のディスクを入れた	ディスクを取り替えてください。	—
再生できません	本機で再生できないファイルである、またはファイルが壊れている	このファイルは再生できません。自動で次のファイルへスキップします。	—
このディスクは利用できません	グループがないディスクでグループを選択しようとした	曲を選択してください。	23

▶ USB機器／写真

メッセージ	意味	対処方法	参照ページ
MTPモードでは設定できません	USBモードがMTPのとき、A-Bリピートを設定しようとした	A-Bリピートを使うには、MSCで接続してください。	28
このUSB機器は認識できません **このUSB機器は本機では再生できません**	認識できないUSB機器を接続した	このUSB機器は使用できません。	—
データ数が制限を越えました	フォルダとファイルの合計数が制限をこえた	不要なファイル、フォルダを削除してください。	93~95, 108
ファイル数が制限を越えました	ファイル数が制限を越えた	不要なファイルを削除してください。	93~95, 108
プロテクトされています	USB機器にプロテクトがかかっている	USB機器のプロテクトを解除してください。	—
空き容量が足りません	内蔵メモリーまたはUSB機器の容量がいっぱいになった	不要なファイルを削除して空き容量を増やしてください。	93~95, 108
再生できません	本機で再生できないファイルである、またはファイルが壊れている	このファイルは再生できません。自動で次のファイルへスキップします。	—
最大登録数を超えました	プレイリストの最大登録数（トラック数による）を越えた	プレイリストの曲を削除してください。	88
著作権保護されたトラックは再生できません	著作権保護された音楽ファイルをMSC接続中に再生しようとした	MTPで接続してください。	28
同名が存在します	すでにある名前に変更しようとしている	まだ使用していない名前に変更してください。	89
変更できません **コピーできません**	ファイルシステムに異常がある可能性があります	電源を入れ直し、再度実行してください。再度メッセージが表示される場合は、フォーマットしてください。	125

ワンセグテレビ

メッセージ	意味	対処方法	参照ページ
受信できません	現在選択されているチャンネルが受信できない	• アンテナが正しく接続されているか確認してください。 • 本機の設置場所を変えてみてください。	11
受信可能なチャンネルはありませんでした。	ワンセグテレビを受信できない		
プリセットチャンネルを削除しました タイマー予約をしている場合は予約内容を確認してください	プリセットチャンネルが削除された	削除したチャンネルをタイマー設定していた場合、そのタイマーは動作しません。必要な場合は、再度タイマーを設定してください。	113
プリセットされているチャンネルと異なるチャンネルを受信しています。 オートプリセットを開始しますか？	プリセットされていないチャンネルが受信できる	オートプリセットをしてください。	50

録音

メッセージ	意味	対処方法	参照ページ
74分以内に同じ曲の高速録音はできません	CDからMDに高速録音した曲を、その曲の録音開始から74分以内に再度録音しようとした	著作権保護のため、内部タイマーが働いています（HCMS）。74分以上待つか、標準で録音してください。	133
SCMSエラー アナログで録音してください	著作権保護されたCD-R/CD-RWをデジタル録音しようとした	アナログで録音してください。	68
データ数が制限を越えました	フォルダとファイルの合計数が制限をこえた	• 録音先のMDまたはUSB機器の不要なファイル、フォルダを削除してください。 • 録音する曲数を減らしてください。	68~73, 93~97, 101, 102
トラック数が制限を越えました	ファイル数が制限を越えた	• 録音先のMDまたはUSB機器の不要なファイルを削除してください。 • 録音する曲数を減らしてください。	68~73, 93~97, 101, 102
空き容量が足りません	録音先の容量が足りない	録音先のMDまたはUSB機器の不要なファイルを削除してください。	93~97, 101, 102

メッセージ	意味	対処方法	参照ページ
録音できません	ファイルシステムに異常がある可能性があります	電源を入れ直し、再度実行してください。再度メッセージが表示される場合は、フォーマットしてください。	125

▶ MD

メッセージ	意味	対処方法	参照ページ
空のディスクです	未録音のディスク	–	—
再生専用のディスクです	再生専用MDに録音･編集しようとした	録音用MDに取り替えてください。	—
プロテクトされています	MDが誤消去防止になっている	MDの誤消去防止つまみを閉じてください	65
このディスクは利用できません	グループがないMDディスクでグループを選択しようとした	曲を選択してください。	41
グループに登録されています	グループ登録されている曲を選んで、新しいグループを作ろうとした	グループに登録されていない曲を選んでください。	102
グループ数が制限を超えました	すでに99グループあるMDで、新しくグループを作成しようとした	グループは最大99グループまで管理できます。不要なグループを削除または解除してください。	101, 102, 104
一度に削除できる制限を越えました	MDの削除で一度に16トラック以上削除しようとした	削除したい曲を選びなおしてください。	97
指定のグループに登録されています	曲をグループに追加するときに、すでにその曲が登録されているグループを選んだ	別のグループを選んでください。	103
タイトル情報が制限を超えました	MDに合計1792文字を超えて入力しようとした	それ以上の文字は入力できません。	92
結合できません	MDのシステム上の制約のため曲の結合ができない	「MDの制約について」をお読みください。	133
同名が存在します	すでにある名前に変更しようとしている	まだ使用していない名前に変更してください。	90

■保証とアフターサービス（必ずお読みください）

保証書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間
お買い上げの日から１年間

補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、お買い上げの販売店または**143**ページの「ビクターサービス窓口案内」をご覧のうえ最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは　持込修理

136ページの「**故障かな？と思ったら**」に従ってお調べください。それでもなお異常のあるときは、使用を中止し、**お買い上げの販売店**に修理をご依頼ください。このとき不具合の発生したCDやMDなどのメディアも、一緒にご持参ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

便利メモ	お買い上げ日	
	お買い上げ店名	☎（　　　　）　　　－

お客様の個人情報のお取り扱いについて

ご相談窓口におけるお客様の個人情報につきましては、日本ビクター株式会社およびビクターグループ関係会社（以下、当社）にて、下記のとおり、お取り扱いいたします。

- お客様の個人情報は、お問い合わせへの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。
- お客様の個人情報は、適切に管理し、当社が必要と判断する期間保管させていただきます。
- 次の場合を除き、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。
  ① 上記利用目的のために、協力会社に業務委託する場合。当該協力会社に対しては、適切な管理と利用目的外の使用をさせない措置をとります。
  ② 法令に基づいて、司法、行政またはこれに類する機関から情報開示の要請を受けた場合。
- お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

■ビクターサービス窓口案内

（ビクターサービスエンジニアリング株式会社）

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご相談ください

ご転居等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

都道府県名	窓口名	TEL	所在地
【出張修理専門】のご相談窓口			
出張修理のご依頼、ご相談は下記の番号で承ります。			
出張修理受付センター		**(0800)800-9928**（フリーアクセス・ひかりワイド） ※携帯電話・PHSなどからのご利用は、下記の番号へおかけ願います。	
		(047)305-7731	千葉県浦安市当代島二丁目13-27
北海道			
北海道	札　幌S.C.	(011)898-1180	札幌市厚別区厚別東五条一丁目2-29
	帯広S.S.	(0155)24-4493	帯広市西5条南28丁目1-1 有限会社オーイーエム内
	旭川S.T. 北見S.T. 釧路S.T. 函館S.T.	お問い合わせは札幌S.C.にて承ります。	
東北			
青　森	青　森S.T.	(017)723-2261	青森市緑一丁目5-1
	八戸S.T.	お問い合わせは仙台S.C.にて承ります。	
岩　手	盛　岡S.S.	(019)637-0121	盛岡市門一丁目18-1 キャピタルハウス1F
	水沢S.T.	お問い合わせは仙台S.C.にて承ります。	
秋　田	秋　田S.S.	(018)824-3189	秋田市八橋本町三丁目6-23 ビルB
	大館S.T.	お問い合わせは仙台S.C.にて承ります。	
宮　城	仙　台S.C.	(022)287-0151	仙台市若林区六丁の目西町7-13
山　形	山形S.T. 酒田S.T.	お問い合わせは仙台S.C.にて承ります。	
福　島	郡　山S.S.	(024)952-6331	郡山市堤一丁目3
関東・甲信越			
新　潟	新　潟S.C.	(025)242-3431	新潟市中央区鐙一丁目5-23
長　野	長　野S.C. 松本S.T.	(026)221-6583	長野市大字川合新田962-1
群　馬	前　橋S.C.	(027)255-5921	前橋市大渡町一丁目10-1 日本ビクター（株）前橋工場第2棟1F
栃　木	宇都宮S.S.	(028)638-1639	宇都宮市東宿郷三丁目5-22
埼　玉	大　宮S.C.	(045)450-6211	さいたま市北区大成町4丁目503
千　葉 茨　城	千　葉S.C.	(043)202-0263	千葉市中央区中央三丁目9-16 三井生命千葉中央ビル1F
	柏　S.C.	(048)654-5241	柏市豊四季512-10-67
神奈川	横　浜S.C.	(046)234-4500	横浜市神奈川区新浦島町1丁目1-25 テクノウェイブ100ビル1F
山　梨	甲府S.T.	お問い合わせは八王子S.C.にて承ります。	
東　京	東東京S.C.	(03)6381-8400	墨田区八広五丁目11-1石塚ビル1F
	大　田S.C.	(03)5748-3701	大田区池上二丁目8-10 プラムビル1F
	八王子S.C.	(042)646-6914	八王子市石川町2969-2 日本ビクター（株）八王子工場 第4棟
【業務用機器専門】のご相談窓口			
CS センター		(03)5631-2235	墨田区八広五丁目11-1
静岡			
静　岡	静　岡S.C. 沼津S.T. 浜松S.T.	(054)204-0050	静岡市駿河区高松一丁目16-14

都道府県名	窓口名	TEL	所在地
東海・北陸			
愛　知	名古屋S.C. 三　河S.C. 名東S.T.	(0568)25-3235	北名古屋市九之坪鴨田121-1
石　川	金　沢S.C.	(076)269-4821	金沢市新保本4丁目65-17
富　山	富山S.T.	お問い合わせは金沢S.C.にて承ります。	
福　井	福井S.T.	お問い合わせは金沢S.C.にて承ります。	
近畿			
京　都 滋　賀	京　都S.C.	(075)644-0247	京都市伏見区深草下川原町31-1
兵　庫	神　戸S.C.	(078)652-4600	神戸市兵庫区北逆瀬川町1-6 北逆瀬川マンション1F
大　阪	大　阪S.C. 堺S.T.	(06)6304-5735	大阪市淀川区田川二丁目4-28
【業務用機器専門】のご相談窓口			
メンテナンスセンター		(06)6304-6715	大阪市淀川区田川二丁目4-28
中国			
岡　山	岡　山S.C.	(086)243-1566	岡山市西古松西町8-23
広　島	広　島S.C.	(082)243-9839	広島市中区光南三丁目9-17
	福山S.T.	お問い合わせは広島S.C.にて承ります。	
山　口	山口S.S.	(083)973-3708	山口市小郡花園町5-28
山陰			
島　根	松　江S.C.	(0852)31-8900	松江市学園一丁目16-39
鳥　取	鳥取S.T.	お問い合わせは広島S.C.にて承ります。	
四国			
香　川 高　知	高　松S.C.	(087)866-1200	高松市田村町205-1
愛　媛	松山S.T. 宇和島S.T.	お問い合わせは広島S.C.にて承ります。	
九州・沖縄			
福　岡 佐　賀	福　岡S.C.	(092)707-0500	福岡市博多区沖浜町11-10 サンイースト福岡1F
	北九州S.S.	(093)921-3981	北九州市小倉北区片野二丁目15-12
熊　本	熊　本S.C.	(096)353-4536	熊本市近見八丁目1-10
鹿児島	鹿児島S.S.	(099)282-8818	鹿児島市田上七丁目9-8
沖　縄	沖　縄S.C.	(098)898-3631	宜野湾市真志喜一丁目13-16

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。　0509

●略号について　S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。
S.T.はサテライト（出張修理拠点）略称です。

■主な仕様 本機の仕様および外観は、改善のために予告なく変更することがあります

▶ MD/CDレシーバー (CA-NXTC5-B/CA-NXTC5-W)

アンプ部

音声実用最大出力（JEITA）	15 W + 15 W
入力端子〈アナログ〉	AUDIO IN x 1 500 mV/47 kΩ:LEVEL1 250 mV/47 kΩ:LEVEL2 125 mV/47 kΩ:LEVEL3
出力端子〈アナログ〉	スピーカー x1系統、15 W/4 Ω 適合インピーダンス4 Ω〜16 Ω PHONES（φ3.5 mmステレオミニ x 1）、5 mW/32 Ω 適合インピーダンス 16 Ω〜1 kΩ

ワンセグチューナー部

受信チャンネル	ワンセグUHF13ch〜62ch
受信アンテナ入力	75Ω不平衡型

チューナー部

受信周波数	FM:76.0 MHz〜90.0 MHz （0.1 MHzステップ） AM:531 kHz〜1,629 kHz （9 kHzステップ）
アンテナ	FM: 75Ω不平衡型 AM: ループアンテナ

CDプレーヤー部

形式	コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
サンプリング周波数	44.1 kHz
チャンネル数	2チャンネル·ステレオ

MD部

形式	ミニディスクデジタルオーディオシステム
記録方式	磁界変調オーバーライト方式
ファイルシステム（MD80使用）	録音時モード（MDLP）SP:80分 録音時モード（MDLP）LP2:160分 録音時モード（MDLP）LP4:320分
サンプリング周波数	44.1 kHz
音声圧縮方式	ATRAC/ATRAC3（MDLP）方式
チャンネル数	2チャンネル·ステレオ

USB部

USB端子	USB Ver.2.0フルスピード
接続モード	MTP/MSC
ファイルシステム	FAT/FAT32 （NTFSには対応していません）
音声圧縮録音方式	MP3、WMA
USB出力電源	DC 5 V⎓ 500 mA

タイマー部

タイマー形式	8プログラム動作 （1回のみ/毎日/毎週切換可能）
スリープタイマー	10、20、30、60、90、120、150、180分 （オートディマー機能）
時刻表示	12/24時間表示

本体メモリー(PHOTO)部	
形式	フラッシュメモリー
容量	512MB
映像圧縮記録方式	JPEG

iPod 部	
iPod 出力電源	DC 5 V ⎓ 500 mA

共通部	
ディスプレイ	4.3型液晶ディスプレイ
電源電圧	AC100 V(50 Hz/60 Hz共用)
消費電力	電源「入」時　25 W 電源「待機」時　11 W (高速起動設定　USB、iPod給電機能オン) 電源「待機」時　0.4 W (通常設定　USB、iPod給電機能オフ)
最大外形寸法	幅275 mm x 高さ139 mm x 奥行き214.4 mm
質量	約2.8 kg

▶ スピーカー(1本あたり)

(SP-NXTC5-B/SP-NXTC5-W)

形式	2ウェイバスレフ型
使用スピーカー	低音用: 11 cmコーンスピーカー x 1 高音用: 4 cmコーンスピーカー x 1
最大入力	15 W(JIS)
定格インピーダンス	4 Ω
再生周波数帯域	60 Hz～20 kHz
出力音圧レベル	84 dB/W•m
最大外形寸法	幅143 mm x 高さ225 mm x 奥行き209 mm
質量	約1.5 kg

▶ コンパクトコンポーネントMDシステム

(NX-TC5-B/NX-TC5-W)

総合	
最大外形寸法	幅561 mm x 高さ225 mm x 奥行き214.4 mm
質量	約5.8 kg

再生対応フォーマット[*1]

USB

MP3:		8 kbps～320 kbps、 8 kHz～48 kHz、VBR[*2]
WMA:		8 kbps～320 kbps、 8 kHz～48 kHz、VBR[*2]
WAV:		16 bit、リニアPCM 8 kHz～48 kHz
WMV:	映像	プロファイル:WMV9 シンプル・メインプロファイル 画像サイズ:QVGA (320 x 240ピクセル)以下*[3] フレームレート:最大30fps*[3] ビットレート:最大512kbps
	音声	プロファイル:WMA9 ビットレート:最大128kbps
JPEG		解像度:最大12メガピクセル

*1 サンプリング周波数とビットレートの組み合わせによっては、正常に再生できない場合があります。

*2 VBR:Variable Bit Rate(可変ビットレート)の略。

*3 表示画面サイズWQVGA(480 x 272ピクセル)のWMVを使用する場合には、フレームレートを20fps以下におとしてください。

■索引

同意書

データのお取り扱いについて

当社は、不具合を改善するため、お客様からお預りした記録媒体内のデータを必要最小限の範囲で確認いたします。しかし、データを複製することや、修理担当者以外の者が閲覧することはありません。

修理に持ち込まれた商品につきましては細心の注意を払ってお取り扱いいたしますが、事前にバックアップを取っておかれることをお勧めします。修理過程でデータが消失する場合や、故障の状態によってフラッシュメモリの初期化（フォーマット）や交換が必要となる場合があります。

■商品の不具合によるものも含め、いったん消失した記録内容（データ）の修復などはできません。あらかじめご了承ください。

■万一、データが消失してしまった場合でも、当社はその責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

■品質向上を目的として、交換した不良の記録媒体を解析させていただく場合があります。そのため、返却できないことがあります。

以上の「データのお取り扱いについて」に関しまして、ご理解とご同意をお願いいたします。ご同意いただけない場合、不具合箇所によっては修理できないままお返しすることがあります。あらかじめご了承ください。

どちらかに ✓ マークをお願いします。　　□同意する　　□同意しない

日付:　　　　年　　月　　日

ご署名:

修理や点検を依頼されるときは、この同意書にご記入のうえ、商品に添付してください。

日本ビクター株式会社
ビクターサービスエンジニアリング株式会社

別売のオプション品

- ヘッドホン：**HP-S35**
- 接続コード：AUDIO IN端子の接続用
  CN-203A（オーディオ機器用）
- ＦＭフィーダーアンテナ：**CN-511A**（**300Ω**）
  （アンテナコネクター：VZ-71Aと一緒に使います）
- アンテナコネクター：**VZ-71A**（**75Ω/300Ω**）
- アンテナコード（FMラジオ共聴アンテナ端子接続用）：
  VX-22A
- アンテナコード（ワンセグ受信用外部アンテナ接続用）：
  VX-225

- 別売りのオプション品はお買い上げの販売店でお求めください。品番は変更されることがあります。
- この製品の製造時期は本体の背面に表示されています。

ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、
お買い上げの販売店にご相談ください。
転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 **ビクターサービスエンジニアリング株式会社**	お買い物相談や製品についての全般的なご相談 **お客様ご相談センター**
143ページの「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。	フリーダイヤル **0120－2828－17** 携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は **電話（045）450－8950** **FAX（045）450－2275** 〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12

●ご相談窓口におけるお客様の個人情報の取り扱いについては、142ページをご覧ください。
ビクターホームページ　http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社
〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

0709DUMMDWJMM

NX-TC5　コンパクトコンポーネント MD システム　取扱説明書